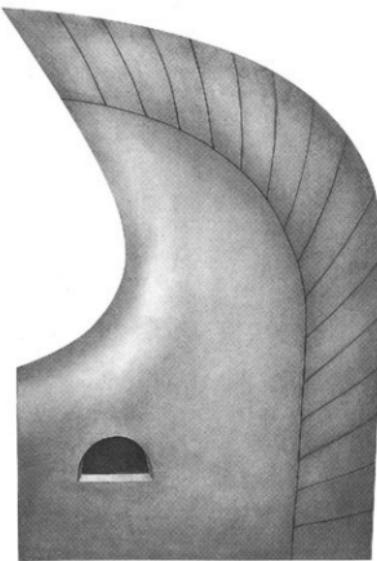


ISSN 1343-4837

土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書第30集

新改小山田遺跡

新改中部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



2002. 2

土佐山田町教育委員会

新改小山田遺跡

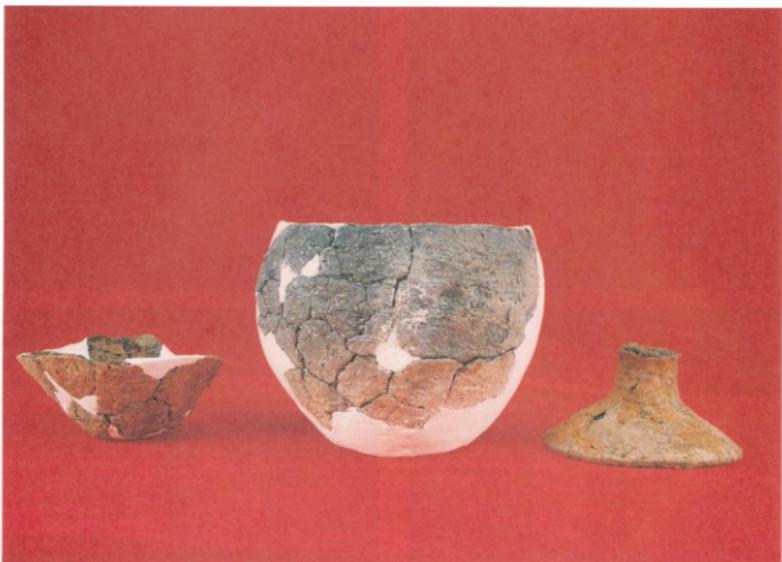
新改中部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002. 2

土佐山田町教育委員会



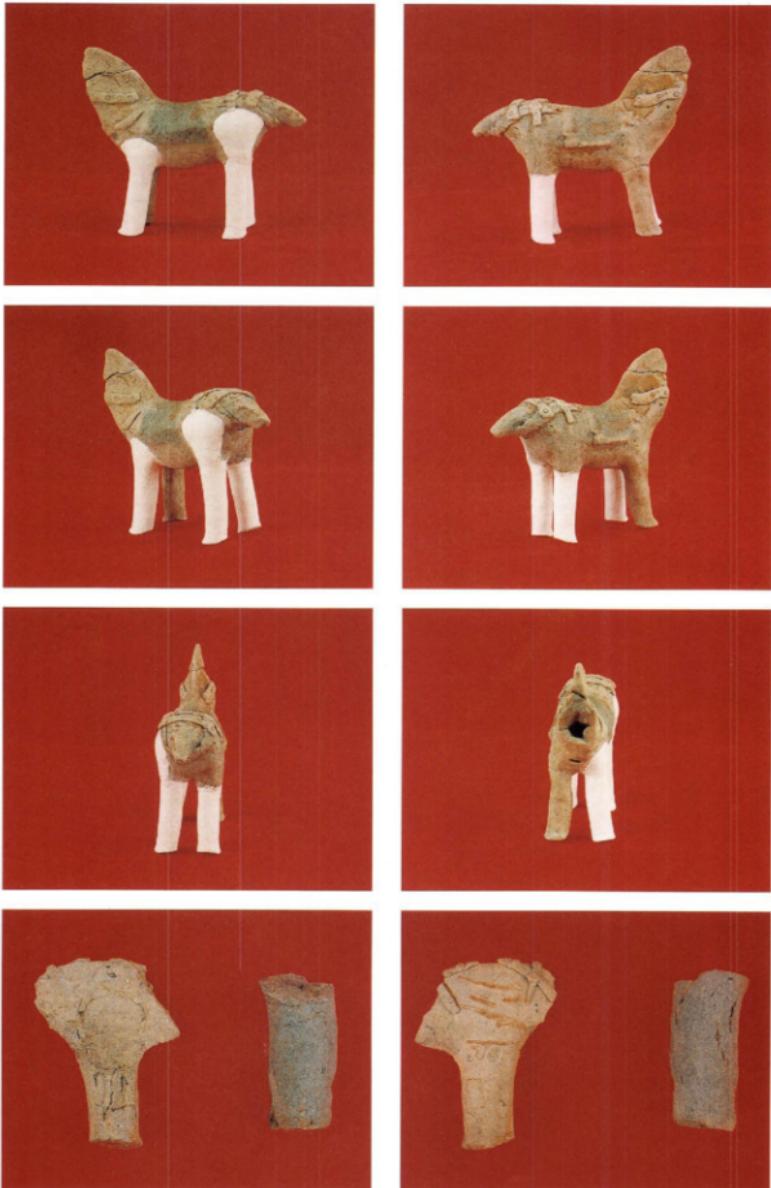
小山田遺跡



縄文土器



石斧・石鎌



土製馬形品



古代の土器



鷓尾

序 文

本県最大の穀倉地帯を誇る香長平野の東端に位置する土佐山田町は、物部川の悠久の流れに抱かれ、古くから稲作農業が盛んに行なわれてきました。しかし、近年の農業構造改善に伴い、農業経営は複雑化、多様化してきております。そうした状況のなか、本町におきましても土地改良事業や圃場整備事業が継続的に実施されております。

平成8年度から、新改中部地区において県営圃場整備が行なわれるようになり、当教育委員会では、事業に先立つ埋蔵文化財の発掘調査を平成7年度より実施し、旧石器時代から近世に至る貴重な資料が得られています。このたび調査報告書として刊行することになりました本書が、今後の研究や、文化財保護思想の普及の一助となり、先人の残した歴史遺産を将来守り伝えていく契機となれば幸です。

最後になりましたが、発掘調査に際しては、高知県中央東耕地事務所、新改中部土地改良、高知県教育委員会、(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター、地元関係者の方々をはじめ、発掘調査から整理報告書に至るまでにご協力いただきました皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

平成14年2月

土佐山田町教育委員委員会

教育長 原 初 恵

例言

1. 本書は、土佐山田町教育委員会が平成10年度に実施した新改中部地区県営圃場整備事業に伴う新改小山田遺跡発掘調査報告書である。
2. 新改小山田遺跡は、高知県香美郡土佐山田町新改字小山田491番地他に所在する。
3. 当該地の試掘調査は、平成10年10月1日から同年12月3日、発掘調査は、小山田遺跡Ⅰ区を平成10年12月7日から平成11年1月22日、調査面積410m²、Ⅱ区の調査を平成11年1月25日から平成11年2月19日、調査面積250m²調査面積660m²である。引き続き資料整理・報告書作成を平成12年度から13年度にかけて行った。
4. 調査体制は以下の通りである。

調査主体 土佐山田町教育委員会

調査事務 土佐山田町教育委員会

平成9年度

教育長 中山熊義

調査事務 中山泰弘

調査担当 中山泰弘

平成10年度

教育長 中山熊義

調査事務 山本 宗

調査担当 中山泰弘

5. 発掘調査にあたっては、地元新改地区の方々、土佐山田町文化財保護審議会、新改中部土地改良、高知県中央東耕地事務所、高知県教育委員会、(財)高知県文化財団高知県立埋蔵文化財センターの協力を得た。また、現場発掘調査・遺物整理・図面作成作業にあたって、下記の方々の協力を得た。記して感謝の意を表したい。

現場作業員 大塚俊明、今井春恵、貞岡重道、佐野宣重、田村香代子、佐々木龍男、竹崎芳子、山本花子、山下厚子、井上都雄、山崎政子、山本芳子、池知識男、小松一仁、池 宣弘、吉川 競、竹村絹子、坂本裕隆、岡崎友輝年、坂田青児、浦西慶規、藤田倫美、伊藤彰記、原 拓弥、濱田 誠、永森崇裕、中内啓貴

整理作業員 伊藤 仁、中村千代、岡林 光、竹崎寛将、井上博恵、研川英征、宗石祥一、風間俊秀(高知工科大学学生)、山口 正(高知工科大学学生)

6. 本書の執筆は、編集は中山が行なった。

7. 新改小山田遺跡の調査では、水野正好(奈良大学学長)、森 郁夫(帝塚山大学大学院教授)、金子裕之(奈良国立文化財研究所考古計画研究室長)、高橋克壽(奈良国立文化財研究所文部技官)を始め数多くの方々から、助言、御教示をいただいた。併せて深く謝意を表したい。

川端清司(財團法人高知県立埋蔵文化財センター嘱託職員)岡本桂典(高知県立歴史民俗資料館課長心得)、順不同、敬称略

8. 出土遺物及び調査資料については、土佐山田町教育委員会が保管している。尚、遺物についての注記は、「98-20YSK」を使用する。

9. 遺構の名称については、SB(握立柱建物)、ST(堅穴状遺構)、SK(土壙)SD(溝状遺構)、SE(井戸)、SX(性格不明土壙)、P(柱穴又はピット)を使用する。

目 次

第Ⅰ章 遺跡の位置と地理的・歴史的環境	
1. 地理的環境	1
2. 歴史的環境	3
第Ⅱ章 調査に至る経過と調査方法	
1. 調査に至る経過	6
2. 調査の方法	6
第Ⅲ章 造構と遺物	
1. I区調査成果	
(1) 土坑	7
(2) 包含層遺物	7
2. II区調査成果	
(1) 包含層遺物	26
第Ⅳ章 総括	
第1節 調査成果	54
第2節 土製馬形品について	55
第3節 鳥尾について	58

挿図目次1

図1	土佐山田町位置図	2
図2	周辺遺跡分布図	5
図3	周辺地形図	6
図4	発掘調査位置図	8
図5	I区発掘調査区	9
図6	I区SK-1, 2, 3, 4パンクセクション	10
図7	I区発掘調査西壁セクション	10
図8	I区SK-1, 2, 3, 4平面・断面図	11
図9	I区出土遺物1	18
図10	I区出土遺物2	19
図11	I区出土遺物3	20
図12	I区出土遺物4	21
図13	I区出土遺物5	22
図14	I区出土遺物6	23
図15	I区出土遺物7	24
図16	II区北壁セクション	25
図17	II区発掘調査区	26
図18	II区出土遺物1	38
図19	II区出土遺物2	39
図20	II区出土遺物3	40
図21	II区出土遺物4	41
図22	II区出土遺物5	42
図23	II区出土遺物6	43
図24	II区出土遺物7	44
図25	II区出土遺物8	45
図26	II区出土遺物9	46
図27	II区出土遺物10	47
図28	II区出土遺物11	48
図29	II区出土遺物12	49
図30	II区出土遺物13	50
図31	II区出土遺物14	51
図32	参考資料・高知県内出土土製馬形品出土地一覧表(実測図)・(写真)	55
図33	屋根・鶴尾部分名称	56
図34	小山田遺跡II区出土鶴尾推定復元図	57
図35	参考資料・小山田遺跡II区出土鶴尾(写真)	57
図36	参考資料・高知県内出土鶴尾(写真)・(拓影)	57

写真図版

- 卷頭カラー1 小山田遺跡周辺全景
- 卷頭カラー2 繩文土器・石斧・石礫
- 卷頭カラー3 土製馬形品
- 卷頭カラー4 II区出土土器・鶴尾

参考資料

本文

- 参考資料・写真1 中村市後川出土の土製馬形品
- 参考資料・写真2 南国市山崎出土の土製馬形品
- 参考資料・写真3 南国市比江庵寺出土の鶴尾
- 2区図版
- 参考資料・PL22 遺物写真番号211 窒壁
- 参考資料・PL22 遺物写真番号212 須恵器
- 参考資料・PL22 遺物写真番号213 須恵器

I 区図版

- PL1 I区調査区全景(南東より)(南より)(北より)、西壁セクション(東より)、遺構検出状況(北より)(南より)、SK-1、2、3検出状況(北より)、SK-1検出状況とセクション(東より)
- PL2 SK-4検出状況(北より)、SK-4遺構調査状況(南より)、SK-1、2、3、4調査状況(北より)、SK-1、2、3調査状況(東より)、SK-1、2、3完掘状況(西より)、SK-4調査状況(東より)(北より)(南より)
- PL3 SK-4完掘状況(北より)(南より)、SK-4遺物出土状況、磨石出土状況、高杯出土状況、SK-2石製品出土状況、I区トレンド内鶴尾出土状況
- PL4 出土遺物 (縄文土器)
- PL5 出土遺物 (縄文土器)
- PL6 出土遺物 (縄文土器)
- PL7 出土遺物 (縄文土器)
- PL8 出土遺物 (縄文土器)
- PL9 出土遺物 (縄文土器)
- PL10 出土遺物 (縄文土器)
- PL11 出土遺物 (縄文土器)
- PL12 出土遺物 (縄文土器)
- PL13 出土遺物 (石斧、石礫、石製品、磨石)
- PL14 出土遺物 (磨石)

II区図版

- PL1 II区調査区(西より)(南より)(北より)
- PL2 出土遺物(須恵器)
- PL3 出土遺物(須恵器)
- PL4 出土遺物(須恵器)
- PL5 出土遺物(須恵器)
- PL6 出土遺物(須恵器)
- PL7 出土遺物(土師器、須恵器)
- PL8 出土遺物(須恵器)
- PL9 出土遺物(須恵器)
- PL10 出土遺物(須恵器)
- PL11 出土遺物(須恵器)
- PL12 出土遺物(須恵器)
- PL13 出土遺物(須恵器、土師質土器)
- PL14 出土遺物(須恵器)
- PL15 出土遺物(須恵器)
- PL16 出土遺物(須恵器)
- PL17 出土遺物(須恵器)
- PL18 出土遺物(須恵器)
- PL19 出土遺物(須恵器、鷦尾)
- PL20 出土遺物(鷦尾)
- PL21 出土遺物(布目 JL)
- PL22 出土遺物(土製馬形品)
- PL23 出土遺物(土製馬形品、土玉、窯壁、須恵器、土師器)
- PL24 出土遺物(土師質土器、瓦質土器、備前焼、白磁、青磁)

第Ⅰ章 遺跡の位置と地理的・歴史的環境

1. 地理的環境

土佐山田町は、高知県の中央東寄りに位置し、県下第3位の川である物部川の中流域に位置する。物部川により形成された沖積平野に県下最大の穀倉地帯である高知平野の北端に位置し、物部川の洪積台地及び四国山地の一部を含む。

この物部川は、県北東部の香美郡物部村、剣山系の白岳山(1,770m)の東斜面に源流を発し、高知平野東部の同郡吉川村で土佐湾に注ぐ。上・中流域は仏像構造線に沿って直線的に西南西流しており、流路に沿った上流へのルートは古来阿波國への最短距離として知られている。物部川に沿う山間部には発達した河岸段丘が発達し^①、土佐山田町で流路を南に変え南流する。土佐山田町神母の木付近において平野部に流入し、肥沃な高知平野を縱断する。

高知平野東部を成す香長平野は不整形の扇状地で物部川両岸には鏡野^②、山田野^③と言われる古期扇状地の砂礫層から成る洪積台地を形成している。この台地は長岡台地と称される。長岡台地は、香長平野の北部を土佐山田町から南国市にまたがり、北東から南西に約5km進なる。洪積世中期以降に形成された比較的連続性に富んだ砂礫台地で隆起性扇状地である。標高は扇頂部に近い土佐山田町付近では約50mに達し南西に緩やかに傾斜し、扇端部の南国市後免町付近では15m~10mである。台地面の北西側は国分川流域に扇状地性低地、南東側は物部川下流域の扇状地性低地に対して段丘面を持って接している。台地は河床から5m内外の標高を持ち、台地の間に新期扇状地が広がり、北端部は国分川の浸食により断崖を形成する。洪積台地には旧石器時代の遺跡は見发されていないが物部川河岸段丘両岸の山麓部^④、国分川水系である砥川の発生する山間部の山麓部^⑤で確認されている。また縄文時代の遺跡も旧石器時代の遺跡とほぼ同じ位置に所在する^⑥。新期扇状地から沖積平野にかけての大地には県下最大の遺跡群、田村遺跡群(弥生時代~近世)^⑦を始め大篠遺跡(弥生時代)^⑧が分布する。また、条理制地割の遺構が広く認められるが、旧物部川き洪水氾濫をたびたび繰り返しておらず、条理制地割りの乱れた地域も多く、旧流路も数本認められる。

土佐山田町の市街地が乗っている扇頂部分付近は周囲に比べて高位な面となり、南部に一段低い下位面があり、二段の段丘面となっている。中央部から末端部は低地性氾濫原に向かって緩やかに台地斜面が傾斜し、特に南西端は扇状地性低地の粗粒性沖積層に埋没しており湧水地帯となって小河川が流出し湿地帯を形成している。土壤は多湿黒ボク土壤であり、層の厚さは20cm~50cm以上で下層は灰色か灰褐色の場合が多い。台地面は自然の河流が無く江戸時代以前は開発がされていたが、江戸時代初期、土佐藩奉行野中蒙山が物部川に山田堰を築き、灌漑水路を設けたことによって台地面にも導水が行なわれた。開発には、郷士が登用され、台地上には旧郷士屋敷が散在し、散村の景観を呈している。また、後免・土佐山田・野市の在郷町もこの時期に形成されたものである。灌漑用水により、かつては米の二期作が盛んであり、現在も高知平野の水田地帯の一部であるが、乾出であるため、古米、菓タバコ・野菜の栽培も盛んである。近年はビニールハウスの施設園芸も増加してきており、町域面積の70%を森林地帯で占め、林業が盛んで良材を多く産出する。工業は、地場産業の打刃物などがある。扇頂部の土佐山田町は物部川上流部と香長平野の接点に立地した谷口集落でもある。台地面はかつて開発の主体となつた郷士屋敷の点在する散村形態がみられ、現在もさの景観の名残がみられる。台地面の長軸(北東~南西方向)にほぼ沿う方向でJR土讃本線及び国道195号線が直線的に通過している。東にある三宝山の中腹には国指定史跡及び天然記念物である龍河洞があり、県下でも有数の観光地となっている。

註

- (1)『南国市史』 上巻 南国市教育委員会 1979
- (2)『野市町史』 上巻 野市町教育委員会 1992

- (3) 『土佐山田町史』 土佐山田町教育委員会 1979
 - (4) 佐野楠日山からは石核、測片などが表面採集されている。
 - (5) 新改西谷遺跡からはナイフ型石器が多量に出土している。
 - (6) 新改舗敷田丸遺跡、林田シタノジ遺跡、太郎丸遺跡などがあげられる。
 - (7) 『田村遺跡群 高知空港拡張整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』第1分冊～第15分冊 1986 高知県教育委員会
 - (8) 註(1)に同じ

参考文献

「土佐山田町史」土佐山田町教育委員会 1979

『角川 日本地名大辞典 39高知県』 角川書店 1986



図1 土佐山田町位置図

2. 歴史的環境

土佐山田町は、地理的に恵まれ、県下最大の穀倉地帯である香長平野の一画に位置することから原始以来、脈々とした人の営みを台地に刻み付けている。また、南に隣接する南国市とともに県下屈指の遺跡密集地帯である。

土佐山田町の歴史は、北部山麓部の西谷遺跡⁽¹⁾の調査により旧石器時代後期に始まる。二次堆積遺物ではあるがチャート製のナイフ型石器が多量に出土し、遺跡の立地など奥谷南遺跡⁽²⁾と非常に似ている。続く、绳文時代では、新改川の河岸段丘に立地する屋舎田丸遺跡⁽³⁾より早期押型文系土器が出土し、また新改川支流の砥川左岸の小山田遺跡⁽⁴⁾からは、晩期の土壙4基と突帶文土器が出土し、北部山間部に所在する飼古屋岩陰遺跡⁽⁵⁾からは早期押型文土器、厚手無紋の葛島式土器、中期の船元II式土器、後期の彦崎KII式土器とともに多量のサヌカイト製の石鎌が出土している。また、東部物部川左岸の段丘上、林田シタノチ遺跡⁽⁶⁾が存在するが、ここでは、ビット状遺構から後期初頭の中津式土器が出土している。

弥生時代では前期に属する遺跡の確認には至っておらず、今のところ中期後半に位置づけられる龍河洞穴遺跡⁽⁷⁾が最古である。この遺跡は全山石灰岩できた三宝山(322m)の中腹に開口した洞穴遺跡で、昭和8年に遺跡の部分が発見され、翌9年に天然記念物及び史跡として国指定を受けている。洞内の生活面は3室からなり、出土遺物は凹線文の発達した龍河洞式土器をはじめ、鉄族、石錐、有孔鹿角製品、貝輪、骨製管玉、瑪瑙製勾玉等の装身具、貝類、獸骨類の自然遺物などである。また、龍河洞式土器に混在してただ一点、弥生時代後期末のヒビノキII式土器が出土している。龍河洞穴遺跡と同時期とみられる遺跡に、予岳遺跡⁽⁸⁾、雪ヶ峰遺跡⁽⁹⁾、影山遺跡⁽¹⁰⁾がある。中期後半に属する遺跡は多く原遺跡⁽¹¹⁾、原南遺跡⁽¹²⁾からは堅穴住居跡とともに環濠と思われる溝や掘建柱建物跡等集落を構成する遺構も発見されている。その北部台地上には、弥生時代後半～古墳時代初頭の土器群が出土したひびのき遺跡⁽¹³⁾が存在する。これらの土器群はヒビノキI～ヒビノキII式土器と命名され、高知県中央部以東の標準式土器とされていると同時に、同遺跡がその時期に集落遺跡として栄えたことを示している。弥生時代も後期となると遺跡数、規模の拡大がみられ、特に同遺跡に代表されるよう後期後半に属する遺跡の急増が認められる。隣接するひびのきサウジ遺跡⁽¹⁴⁾では、弥生時代後期後半の堅穴住居跡が5棟検出されており、この内1棟は祭祀の意味を持つものと考えられている。また、物部川左岸には林田遺跡⁽¹⁵⁾が存在する。ここからは堅穴住居跡5棟が検出され、土器と共に多量の鉄族が出土している。

古墳時代では、小円墳・横穴式石室・群集といった特徴を持つ後期古墳が存在し、山麓部を中心に知られている。中でも、ひびのき遺跡に近い伏原大塚古墳⁽¹⁶⁾は、5世紀末から6世紀初頭に築造されたと考えられる。また、この古墳の周濠からは須恵器の円筒埴輪が出土している。この期の須恵器の窯跡は今のところ発見されていないが、当古墳の埴輪の存在を考えれば、出現期は少なくとも槇造期と同時期まで遡ることは可能であろう。また、これらの遺跡を特徴づける遺跡として当町北部の新改地区とその周辺に所在する。須江古窯跡群⁽¹⁷⁾を挙げることができる奈良時代から平安時代にかけての須恵器、瓦焼成の窯跡が現在40数カ所確認されている。窯跡の中には比江魔寺跡⁽¹⁸⁾の瓦を焼成したタンガン窯跡⁽¹⁹⁾や土佐国分寺の平瓦を焼成した東谷窯跡⁽²⁰⁾も存在し、また新改川左岸の河岸段丘に所在する須江上段遺跡⁽²¹⁾、須江北遺跡⁽²²⁾からは官衙的掘立建跡や多量の須恵器、土師器が出土している。特に須恵器には渦曲した遺物が混在しており、須恵器生産に係わる遺跡と考えられる。なお、新改、須江地区は、その西方約2kmに土佐国府を控えていることから国府と密接な結びつきが想定される。

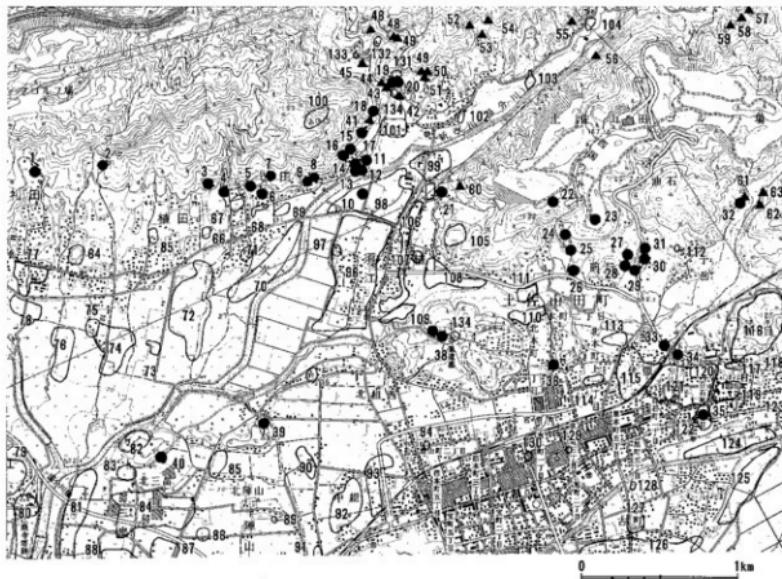
当町南部の沖積平野は高知県最大の平野、香長平野北端部にあたり、広く古代の条理制遺構⁽²³⁾を残している。また、「大領」・「田倉」・「宮毛田」等の地名があり、周辺からは、古代の遺物が表面採集され古代香美郡の郡の推定地⁽²⁴⁾と考えられる。

中世では、土佐戦国七雄に数えられる山田氏⁽²⁵⁾が建久4年(1193)に土佐国へ入部以来、勢力をのばし、楠木の山田城を本拠⁽²⁶⁾に領主制支配を行なうが、長宗我部氏により天文期頃攻撃を受けて滅亡する。

近世にはいり野中兼山⁽²⁷⁾による山田堰、上、中、舟入川の三用水の敷設等による長岡台地の開発により在郷町⁽²⁸⁾として香美郡北部の山間地域と南部の平野部との接点として物産集散地となり、高知城城下町の経済圏として発展し、今日に至る。

註

- (1) 西谷遺跡「土佐山田史談」第25号「土佐山田町における考古学の成果と課題（VI）」2000
- (2) 『奥谷南遺跡Ⅰ』（財）高知県文化財団埋蔵文化財センター 1999
- (3) 『埋文こうち』第14号 P13 高知県教育委員会文化財保護室 2000
- (4) 小山田遺跡 註1と同じ
- (5) 『飼古屋岩陰遺跡発掘調査報告書』日本道路公団・高知県教育委員会 1983
- (6) 『林田シタノヂ遺跡Ⅱ 農村基盤総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』土佐山田町教育委員会 1993
- (7) 『龍河洞』高知県教育委員会 1959
- (8) 『土佐山田町史』 P52 土佐山田町教育委員会 1979
- (9) 註8と同じP52
- (10) 註8と同じP52
- (11) 『公共施設設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 - 原遺跡 -』高知県教育委員会 1982
『公共施設設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 - 原遺跡Ⅱ -』『高知県文化財調査報告書』第25集 高知県教育委員会 1984
- (12) 『原南遺跡発掘調査報告書』高知県文化財団 1991
- (13) 『ひびのき遺跡』土佐山田町教育委員会 1977
- (14) 『ひびのきサウジ遺跡発掘調査報告書』（土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第8集）土佐山田町教育委員会 1990
- (15) 『林田遺跡発掘調査報告書』土佐山田町教育委員会 1985
- (16) 『伏原大塚古墳』（土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第14集）土佐山田町教育委員会 1993
- (17) 註8と同じ
- (18) 『高知県文化財調査報告書第16集 高知県比江廃寺跡』高知県教育委員会 1970 『高知県埋蔵文化財報告書 第33集 比江廃寺跡発掘調査概報』高知県教育委員会 1991
- (19) 註8と同じ
- (20) 『新改東谷古窯跡群発掘調査』土佐山田町教育委員会 1978
- (21) 『土佐山田北部遺跡群 - 山田北部県営は場整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査報告書 -』（土佐山田町埋蔵文化財調査報告書第12集）土佐山田町教育委員会 1992
- (22) 註21と同じ
- (23) 岡本健児 「土佐神道考古学5」 『土佐史談』第120号
- (24) 註8と同じ
- (25) 註8と同じ
- (26) 註8と同じ
- (27) 註8と同じ



番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代
1	中山田古墳	古墳	25	伏黒大塚古墳	古墳	69	東山田道路	弥生・古墳	103	三反田窓跡	平安
2	高松古墳	*	26	八王寺古墳	*	70	改田神母窓跡	古墳～平安	104	入野瀬遺跡	平安・中世
3	越田古墳群	*	37	貴山・2号古墳	*	71	久上山陪城跡	中世	105	船城跡	中世
4	西久保古墳	*	38	前山3号古墳	*	72	ハサマダ遺跡	古墳～平安	106	植カドヲ遺跡	弥生・古墳
5	次郎ヶ谷古墳	*	39	陣山古墳	*	73	引目1号遺跡	*	107	植戸ノ添跡	平安・中世
6	次郎ヶ谷古墳	*	40	三畠山古墳	*	74	泉ノ内遺跡	*	108	西ノレドリ遺跡	弥生・近世
7	田村古墳	*	41	西ノ内多摩跡	*	75	土井城跡	中世	109	モリカワ窓跡	*
8	龜ヶ谷1号古墳	*	42	小山川1号窓跡	古墳・奈良	76	白鷺田遺跡	古墳～平安	110	山ノ崩れ遺跡	中世
9	龜ヶ谷2号古墳	*	43	小山川2号窓跡	*	77	中ノ土城跡	中世	111	植キノナキ遺跡	*
10	傾江ワカア内遺跡	*	44	小山田1号窓跡	*	78	南浦遺跡	平安～中世	112	山田武家代墓跡	*
11	新改古墳	*	45	西谷1・2・3窓跡	奈良	79	北之山城跡	中世	113	メイカイ遺跡	弥生・中世
12	新改2号古墳	*	46	東谷松本窓跡	奈良・平安	80	北之山寺跡	飛鳥・奈良	114	長谷川先史跡	古墳～平安
13	新改3号古墳	*	47	東谷1号窓跡	*	81	西ノ1号遺跡	弥生～平安	115	伏氣窓跡	弥生～平安
14	新改4号古墳	*	48	東谷2号窓跡	*	82	南津井遺跡	古墳	116	菅目遺跡	中世
15	椎山1号古墳	*	49	林ノ谷1号窓跡	*	83	二子城跡	中世	117	ひびのき人河内遺跡	弥生～近世
16	椎山2号古墳	*	50	林ノ谷2号窓跡	*	84	三重塚跡	弥生～平安	118	川原神社遺跡	弥生～中世
17	西ノ内1号古墳	*	51	林ノ谷3号窓跡	*	85	三所遺跡	古墳～中世	119	ひびのき道跡	弥生・古墳
18	西ノ内2号古墳	*	52	大谷1号窓跡	*	86	白山遺跡	古墳～平安	120	ひびのきの母神遺跡	弥生～中世
19	小山田古墳群	*	53	大谷2号窓跡	*	87	水道跡	弥生～平安	121	ひびのきうじ窓跡	弥生～近世
20	小山田1号古墳	*	54	大谷3号窓跡	*	88	福地遺跡	奈良～中世	122	大通路	*
21	タンガン古墳	*	55	八ノ谷窓跡	平安	89	有馬北山遺跡	平安	123	大西十号窓跡	株牛
22	源坂古墳	*	56	種セガイ窓跡	古墳～奈良	90	浜谷の西道跡	古墳～平安	124	植吉遺跡	弥生～近世
23	桃敷古墳	*	57	大寺寺二四御網跡	古墳	91	山田三ツ又西道跡	*	125	植柳前遺跡	*
24	桃敷東古墳	*	58	大寺寺二四御網跡	奈良・平安	92	山田三ツ又遺跡	*	126	風見跡	弥生～近世
25	中沢古墳	*	59	火薙谷ヘスカリ古墳群	*	93	山田三ツ又東道跡	弥生～中世	127	古町百遺跡	弥生・平安
26	準湖古墳	*	60	タンダン窓跡	飛鳥	94	谷堂遺跡	近世	128	古町北遺跡	弥生・古墳
27	桜ヶ谷古墳	*	61	子舟窓跡	古墳	95	野中神社	近世	129	公義の井戸2	近世
28	曾行山1号古墳	*	62	長谷1号窓跡	平安	96	須田上段遺跡	古墳～近世	130	公義の井戸1	*
29	曾行山2号古墳	*	63	長谷谷1号窓跡	*	97	須田2号窓跡	平安	131	松木山長久寺跡	中世～近世
30	細神古墳	*	64	東ノ土岸遺跡	古墳～中世	98	須田北道跡	古墳～平安	132	勝幡寺跡	*
31	大元神社古墳	*	65	櫛田十居城跡	*	99	櫛田神社遺跡	奈良～中世	133	勝寺寺跡	*
32	大元神社北古墳	*	66	寺中遺跡	古墳～平安	100	改田氏物見の城跡	中世	134	小山田遺跡	飛鳥・古墳・平安
33	寺谷古墳	*	67	北野遺跡	古墳～中世	101	南ノ内遺跡	弥生～中世			
34	小山田古墳	*	68	辻谷田遺跡	古墳～平安	102	南浦古九郎遺跡	中世			

図2 周辺遺跡分布図表

第Ⅱ章 調査に至る経過と調査方法

1. 調査に至る経過

近年、農業の規模拡大等の整備政策が進められ、農業構造改善事業として、圃場整備事業が行なわれている。当新改地区においても改良組合が設立され、山田北部地区土地改良、新改西部土地改良、新改中部土地改良と設立され、県営圃場整備事業が計画、実施されている。

新改中部土地改良区内は県下でも有数の埋蔵文化財包蔵地であり、土佐山田町教育委員会は工事計画との調整資料を得るために、平成8.9.10年度に文化庁国庫補助金により造構の範囲確認のための試掘調査を実施し、基礎データを得た。その後、事業施工による埋蔵文化財の保存協議を高知県中央耕地事務所、新改中部地区土地改良区、土佐山田町教育委員会の三者で協議した。その結果、盛土工法等による計画変更がなされたが一部施工計画が変更できない箇所について、造構の記録保存を図る調整協議がされ、記録保存のための発掘調査を実施した。

2. 調査の方法

試掘調査の結果により、水路、農道、削平部の調査区を設定し、耕作土を主に表土を主に重機により除去せず、造構表面または、遺物包含層直上まで掘削を行なった後、人力による精査を行なった。造構、遺物の出土状況及び土層等については、写真撮影を行なった後、平面図及び断面図を作成した。遺物の取り上げ、遺物の実測については、任意座標に基づいて地区全体に4m方眼をかけ記録、実測を行なった。平面実測、及び地層断面については、20分の1を基本とし、必要に応じて10分の1の実測を行なった。



図3 周辺地形図

第Ⅲ章 遺構と遺物

第1節 I区調査成果

I区はII区の北側に位置する。事前の試掘調査により縄文時代の遺構並びに縄文土器片が出土したことから工事施工による遺構への掘削影響があり全面調査を実施した。調査の結果、遺構は調査区の南西隅より縄文時代晚期の土坑4基を検出した。また縄文の遺構が確認された箇所より北側部分は土層に相違がみられたが、遺構は確認されなかった。再度確認のため、調査区中央部はトレーンを入れ土層、遺構の確認を行ったが、トレーン内からは赤土の混ざった灰色粘土層より須恵器片、土師質土器片、近世陶磁器片、鹿尾残片が出土し、更に底部より疊層が確認できた。西側セクションの観察から縄文時代の遺構検出地点より北側部分に土層上大きな落ち込みがあり、地元の古老人尋ねたところ昭和の初期まで熊野神社裏側に沼があり神社裏側周辺から本調査区付近まで湿地帯であり水田化に多大の労力がかかったこと。また本調査区は大正時代から昭和時代初期頃に水田から瓦用の粘土を採掘したことにより、採掘後再び周辺部からの土砂で埋め戻しされた土層と判断した。

I区の発掘調査区の土層観察は東壁と西壁でおこない、基本層序は調査区西壁をとした。

以下、検出された遺構及び遺物について概要を述べる。

(1) 土坑

SK-1

調査区の南西隅に位置する。平面は円形を呈し、土坑は全体の2分1を検出している。土坑内にピットが2個ある。南北軸最大約1.50m、深さ約20cm、ピット部分は約38cmを測る。出土遺物は縄文土器の破片が出土しているが図示できるものは無い。

SK-2

調査区の南西隅、SK-1に隣接する。平面は舟形状を呈し、土坑内に更に3つの掘り方がみられる。南北軸最大約3.60m、南側一段目の深さ約25cm、北側一段目の深さ約50cm、土坑内ピットの深さ7約74cmを測る。土坑内からは拳大から人頭大の石が多く出土した。出土遺物は縄文土器片が数十点、石器が1点出土している。(I区遺物観察表74、石器図版 を参照)

SK-3

調査区の南西隅、SK-2に隣接する。平面は不整円形を呈し、土坑内にピットが1個ある。南北軸全長1.60m、土坑の深さ約30cm、ピットの深さ約64cmを測る。土坑内からは拳大の石が出土した。出土遺物は縄文土器片が數十点出土しているが図示できる遺物はない。

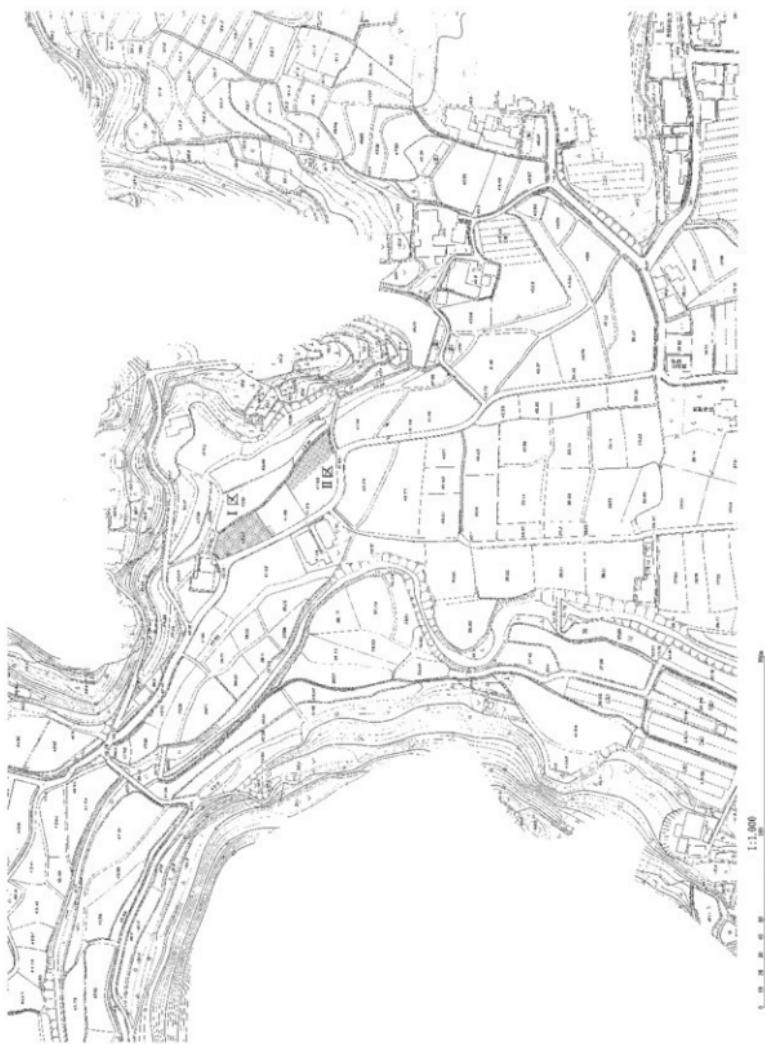
SK-4

調査区の南西隅部に位置する。平面は不整長方形を呈している。南北軸全長約4.90m、東西軸幅約2mを測る。深さは浅く約30cm程度である。土坑内からは拳大から人頭大の大きさの石及び炭が多量に出土した。出土遺物では縄文土器(深鉢、浅鉢、高杯)、磨石、石歛、石斧が出土している。

(2) 包含層遺物

I区から検出された縄文時代晚期の土坑4基と遺物包含層から出土した遺物は口縁部の破片が多く次いで胴部の破片、底部に関しては僅かに出土している。ここでは比較的出土量の多い口縁部について分類して代表的な遺物について述べることとする。また詳細はI区観察表を参照されたい。

図4 発掘調査位置図



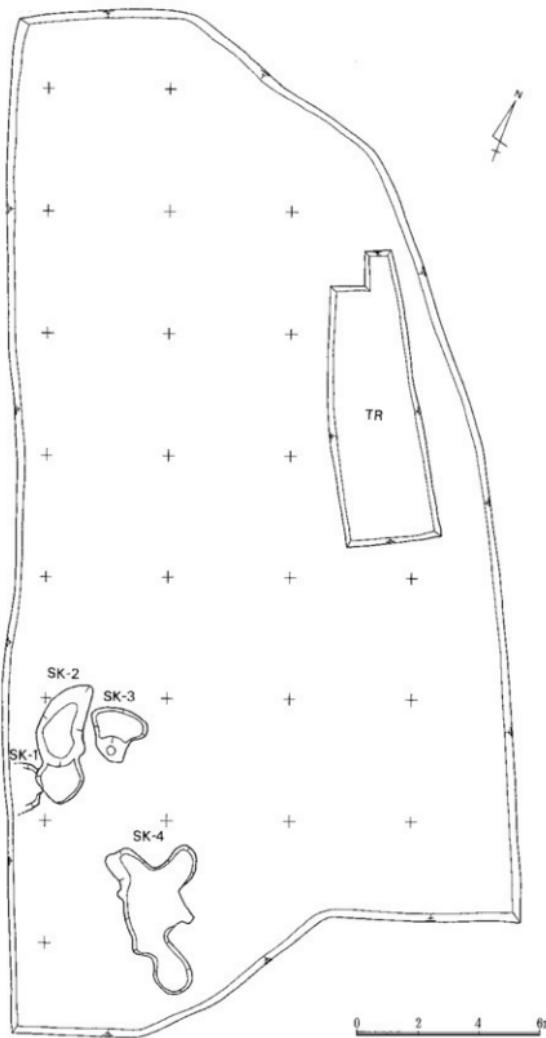


図5 I区発掘調査区

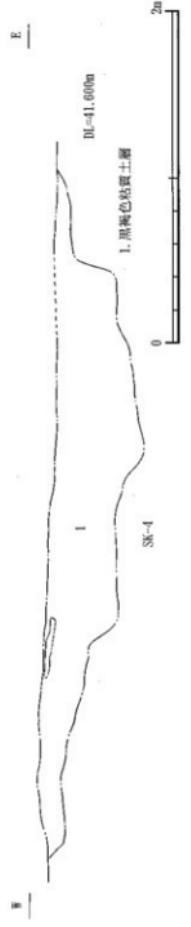
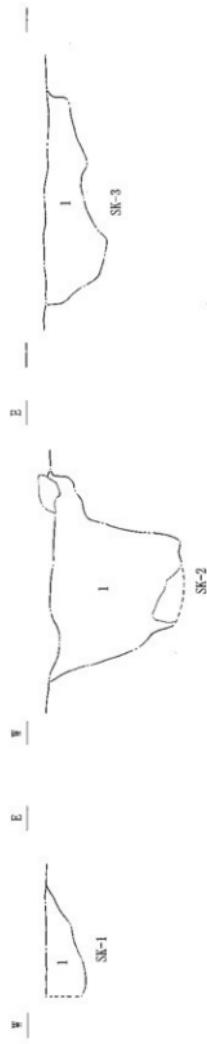


図6 I区SK-1,2,3,4バシセクション

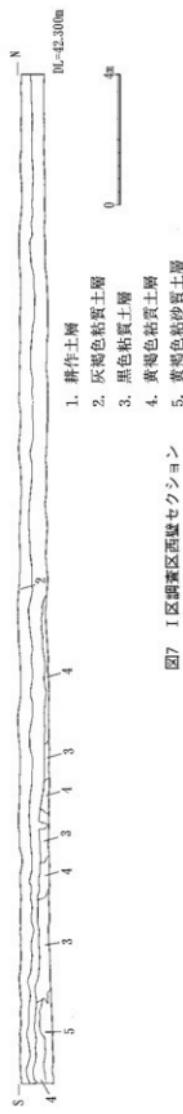


図7 I区調査区西壁セクション

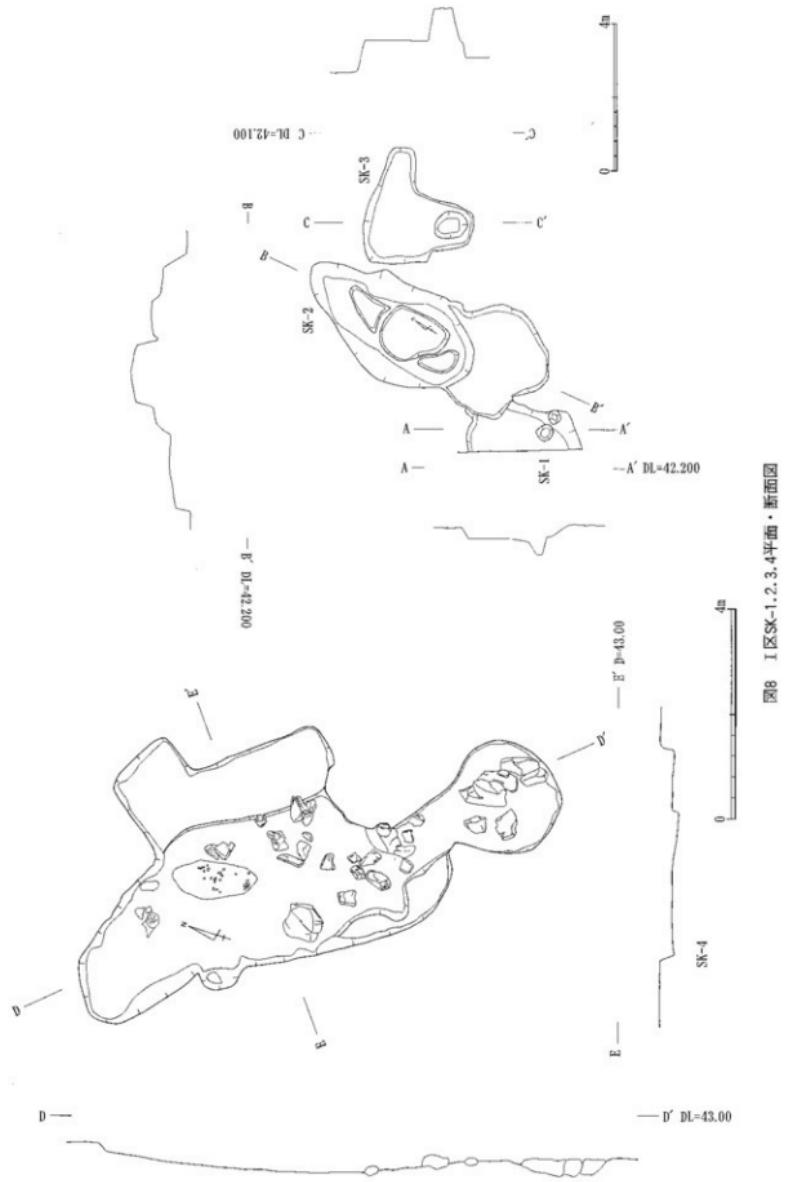


図8 I区SK-1,2,3,4平面・断面図

(A)土器

第1分類(I 区遺物観察表1~30)

縄文土器の口縁部口唇に刻目を持たない無紋の土器群である。粗製から外面に磨きが見られるがある。

浅鉢が主であるが中には器形から深鉢と考えられるものもある。胎土は精選されたものから2mm~5mm程度の石英、砂粒、小石を多く含むものとさまざまである。底部、胴部は不明であるが口縁部はほぼ垂直に立ち上がり口唇に至り面をなすもの。またはやや外反するもの、口唇断面がT字状のものとがある。

1・2・3・5・9・13・20・23・24内外面は指によるナデ、条痕による調整がみられる。

6・8・11・14・17は内面、外面に磨きがみられる。

11は口縁部内面に1条の浅い沈線をめぐらせる。14は口縁部外面に磨きがあり、内面には1条の突帯をめぐらす。4は口縁部下の破損部が薄く胴部で内側にやや屈曲する器形ではないかと考えられるが破片から浅鉢と考えられる。25は口縁部は口唇に刻目はないが体部は直線的に立ち上がり、口唇は僅かに内面に突出し、指頭により僅かながら装飾を施す。口唇から口縁部外面にかけて連続爪形文が施される。内面はナデによる調整が施され、1条の沈線がめぐる。

1は底部より斜上方に直線的に立ち上がり胴部で内反し口縁部にいたる。口唇は平縁である。摩耗しているが内外面にナデと内面に条痕調整が施されている。胎土は砂粒を多く含む。焼成は不良である。2は2mmから5mm程度の砂粒を多く含む。内面はナデ、外面は条痕調整が施される。焼成は良い。

第2分類(I 区遺物観察表31~58)

口縁部口唇に刻目をもつものの土器群である。刻目は貝殻腹縁によるものと箆状原体によるものとの2種類考えられる。精選された胎土はごく僅かで2mmから最大6mmの小石、砂粒、石英、雲母を含むものが多い。焼成は概ね良好である。内外面は指ナデ、条痕が多く、一部に磨きがあるものがある。

51は内面ナデ、外面条痕、口縁部に3本の沈線を施す。口唇は箆状原体による刻目により波状口縁状をなす。32はやや外反する口縁部下に1条の沈線をめぐらす。口縁部には斜めに条痕がみられ、内外面にナデ調整を施す。器種は深鉢が多い。

第3分類(I 区遺物観察表59~73)

口縁部に刻目突帯文をもち、口唇に突帯と同一原体(箆状原体)または貝殻腹縁による刻み目を施すものや平縁(59・61・63・64・66・68)のものがある。内外面はナデによる調整が多い。口縁部には刻目突帯を貼付けている。胎土は2mmから4mm程度の砂粒、小石を僅かに含むものから多く含むものとさまざままで、一部精選された粘土の胎土もある。焼成は概ね良い。器種は深鉢が多い。

第4分類(I 区遺物観察表74~76)

底部から胴部に懸けて外反して立ち上がり、口縁部からやや内反して口唇にかけて再び外反する。口唇は平縁で外面に1条の深線をめぐらし段を形成する。内面にも1条の沈線をめぐらす。胎土は精選されたものと2mm程度の砂粒をやや多く含むものとがある。内外面ともに磨き仕上げである。焼成は良い。75・76とともに0.4から0.5mmの補修孔がある。

第5分類(I 区遺物観察表77~81)

口縁に鱗状突起を持つもの。器種は深鉢で口唇は平縁である。調整は内面に条痕、内外面に磨きがみられる。胎土は精選された粘土と2mm程度の砂粒を含むものとある。焼成は良い。81の口縁部内面は2条の沈線がめぐる。

第6分類(Ⅰ区遺物観察表82~89)

器種は浅鉢である。口縁部の破片のため全体的な器形は判らないが、強く2段に屈曲する口縁を持つものや口縁は屈曲して外上方へ開き気味に立ち上がるものなどさまざまである。胎土は精選されたものから1mmから2mm程度の砂粒を含むものとさまざまである。内外面に磨き、胴部外面は条痕による調整がされている。焼成は良い。

第7分類(Ⅰ区遺物観察表90~97)

脚部の破片である。深鉢か浅鉢か判断しかねる。胎土は2mmから6mm程度の砂粒、小石を含む。内面にナデ、外面は条痕による調整が施される。焼成は良い。

第8分類(Ⅰ区遺物観察表98~101)

底部の破片である。口縁部、胴部の出土量に比べて著しく少ない。破片丸底であるが深鉢と思われる。3mmから6mmの程度の小石を含む。内面ナデ、外面ナデ、条痕の調整が施される。

第9分類(Ⅰ区遺物観察表102)

高杯の脚部の破片で杯部は接合部分で欠損している。出土の破片から杯部の復元はできなかった。脚部は残存高さ13.4cmで胎土は2mm~4mm程度の小石を含む。内外面ナデ、外面はナデと条痕が施される。焼成は良い。脚部は短く脚部靴は内湾気味に開き端部は丸くおさめる。

(B)石器

石器はⅠ区の遺構及び遺物包含層から出土し、また隣接するⅡ区より1点石斧が出土している。Ⅱ区出土の石器(石斧)は須恵器等と併に出土しているが二次堆積遺物であるのでⅠ区で報告する。

1. 石斧(図版103・104・105・107)

104はⅡ層出土で全長10.1cm、全幅5.0cm、全厚2.6cmを測る。磨製石斧表面は剥離部分が多い。刃部は片面が破損している。108はⅢ層出土の磨製石斧で中程で折れている。全長4.3cm、全幅3.8cm、全厚さ1.2cmを測る。刃部は両刃である。103はⅡ層出土の磨製石斧表面は剥離部分が多い。全長8.8cm、全幅2.7cm、全厚さ2.7cmで刃部は破損している。105はSK-4より出土した磨製石斧で全長11.4cm、全幅5.7cm、全厚3.1cmである。刃部は破損して不明である。107はⅡ区4層出土の石斧で表面は磨かれていない。全長9.2cm、全幅4.2cm、全厚さ2.0cmである。刃部は破産して不明。

2. 石鎌(図版109~110)

109は全長2.2cm、全幅1.9cm、全厚0.4cm、全重0.8gである。石質はサスカイトである。110は石鎌先端が欠損しているが全長1.9cm、全幅1.9cm、全重1.5gである。石質はサスカイトである。

3. へら状石製品(図版106)

両面を欠いて加工が加えられ、磨きが見られる。形状はへら状で扁平である。全長11.2cm、全幅3.3cm、全厚1.1cmである。

4. 磨石(図版111~115)

全てSK-4より土器と併に出土している。石質は砂岩で片側または両側に磨りあわせたため深い窪みが磨かれた状態で観察できる。

I 区 遺物観察表 1

実測図 No.	写真 No.	出土点 位置 遺物	板幅	器種	分類	寸法(cm)			鉢土	焼成	色調	特徴 成形/削ぎ/その他
						口径	器高	底径				
1	1	不良	鉢	陶文土器	1	17.3 (底径)	-	-	砂粒を多く含む	不良	内面: NL/0灰 外面: NL/0灰	外側ナガ赤須 内面ナダ
2	4	良	鉢	陶文土器	1	-	-	-	2~5mm程度の砂粒 をやや多く含む	良	内面: 2.5%/2灰黄 外面: 10.0%/3に高い黄 削面: 3.0%/オリーブ灰	外側赤須 内面ナダ
3	20	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	3mm程度の小石を よく含む 最大2mm小石含む	良	内面: 5.0%/4灰 外面: 7.5%/6灰 削面: 7.5%/1墨	外側赤須 内面ナダ
4	8	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	3mm程度の砂粒を 多く含む	不良	内面: NL/0灰 外面: 1.0%/4浅黄 削面: NL/0灰	無文 接ぎ部
5	23	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	埋道された胎土	不良	内面: 5.0%/2灰黄 外面: 2.5%/に高い黄 削面: 2.5%/黒褐	外側赤須 内面ナダ 口縁部T字状
6	21	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 2.5%/2灰黄 外面: 2.5%/2灰黄 削面: 2.5%/灰	透き 口縁部T字状
7	30	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	砂粒を少し含む	良	内面: 2.5%/2灰黄 外面: 2.5%/2灰黄 削面: 2.5%/灰	内面ナダ
8	17	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	2mm程度の砂粒を やや多く含む	不良	内面: 3.0%/オリーブ灰 外面: 3.0%/2灰 削面: 3.0%/灰	外側墨
9	18	良	鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	2mm程度の砂粒を 少し含む	良	内面: 3.0%/1灰 外面: 10.0%/2灰黄 削面: 2.5%/1黄灰	内面ナダ 外側赤須
10	14	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	3mm程度の砂粒を やや多く含む	不良	内面: 10.0%/4に高い黄 外面: 10.0%/2灰黄 削面: 10.0%/2灰黄	内面ナダ
11	29	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大2mm小石を含む 1mm程黒小石混じり 精選された胎土	良	内面: 10.0%/2灰黄 外面: 10.0%/2灰黄 削面: 2.5%/2灰	内面墨書き 口縁部内面に1条の 縦線を走らせる
12	34	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大2mm小石含む	良	内面: 10.0%/1灰 外面: 10.0%/1灰 削面: 2.5%/1灰	内面墨書き
13	19	良	鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	2mm程度小石混じり	良	内面: 3.0%/1灰 外面: 2.5%/1灰 削面: 2.5%/1灰	内面ナダ 外側赤須
14	27	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大2mm小石含む	良	内面: 10.0%/に高い黄 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/2灰	内面墨書き 口縁部T字状 内面に1条の矢印を走らせる
15	22	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	砂粒砂混じり 精選された胎土	良	内面: 2.5%/2灰 外面: 10.0%/2灰 削面: 3.0%/1灰	内面墨書き 内面に1条の矢印を走らせる
16	32	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大2mm小石を含む 精選された胎土	良	内面: 10.0%/に高い黄 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/2灰	内面ナダ
17	28	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	砂粒砂混じり 精選された胎土	良	内面: 10.0%/2に高い黄 外面: 10.0%/に高い黄 削面: 2.5%/1灰	内面墨書き/合せ縫 口縫は入り開いて立ち上がり 内面は肥厚する
18	10	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大4mm小石を 多く含む	不良	内面: 2.5%/2灰 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/2灰	唐津式明 口縫はT字状
19	11	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大3mm小石含む	不良	内面: 2.5%/1灰 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/1灰	内面墨書き
20	13	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大4mm小石を やや多く含む	不良	内面: NL/0灰 外面: 2.5%/2灰 削面: NL/0灰	内面ナダ 外側赤須
21	16	不良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	最大3mm小石含む 2mm程度小石を やや多く含む	不良	内面: 2.5%/1灰 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/1灰	外側赤須
22	33	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 10.0%/に高い黄 外面: 10.0%/に高い黄 削面: 10.0%/2灰	内面墨書き 口縫はT字状
23	9	やや良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	4mm程度の砂粒 をやや多く含む	やや良	内面: 3.0%/1灰 外面: 3.0%/1灰 削面: 3.0%/1灰	外側赤須 内面ナダ
24	23	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	2~5mm程度の 砂多い	良	内面: 2.5%/2灰 外面: 2.5%/2灰 削面: 2.5%/2灰	内面全赤 外側ナダ
25	35	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	3~4mm程度の 小石を含む	良	内面: 10.0%/2灰 外面: 10.0%/2灰 削面: 10.0%/2灰	内面はがたよと質感が違ううち口縫内面には 落葉など小石口縫は道筋の太さが 落葉など小石は縫に立ち上り 口縫は立ち上がり実心し指紋により目をもつて
26	26	良	浅鉢 口縁部	陶文土器	1	-	-	-	2mm程度小石混じり	良	内面: 10.0%/2灰 外面: 10.0%/2灰 削面: 1.5%/1灰	内面墨書き 合せ縫

I 区 遺物観察表2

実測図 No.	写真 No.	出土点・層位	種類	特徴	分類	法量(cm)			鉢土	鉢底	色調	特徴 成形/調整/その他の集
						口径	基高	底径				
27	15	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	I	-	-	-	-	3mm~5mm程度の 砂粒をやや多く含む	やや真	内面: 5.57/1底白 外面: 5.55/1灰 底面: 5.54/1灰	
28	12	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	I	-	-	-	-	5mm程度の砂粒を やや多く含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 10.07/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 2.57/1裏灰	内外面真灰
29	25	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	I	-	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む	真	内面: 10.08/1裏灰 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 10.08/1裏灰	内外面真灰 外周塵毛
30	21	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	I	14.4 (推定)	-	-	-	2mm~5mm程度の 砂粒をやや多く含む	真	内面: 10.08/1裏灰 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 10.08/1裏灰	内部ナメ 外周塵毛
31	57	目隠 (小) 深鉢 口縁部	陶文土器	II	17.2	-	-	-	精選された砂土	やや真	内面: 7.57/1裏白 外面: 7.50/1裏白 底面: 7.57/1裏白	内外面ナメ/内周条板・塵毛 口唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
32	36	SK-6 鉢 口縁部	陶文土器	II	18.4 (推定)	-	-	-	2mm程度の砂粒 石英・黄玉を含む	やや真	内面: 7.37/1裏白 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 7.37/1裏白	尚反応する上に1番の比叡をもつ 外周にヘラ状底部による刻み目を 残す O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
33	49	サブレンチ A 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	2~5mm程度の砂粒 をやや多く含む	やや真	内面: 8.08/1裏白 外面: 2.57/1裏灰 底面: 2.57/2裏灰	内部ナメ・塵毛 口唇にヘラ状底部による刻み目を 残す/接合部
34	45	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	2mm程度の砂粒を 多く含む	やや真	内面: 8.55/1裏白 外面: 8.55/1裏白 底面: 8.55/1裏白	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
35	41	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3~5mm程度の小石 を含む	真	内面: 2.57/1裏白 外面: 7.07/1C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 5.95/1裏白	内外面ナメ/内周条板 O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
36	48	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3~4mm程度の小石 を含む	不真	内面: 10.08/4裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/4裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
37	56	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む	不真	内面: 10.08/3裏灰 外面: 10.08/2裏真 底面: 10.08/1裏白	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
38	39	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	4~5mm程度の砂粒 を含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 2.57/1裏灰	安昙文/条板 O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
39	47	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	2~5mmの小石を 含む	やや真	内面: 10.08/2裏白 外面: 2.57/2裏灰 底面: 3.05/1裏灰	内部厚壁/内周条板 O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
40	63	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	最大3mm小石含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
41	51	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	13.5 (推定)	-	-	-	最大3mm小石含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す/透彫り・彫文
42	50	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	最大3mm小石含む	やや不真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
43	60	SK-4 深鉢 口縁部	陶文土器	II	28.3 (推定)	-	-	-	最大6mm小石含む	やや真	内面: 5.57/1裏白 外面: 5.55/1裏白 底面: 5.54/1裏白	外部厚壁/内周条板 O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
44	62	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3~4mm小石を含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
45	60	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	2mm程度の砂粒を やや多く含む	やや真	内面: 2.57/1オーリーブ黒 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	西面厚壁/内周ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
46	59	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3~4mm程度の小石を 含む	やや真	内面: 2.57/3裏真 外面: 2.57/2裏白 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
47	61	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	4~5mmの小石を含む	不真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 5.57/1裏灰	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
48	58	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3mm程度の砂粒を 含む	不真	内面: 5.57/1裏白 外面: 5.55/1裏白 底面: 5.54/1裏白	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
49	54	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	精選された砂土	真	内面: 7.57/1裏白 外面: 10.08/3C/5C/5C/5C/5C/5C 底面: 5.57/1裏白	内部ナメ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
50	37	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	4mm程度の小石含む	真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	内外面真灰 O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
51	38	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	-	-	-	-	3~5mmの砂粒を 含む	やや真	内面: 2.57/1裏灰 外面: 2.57/2裏真 底面: 2.57/1裏灰	内部ナメ/外周厚壁 脇から上縁にかけて3本の沈目を残す/ O唇にヘラ状底部による刻み目を 残す
52	44	SK-6 深鉢 口縁部	陶文土器	II	17.4 (推定)	-	-	-	2~4mm程度の 小石多く含む	やや真	内面: 2.57/2裏青 外面: 7.54/1白 底面: N3/6/1灰	内部ナメ 内周ナメ 安昙文/条板

I 区 遺物観察表3

実測箇所 No	写真 No	出土地点 遺跡・層位	種類	番号	分類	法量 (cm)		粉土	焼成	色調	特徴 成形/調製/その他
						口径	高さ				
53	55	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	22.2 (推定)	-	-	3mm程度小石含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：10mm/1にぶい黄橙 断面：2.55/1灰黄	内外混ナデ 突起文/条痕
54	53	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	-	-	-	4mm~5mm程度の 小石をやや多く含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	外副ナデ 内面ナメ 突起文/条痕
55	46	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	15.8 (推定)	-	-	2mm~3mm程度の 砂粒をやや多く含む	やや良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	内面混ナデ 突起文/条痕
56	43	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	15.6 (推定)	-	-	2mm~3mm程度の 小石をやや多く含む	やや良	内面：10mm/1にぶい黄橙 外面：10mm/1にぶい黄橙 断面：2.55/1灰黄	内外混ナデ 突起文/条痕
57	42	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	-	-	-	3mm~5mm程度の 小石をやや多く含む	不良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	内面純 外副ナデ 突起文/条痕
58	52	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	2	-	-	-	3mm程度の砂粒を 含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	内面混ナデ 突起文/条痕
59	68	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	3~4mm程度の小石 を含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	摩利ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は平滑
60	69	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	3~4mm程度の小石 を含む	良	内面：3.54/1灰 外面：2.55/1灰黄 断面：3.54/1灰	内面純 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
61	67	サブレンジ A 淀林 口縁部	陶文土器	2	-	-	-	3~4mm程度の小石 を含む	やや良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	摩利 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は平滑
62	70	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	3mm程度の砂粒を 多く含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰	突起文 内外混ナデ
63	78	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	最大4mm小石含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	口縫部外側に摩利突起文貼付 口縫部は平滑
64	77	II層 (A) 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm程度の小石を 含む	良	内面：2.55/1灰 外面：3.54/1灰 断面：3.54/1灰	刻目帶文/口縫部は平滑 内外混ナデ/口縫部外側に 刻目帶文を付す
65	71	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む 埋没された胎土	やや不良	内面：2.55/1リーブ黑 外面：2.55/1リーブ黒 断面：7.55/1リーブ黑	外副ナデと 口縫部外側に刻目帶文を貼付 口縫部は圓なし前日を施す
66	64	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	埋没された胎土 2mm程度の砂粒を 多く含む	良	内面：3.54/1灰 外面：10mm/1灰黄 断面：3.54/1リーブ黑	外副ナデ/内面ナデ 口縫部外側に突起文を貼付 口縫部は平滑
67	65	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	最大6mm小石含む	やや良	内面：2.55/1 外面：1.05/1灰 断面：2.55/1灰	摩利上部外側に刻目 帶文を貼付 口縫部は平滑
68	76	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm~3mmの砂粒を 多く含む	やや良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰白 断面：1.05/1灰白	内面ナデ 口縫部外側に突起文を貼付 口縫部は平滑
69	73	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm程度の砂粒を やや多く含む	良	内面：3.54/1リーブ黒 外面：2.55/1リーブ黒 断面：3.54/1リーブ黒	内面混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
70	66	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	20.8 (推定)	-	-	4mm程度の砂粒を やや多く含む	良	内面：2.55/1灰黄 外面：2.55/1灰白 断面：2.55/1灰	内外混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
71	75	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm~3mm程度の 砂粒をやや多く含む	良	内面：2.55/1灰 外面：10mm/1にぶい黄橙 断面：2.55/1灰黄	内料ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
72	72	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む 埋没された胎土	良	内面：2.55/1灰 外面：10mm/1にぶい黄橙 断面：2.55/1灰	内面混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
73	74	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	3	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む 埋没された胎土	良	内面：2.55/1灰 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰黄	内面混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
74	79	SK-2 淀林 口縁部	陶文土器	4	21.7 (推定)	-	-	埋没された胎土	良	内面：2.55/1黒 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰	内面混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
75	80	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	4	-	-	-	2mm程度の砂粒を やや多く含む	良	内面：2.55/1灰 外面：2.55/1灰黄 断面：2.55/1灰	外副ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
76	81	II層 (B) 淀林 口縁部	陶文土器	4	-	-	-	埋没された胎土	良	内面：2.55/1灰 外面：10mm/1灰黄 断面：2.55/1灰	内面混ナデ 口縫部外側に刻目帶文貼付 口縫部は圓なし前日を施す
77	82	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	5	-	-	-	2mm~3mmの砂粒を やや多く含む	良	内面：2.55/1灰 外面：10mm/1灰黄 断面：2.55/1灰	焼成部 口縫部
78	85	SK-4 淀林 口縁部	陶文土器	5	-	-	-	2mm程度の砂粒を 含む	良	内面：2.55/1灰 外面：10mm/1灰黄 断面：2.55/1灰	突起文/条痕 埋没部

I 区 遺物観察表 4

発掘箇所 No.	写真 No.	出土場所 遺物・部位	種類	特徴	法量 (cm)			粘土	地底	色調	等級 成形/調整/その他				
					分類										
					口径	器高	底径								
79	81	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	5	-	-	直	2mm程度の砂粒を含む	内面：2.574/1 黄灰 外面：2.578/3 黄灰 底面：5.751/オーリーブ黒	内面刷毛 内外接觸状況実測 口縁部は平滑				
80	82	サブトレンチ C	泥鉢 口縁部	陶文土器	5	-	-	直	2mm程度の砂粒を含む	内面：2.574/1 黄灰 外面：10.079/2 黄灰 底面：5.751/オーリーブ黒	外表面磨き 縫合状況 口縁部は平滑				
81	86	SK-4	U字形 縫合部	陶文土器	5	-	-	直	2mm程度の砂粒を含む	内面：10.079/2 黄灰 外面：10.079/2 黄灰 底面：10.079/1 黄灰	内面磨き/外表面磨き 内面に2個の突起を認める 縫合部は平滑				
82	87	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	25.0 (推定)	-	直	2mm程度の砂粒をやや多く含む	内面：2.572/1 黄灰 外面：7.2516/6 不透 底面：5.751/1 黑	下部砂粒を多く含む 立ち上がり上部部で多く砂粒を含む 内面に2個の突起を認める 縫合部下部は余氷を残す				
83	93	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	最大2mm小石含む	内面：10.079/4/浅黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：5.751/1 黄灰	内面に細目/上部部無大差より やや上方で砂粒が見られる				
84	94	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	最大2mm小石含む	内面：5.751/4/灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：7.251/1 黑	内面刷毛 内面に開き/上部部無大差より やや上方で砂粒が見られる				
85	91	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	2mm程度の砂粒を含む 精選された胎土	内面：10.079/3/にい 黄灰 外面：2.571/1 黄灰 底面：5.751/4/灰	内面磨き/外表面磨きに余氷を施す 内面刷毛より外方に並んで 立ち上がり上部部に至る				
86	92	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	2mm程度の砂粒をやや多く含む	内面：4/1 黄灰 外面：2.571/1 黄灰 底面：2.571/1 黄灰	内面磨き/内面刷毛 内面に凹凸/立葉最大より やや上方で砂粒が見られる				
87	88	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	1mm程度の砂粒をやや多く含む	内面：5.751/オーリーブ黒 外面：10.079/4/にい 黄灰 底面：5.751/オーリーブ黒	内面磨き/外表面磨き 内面に凹凸/立葉部に至る				
88	95	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	1mm程度の砂粒をやや多く含む 精選された胎土	内面：10.079/8 黄灰 外面：7.2513/1/オーリーブ黒 底面：10.079/1 黄灰	内面磨き/外表面磨き 内面に余氷を施す				
89	90	SK-4	泥鉢 口縁部	陶文土器	6	-	-	直	2mm程度の砂粒を含む	内面：10.079/1 黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：10.079/3/にい 黄灰	余氷				
90	101	SK-4	脛部	陶文土器	7	-	-	直	3~4mm程度の小石を含む	内面：5.751/灰 外面：10.079/4/にい 黄灰 底面：5.751/4/灰	内外面刷毛				
91	96	II層 (木)	脣部	陶文土器	7	-	-	直	3~6mm程度の小石を含む	内面：5.751/灰 外面：10.079/4/にい 黄灰 底面：5.751/4/灰	内面余氷 内面磨き				
91	99	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	2~4mm程度の砂粒を含む	内面：10.079/2 黄灰 外面：10.079/4/にい 黄灰 底面：10.079/4/灰	内面余氷 内面ナダ				
93	98	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	精選された胎土	内面：10.079/4/にい 黄灰 外面：10.079/4/にい 黄灰 底面：10.079/2 灰	内面余氷 内面磨き				
94	100	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	3~4mm程度の小石を含む	内面：5.751/4/灰 外面：10.079/4/浅黄灰 底面：10.079/4/灰	内面ナダ 内面余氷				
95	95	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	3~4mm程度の小石を含む	内面：7.251/1 黄灰 外面：2.571/2 黄灰 底面：10.079/4 黄灰	内面余氷 ナダ				
96	97	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	3~6mm程度の小石を含む	内面：10.079/3/にい 黄灰 外面：10.079/4 浅黄灰 底面：2.571/1 黄灰	内面余氷 ナダ				
97	102	SK-4	脣部	陶文土器	7	-	-	直	4mm~5mm程度の小石を含む	内面：2.571/1 黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：2.571/2 黄灰	内面余氷 内面ナダ				
98	2	SK-4	林底部	陶文土器	8	16.8	-	5.5	砂粒をやや多く含む	内面：5.751/6/灰 外面：5.751/6/灰 底面：2.570/6/灰	内面余氷 内面余氷 丸底部				
99	6	II層 (木)	脣部	陶文土器	8	-	-	直	3mm~5mm程度の小石をやや多く含む	内面：2.571/1 黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：2.571/1 黄灰	内面余氷 外表面磨き				
100	7	SK-4	底部	陶文土器	8	-	-	直	3mm~5mm程度の小石をやや多く含む	内面：2.571/2 黄灰 外面：2.571/2 白 底面：2.571/1 黄灰	内面ナダ 外表面磨き				
101	5	SK-4	底部	陶文土器	8	-	-	2.5	3mm~6mm程度の小石をやや多く含む	不規 内面：2.571/2 黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：10.079/3/にい 黄灰	掌托				
102	3	SK-4	高杯	陶文土器	9	-	-	13.4	2mm~3mm程度の小石を含む	やや直 内面：10.079/2/にい 黄灰 外面：10.079/3/にい 黄灰 底面：2.571/1 黄灰	内面ナダ 内面ナダ				

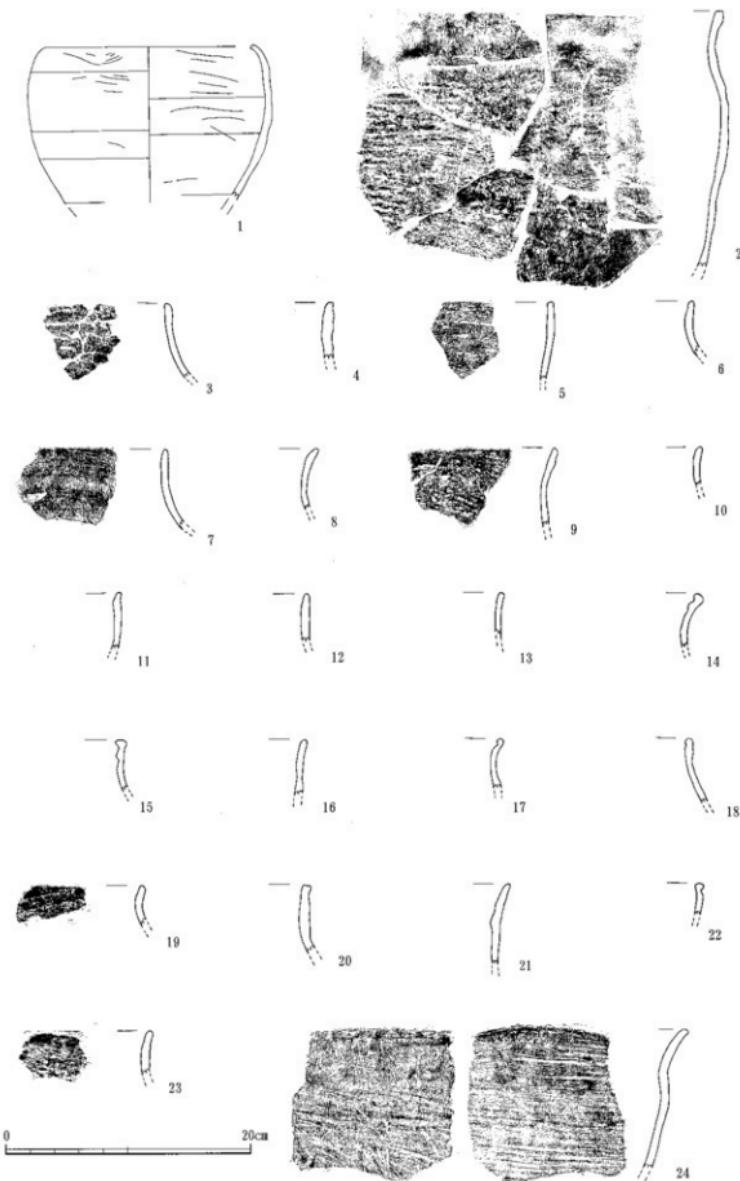


图9 I区出土遗物1

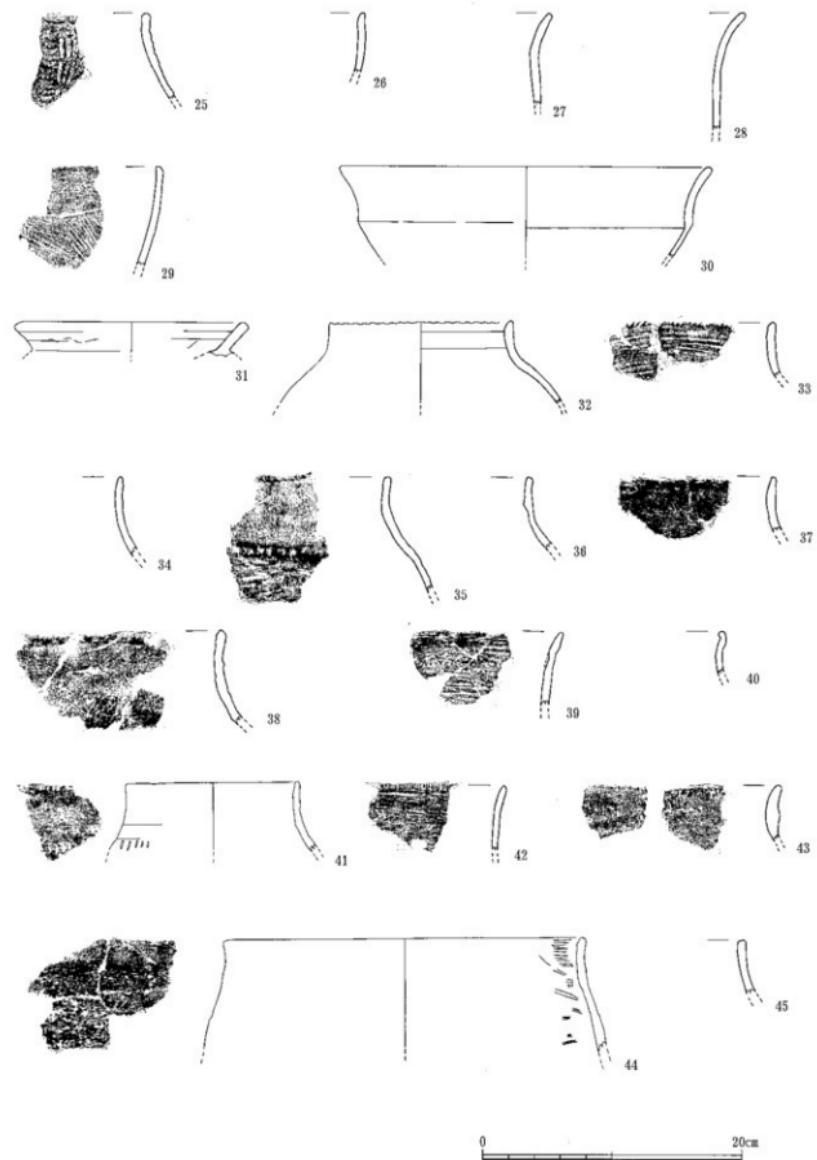


図10 I区出土遺物2

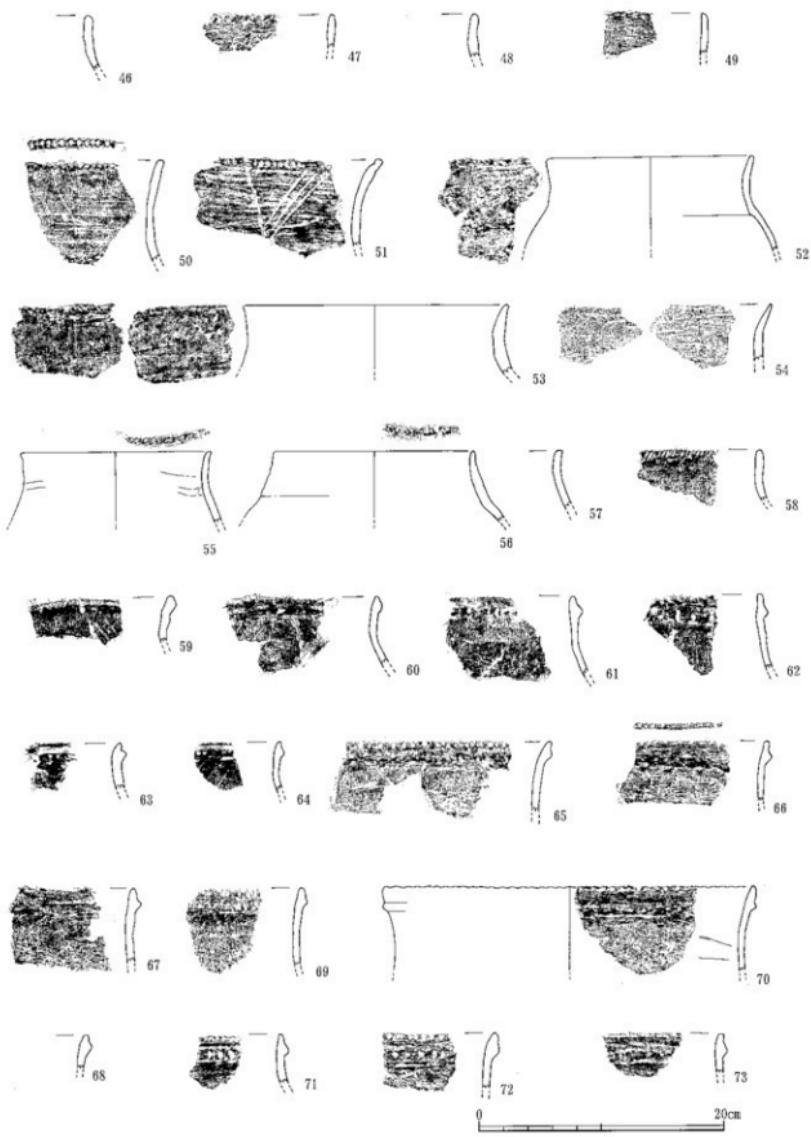


図11 I区出土遺物3

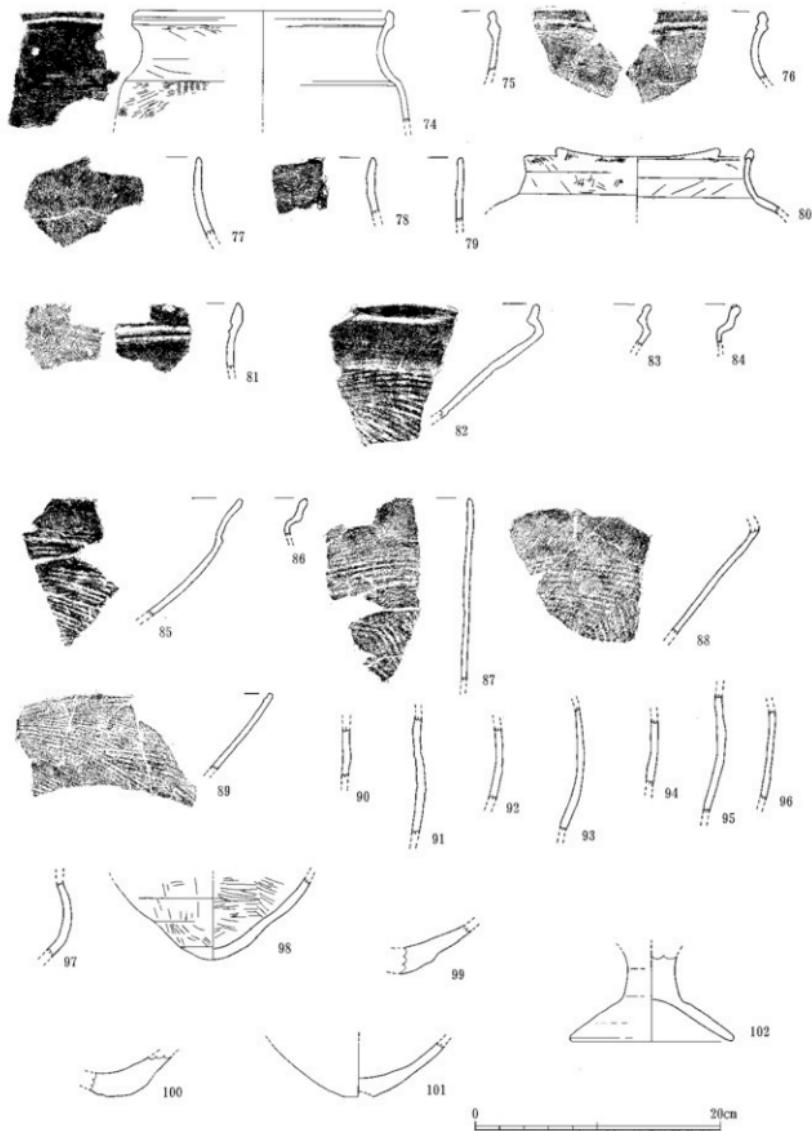


図12 I区出土遺物4

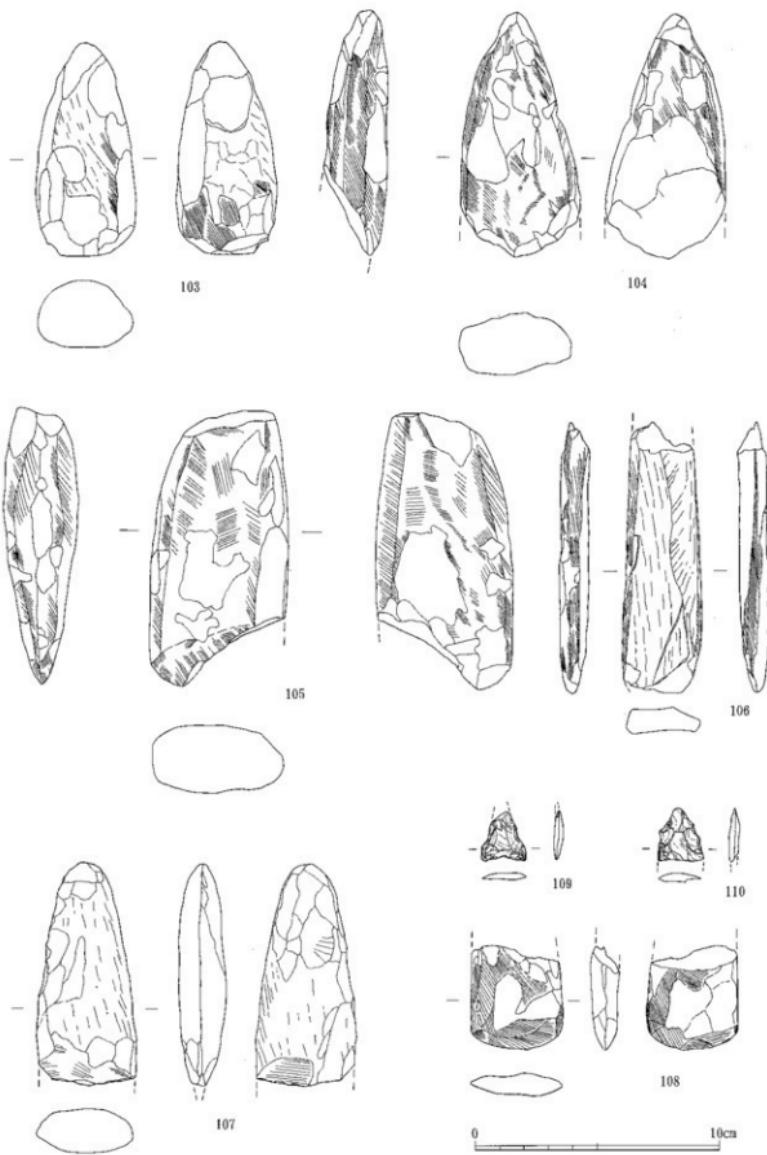


図13 I区出土遺物5

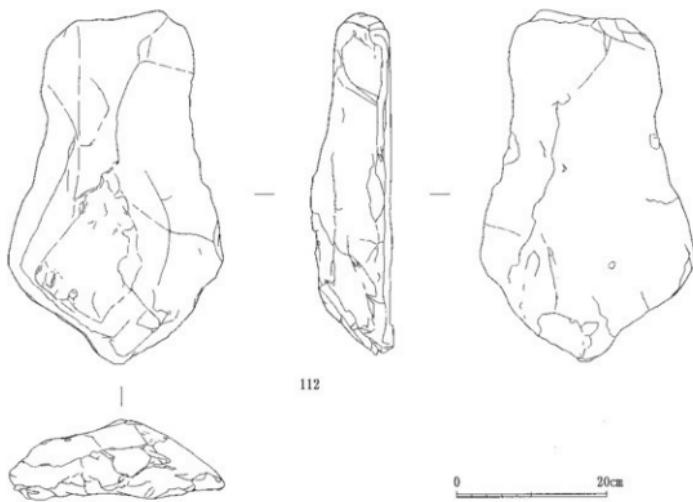
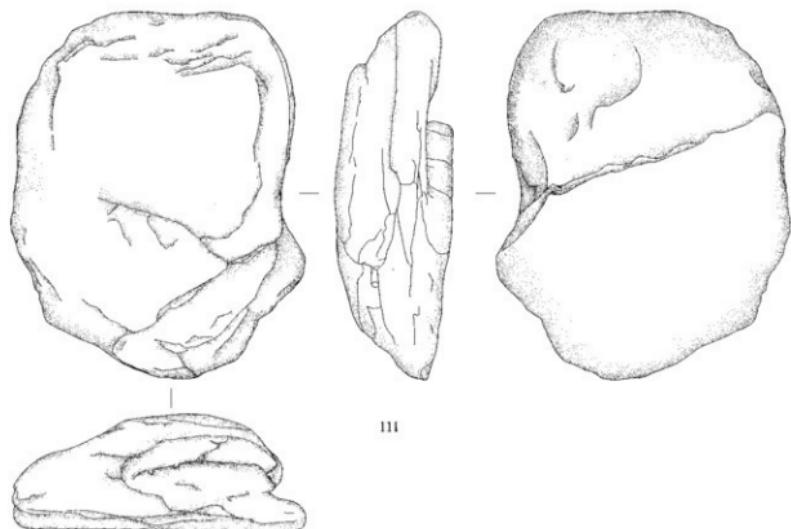
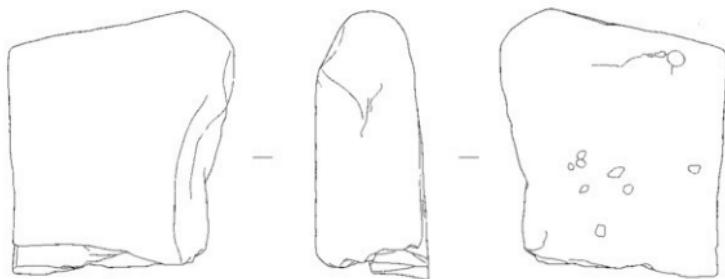


図14 I区出土遺物6



113



114



115



0 20cm

图15 I区出土遗物7

第2節 II区調査成果

(1) 包含層遺物

調査区II区はI区の南側に位置している。基本上層観察は調査区北壁で行ない、層位毎に遺物の取り上げを行なったが古代の遺物に混合して中世の遺物も出土したため、出土遺物はすべて後世の開発により二次的に堆積したものである。

II区の調査区においては遺構は確認されていないが、山麓斜面に存在していたと考えられる古代の窓跡に関係する遺物が多量に出土した。以下、図示できる遺物について分類し概要を報告する。

第1分類 須恵器(碗)(遺物観察表番号1~18)

碗の底部は回転窓により切り離され、しっかりしたハの字状の張付き高台または、シャープな高台がつく。胴部は斜上方に立ち上がり口縁部にいたる。口縁部はやや外反し、丸くおさめる。胎土は精選された粘土を使用している。法量は平均して口径12cm~14cm内外、器高3.8cmから4.5cm内外である。底部内面はナデがみられ、内外面ともに回転ロクロによる横ナデが調整がほどこされている。一部焼成不良もあるが全体として焼成は良好な遺物が多い。

第2分類 須恵器(杯)(遺物観察表番号19~35)

杯の胎土は精選された粘土で底部外面は回転窓削りで底部から外上方に上がり胴部でやや立ち上がり、口縁の端部は丸い。内外面ともにロクロによる回転ナデによる調整が施される。底部は平底である。19・24の底部に巻き上げがみられるものがある。口径は10cm~15cm程度である。

第3分類 土師器(碗)(遺物観察表番号36)

内外ともに回転ロクロによる横ナデ調整が施される。高台部は貼付けで、ハの字状に広がり先端は尖る。底部より斜上方に外反し、立ち上がり口縁部にいたる。先端は丸くおさめる。

第4分類 土師器(小皿)(遺物観察表番号37~41)

胎土は精選された粘土で内外面ロクロによる横ナデ調整がなされ、底部はベタ底で外面は静止窓切りである。胴部は短く口唇は丸い。

第5分類 須恵器(蓋)(遺物観察表番号42~73)

胎土は精選された粘土で内面は回転横ナデ、外面は窓と横ナデによる調整がみられる。口縁部内面にかえりを

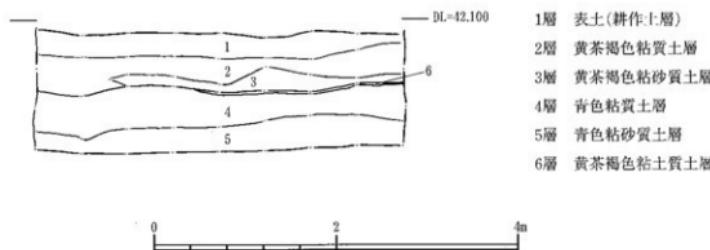


図16 II区北壁セクション

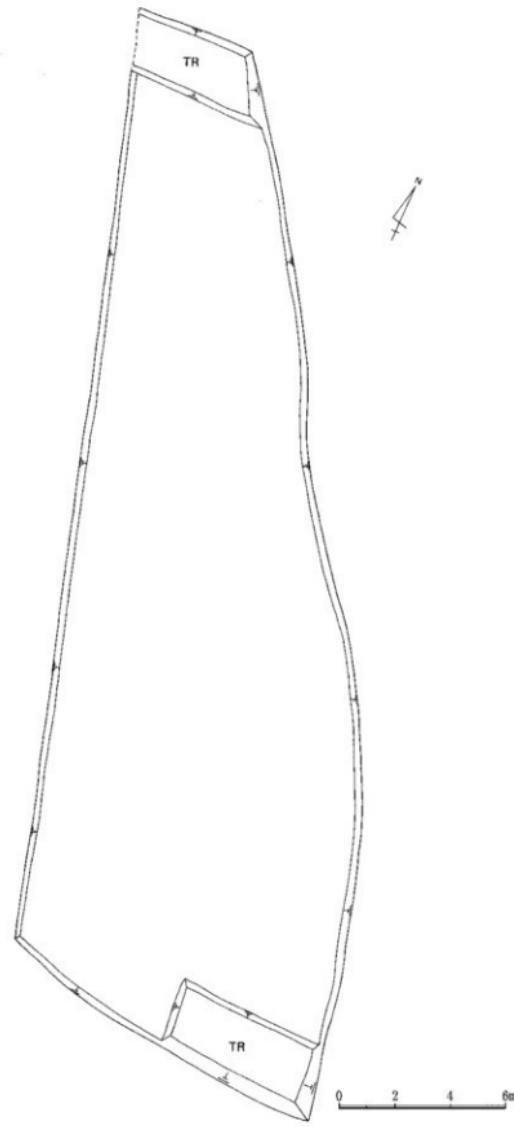


図17 II区発掘調査区

もつが、かえり先端が口縁部以下に突出することはない。天井部は扁平なボタン状や宝珠のつまみがつく。天井部は一段高く膨らみ、膨らみ部分を笠削りして平らにしあげている。平らな頂部から口縁部はゆるやかに口唇部に下がる。蓋の口径は12cmから15cm内外である。

第6分類 須恵器(蓋)(遺物観察表番号74~75)

胎土は精選された粘土で内面は回転横ナデ、外面は一部、笠による調整が見られる。天井部は一段高く膨らみ笠による平らな調整によりしあげている。扁平なボタン状のつまみがつく。98は大形の蓋でつまみ部分は欠損している。

第7分類 須恵器(壺)(遺物観察表番号76~96)

胎土は精選された粘土から石英、小石を含むものとさまざまである。79は短口壺でない外面ともに回転横ナデ調整がほどこされ、95は直口壺の口縁部から胴部にかけての破片である。内外面ともにロクロによる回転横ナデ調整である。77・81・82・83・84・85・88・90・93・94・97は長頸壺の口縁部や胴部の破片である。内外面ともにロクロによる回転横ナデがほどこされる。底部にはしっかりとしたハの字状の貼付け高台がつく。76・78・80・86・87・89・91・92・95・96の壺は外面にロクロによる横ナデ調整、又は格子目叩きによる調整がみられる。84・90は胴部肩部に凹線と笠による刺突列の文様がみられる。

第8分類 須恵器(鉢)(遺物観察表番号98~99)

胎土は精選された粘土である。内外面ともにロクロによる回転横ナデが施されている底部は回転笠削りがみられ、平底である。

第9分類 須恵器(片口鉢)(遺物観察表番号100~109)

胎土は精選されたものから石英、小石を含むものまである。内外面ともにロクロによる横ナデ調整が施され、底部は笠削りで、平底である。

第10分類 須恵器(甕)(遺物観察表番号110~123)

胎土は精選された粘土である。中に若干、石英、小石、砂を含むものがある。内外面ともにロクロによる回転横ナデ調整が施されている。内面に青海波文や外面に叩き目文がみられるものがある。口縁部に1本から3本の凹線をめぐらし、三角状をなす貼付け突帯、櫛描波状文や笠による単線波状文があるものがある。

第11分類 須恵器(高杯)(遺物観察表番号124~131)

胎土は精選された粘土で内外面にはロクロによる横ナデがみられ、脚部裾はラッパ状に広がるものやベタ状に広がるものがある。杯部は外反して斜上方に向かって立ち上がる。口唇は丸くおさめるものと外反するものがある

第12分類 須恵器(瓦泉)(遺物観察表番号132~134)

胎土は精選された粘土で内外面にロクロによる横ナデ調整がみられる。底部は丸底である。胴部と頸部付け根は細く口縁部はやや外反し、ラッパ状に広がる。

第13分類 須恵器(杯)(遺物観察表番号135~182)

胎土は精選された胎土で内外面にロクロによる横ナデ調整が施される。底部は平底で中にはベタ高台もある。回転糸切りに笠による取り上げ痕が認められる。低温による焼成か土師質状のものがみられ、焼成による歪みの

あるものも多い。口径は13cmから16cmのものが多い。器高は高さは5cmから6cm内外のものが多くみられる。

第14分類 須恵器(皿)(遺物観察表番号183~186)

胎土は精選された粘土である。内外面にロクロによる回転横ナデによる調整がみられる。底部は平底で底部より斜上方に向かって立ち上がる。

第15分類 土師器(甕)(遺物観察表番号187~182)

土師器の口縁部の破片である。187は内外面はロクロによる回転横ナデ調整がみられる。188は口縁部下に1条の沈線が巡る。胴部から内部屈曲する。屈曲部分に接合部がみられる。繩文土器の可能性もある。

第16分類 瓦(鶴尾)(遺物観察表番号189~196)

胎土は精選された粘土である。瓦の断面は厚く2.4cmから4.3cmのものまである。鶴部に深沈線で鶴尾の段型を表現している。

第17分類 瓦(平瓦)(遺物観察表番号197~204)

胎土は精選された粘土である。凸面は荒目の布目痕がみられるものと範調整がみられるものがある。凹面は細い布目痕がのこる。

第18分類 瓦(丸瓦)(遺物観察表番号205)

胎土は精選された粘土である。凸面は範調整がなされ、凹面には布目痕がのこる。

第19分類 土製馬形品(遺物観察表番号206~208)

胎土は精選された粘土である。粘土塊を範削り調整がされ、粘土帯には竹管文による押捺がなされ、馬具を表現している。208は四股のうち1本が残り鞍部は剥離し、頭部、尻部も破損している。

第20分類 土玉(遺物観察表番号209)

直径2.5cmの土玉(陶玉)で胎土は精選された粘土である。焼成は良好である。

第21分類 土師質土器(杯)(遺物観察表番号210~218)

精選された粘土である。内外面にはロクロによる回転横ナデ調整が施され、内面、外面にロクロ調整による段が著しいものがあみられる。底部は回転糸切りがみられ、211・213は一部範による取り上げ痕がみられる。範による取り上げ痕の土器は本来、須恵器の杯(第13分類)と同一のものと考えられるが、焼成温度の低さから土師質土器と似ておりまた摩耗による観察困難から土師質土器としている。

第22分類 土師質土器(小皿)(遺物観察表番号219~220)

219は胎土に小石を含む。220は精選された粘土である。摩耗により内外面の調整不明底部は回転糸切りをなし、平底である。

第23分類 瓦質土器(鍋)(遺物観察表番号221~222)

221は砂粒を含む胎土で、口縁部下に錫が付くものである。222は精選された粘土で胴部に取っ手がつく。摩耗により調整は不明である。

第24分類 備前焼(鉢・壺)(遺物観察表番号223~224)

223は備前焼の摺鉢の口縁部で精選された胎土をもつ。口縁部に向かって折れ曲がり直線的に立ち上がる。口縁部は外反する。内外面に横ナデ調整がみられる。224は壺の肩部の破片である。内外面に横ナデ調整がみられる。

第25分類 白磁(碗・杯)(遺物観察表番号225~228)

胎土は精選された精緻で硬質である。225は碗の底部で高い貼付け高台をもつ。228も白磁の碗で内面底部に釉薬がみられる。226は碗の口縁部で口縁部は少し肥大し、全体に釉薬を施す。227は杯の口縁部で内面に段がみられ、口縁部は丸くおさめる。内外に釉薬を施す。

第26分類 青磁(碗)(遺物観察表番号229)

胎土は精緻で硬質である。内外にオリーブ色の釉薬を施す。

第27分類 土師質土器(壺)(遺物観察表番号230)

胎土は精選された粘土である。やや瓦質で口縁部はやや外反して丸くおさめる。

第28分類 土師質土器(鍋)(遺物観察表番号231)

胎土は砂粒を多く含む。垂直に立ち上がり口縁部は逆L字状に突出し肥大する。

第29分類 潤戸焼(天目茶碗)(遺物観察表番号232)

精選された精緻で硬質な胎土である。高台内面に釉薬を施す。

(2) その他の遺物

1. 写真番号211

窯壁の破片で指圧ナデがみられる。焼成は硬質で良く窯のあった空洞がみられ、粘土と薬を混ぜて窯本体を構築していたとかんがえられる。

2. 写真番号212

須恵器の杯が歪みと接合により一塊となっている。窯内部における焼成時に杯が重ねて焼成していたと考えられる。

3. 写真番号213

須恵器の壺の底部の破片である。底部外面に石英、砂粒が付着していることから焼成時に焼成品の下に石英、砂粒を敷き詰めて焼成していたと考えられる。

II 区 遺物観察表 1

先頭 No.	固版番号 No.	写真 No.	出土地点 場所・層位	種類	器形	分類	法量 (cm)			粘土	焼成	色調	特徴 成形/調整/その他
							口径	高さ	底径				
1	1	Ⅱ層	横	須恵器	1	12.4	4.4	6.8	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	輪軸ナデ/圓軸ヘラ切り 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
2	2	Ⅱ層	横	須恵器	1	13.6	4.3	7.3	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
3	3	Ⅱ層	横	須恵器	1	14.0	4.1	9.1	精選された黏土	良	内面: 324/1灰 外面: 516/1灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
4	4	Ⅱ層	横	須恵器	1	13.2	4.5	9.8	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
5	5	Ⅱ層	横	須恵器	1	12.5	4.1	9.5	精選された黏土	良	内面: 2.516/0灰 外面: 7.516/4灰にぶい黄	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
6	6	Ⅱ層	横	須恵器	1	13.8	4.2	8.6	精選された黏土	不良	内面: 10灰/0にぶい黄 外面: 7.516/4灰にぶい黄 底面: 10灰/0にぶい黄	クロロコロ軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
7	7	Ⅱ層	横	須恵器	1	13.6	4.2	8.6	精選された黏土	良	内面: 10灰/0にぶい黄 外面: 7.516/4灰にぶい黄 底面: 10灰/0にぶい黄	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
8	8	120 Ⅲ層 (底部)	横	須恵器	1	(12.4)	(2.6)	5.6	精選された黏土	良	内面: 7.516/0灰にぶい黄 外面: 7.516/0灰にぶい黄 底面: 7.516/2灰黒	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
9	9	122 Ⅲ層 (底部)	横	須恵器	1	13.0	3.9	6.8	精選された黏土	小不良	内面: 10灰/0にぶい黄 外面: 10灰/0にぶい黄 底面: 2.517/2灰黒	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
10	10	8	Ⅲ層	横	須恵器	1	15.0	5.2	5.6	精選された黏土	不良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰 底面: Ng/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台
11	11	131 Ⅲ層 (底部)	横	須恵器	1	-	-	-	精選された黏土	不良	内面: 7.516/4灰にぶい黄 外面: 7.516/4灰にぶい黄 底面: 2.516/3灰黒	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
12	12	8	表鉢	横	須恵器	1	13.0	3.6	7.8	精選された黏土	良	内面: 7.516/0灰 外面: 7.516/0灰 底面: 7.516/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台
13	13	19 Ⅲ層 Ⅳ層	横	須恵器	1	14.1	3.8	8.5	精選された黏土	良	内面: 26/0灰 外面: 27/0灰 底面: 10灰/7/1明灰黒	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
14	14	128 Ⅲ層	横 (底部)	須恵器	1	-	-	6.2	精選された黏土	良	内面: 314/1灰 外面: 315/1灰 底面: 10灰/7/4にぶい黄	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
15	15	126 Ⅲ層	横 (底部)	須恵器	1	-	-	7.0	精選された黏土	不良	内面: 517/2灰白 外面: 517/2灰白 底面: 516/2灰	輪軸	
16	16	127 Ⅲ層 (底部)	横	須恵器	1	-	-	6.6	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰 底面: 7.516/1灰白	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
17	17	129 Ⅲ層	横 (底部)	須恵器	1	-	-	9.8	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰 底面: 7.516/1灰白	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
18	18	130 Ⅲ層	横 (底部)	須恵器	1	-	-	7.8	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰 底面: Ng/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/貼り付け高台	
19	19	11 Ⅲ層	杯	須恵器	2	11.4	4.4	7.5	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	輪軸ナデ/内底面ナデ 輪軸ヘラ切り/ベタ底 燒成がみ	
20	20	12 Ⅲ層	杯	須恵器	2	13.4	4.9	7.9	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰白	内底ナクロコロ軸ナデ 輪軸ヘラ切り/ベタ底	
21	21	13 Ⅲ層	杯	須恵器	2	13.1	4.1	7.2	精選された黏土	不良	内面: 10灰/2灰口 外側: 10灰/2にぶい黄 底面: 10灰/2にぶい黄	内底ナクロコロ軸ナデ 輪軸ヘラ切り/ベタ底	
22	22	14 Ⅲ層	杯	須恵器	2	13.6	4.1	6.5	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	内底ナクロコロ軸ナデ 輪軸ヘラ切り/ベタ底	
23	23	15 Ⅲ層	杯	須恵器	2	13.6	4.8	6.3	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	内底ナクロコロ軸ナデ 輪軸ヘラ切り/ややベタ底	
24	24	16 Ⅲ層	杯	須恵器	2	15.0	4.7	7.0	精選された黏土	良	内面: Ng/0灰 外面: Ng/0灰	外輪軸カキ目(ハラ割り) 内底ナデ/ベタ底	
25	25	17 Ⅲ層	杯	須恵器	2	12.6	4.0	6.7	精選された黏土	良	内面: 7.516/1灰黒 外面: 5.517/1灰白	内面クロコナデ 底脚ナクロコロ軸ナデ	
26	26	18 Ⅲ層	杯	須恵器	2	10.4 (底部)	4.5	6.5	精選された黏土	良	内面: 7.516/5/1灰 外面: 8.516/5/1灰	内底ナクロコロ軸ナデ 輪軸ヘラ切り/底脚	
27	27	19 Ⅲ層	杯	須恵器	2	10.8 (底部)	3.8	8.4	精選された黏土	良	内面: 7.516/1灰白 外面: 7.516/1灰白 底面: 10灰/1オーブ灰	底脚ナクロコロ軸ナデ 底脚内面凹斜面ヘラ削り/ベタ底 底脚	
28	28	135 Ⅲ層	杯 (底部)	須恵器	2	-	-	7.0	精選された黏土	良	内面: 517/2灰白 外面: 517/2灰白 底面: 517/2灰白	底脚	
29	29	134 Ⅲ層	杯 (底部)	須恵器	2	-	-	8.0	精選された黏土	不良	内面: 517/2灰白 外面: 517/2灰白 底面: 517/2灰白	底脚	

II 区 遺物観察表2

実測 No.	回収番号 No.	写真 No.	出土地点 遺構・部位	種類	器種	分類	寸法(cm)			鉢土	地質	特徴 成形／削り／その他の記述	
							口径	高さ	底径				
30	25	133	Ⅱ層 目崩	杯	須恵器	2	12.0 (推定)	1.7	8.0	精選された胎土	不良	内面：5.7/5灰白 外面：7.3/7.1灰白 断面：7.3/7.1灰白	東部外周削り／内面ナメ調整
31	28	20	Ⅱ層 目崩	杯	須恵器	2	12.4	3.1	7.2	精選された胎土	良	内面：M7灰 外面：M7灰白 断面：M7灰白	東部外周成ナメ／内面強ナメ
32	29	21	Ⅱ層 目崩	杯	須恵器	2	15.7 (推定)	5.1	9.0	精選された胎土	不良	内面：S9灰白 外面：S9灰黄 断面：S9灰白	内外面成ナメ
33	32	136	Ⅱ層 (底面)	杯	須恵器	2	-	-	7.4	精選された胎土	不良	内面：7.3/7.1灰白 外面：7.3/7.1灰白 断面：7.3/7.1灰白	東部外周削り／内面ナメ
34	30	132	Ⅱ層 目崩	杯	須恵器	2	14.6 (推定)	5.4	10.6	精選された胎土	不良	内面：S9灰白 外面：S9灰白 断面：S9灰白	要純
35	31	158	Ⅱ層 目崩	杯	須恵器	2	13.6 (推定)	4.0	5.0	精選された胎土	良	内面：N7灰 外面：N7灰 断面：N7灰	東部外周削り／内面強ナメ
36	36	51	Ⅱ層 底	碗	土器類	3	13.6	4.7	7.6	精選された胎土	良	内面：7.5/8.0灰 外面：7.5/8.0灰	内外面削成ナメ
37	37	55	Ⅱ層 小皿	土器類	4	9.0	2.1	5.7	精選された胎土	不良	内面：10.9/8.4灰黄 外面：10.9/8.4灰黄 断面：10.9/8.4灰黄	全体に摩耗激しく調査不明	
38	38	52	Ⅱ層 目崩	小皿	土器類	4	8.6	1.4	6.5	精選された胎土	不良	内面：7.3/7.1灰 外面：7.3/7.1灰 断面：7.3/7.1灰	内外面クロ横ナメ 停止ヘタ切り ベタ底
39	39	53	Ⅱ層 小皿	土器類	4	8.2 (推定)	1.4	6.2	精選された胎土	不良	内面：7.3/7.1灰 外面：7.3/7.1灰 断面：7.3/7.1灰	内外面クロ横ナメ 停止ヘタ切り ベタ底	
40	40	54	Ⅱ層 小皿	土器類	4	8.4 (推定)	1.4	4.8	精選された胎土	不良	内面：2.5/6.4灰 外面：10.9/8.4灰黄 断面：S9灰(?)オリーブ灰	内外面クロ横ナメ 停止ヘタ切り ベタ底	
41	41	55	Ⅱ層 小皿	土器類	4	8.8 (推定)	1.3	6.8	精選された胎土	良	内面：5.9/7.1灰 外面：7.3/7.1灰 断面：7.3/7.1灰黄	内外面クロ横ナメ 停止ヘタ切り ベタ底	
42	42	81	Ⅱ層 蓋	須恵器	5	14.1 (推定)	3.5	-	精選された胎土	不良	内面：S7.3/7.3灰 外面：S7.3/7.3灰	内外面ナメ仕上げ 継ぎなまみ	
43	43	57	Ⅱ層 蓋	須恵器	5	14.0 (推定)	2.8	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N6.0灰	内外面ナメ仕上げ 継ぎなまみ	
44	44	58	Ⅱ層 蓋	須恵器	5	12.0 (推定)	4.2	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N6.0灰	内外面ナメ仕上げ	
45	45	59	Ⅳ層 蓋	須恵器	5	13.4	4.2	-	精選された胎土	良	内面：M6.0灰 外面：M6.0灰	内外面ナメ仕上げ 焼成による凹凸	
46	46	60	Ⅱ層 蓋	須恵器	5	12.6 (推定)	3.1	-	精選された胎土	良	内面：M6.0灰 外面：M6.0灰	内外面ナメ仕上げ 焼成による変化少しあり	
47	47	61	Ⅱ層 蓋	須恵器	5	15.6 (推定)	2.2	-	精選された胎土	不良	内面：S7.1灰白 外面：7.3/7.1灰白	内外面ナメ仕上げ	
48	48	62	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	15.0 (推定)	3.0	-	精選された胎土	不良	内面：N6.0灰 外面：S7.3/7.3灰	内外面ナメ仕上げ
49	49	63	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	12.5	4.2	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N6.0灰	東部外周削成ナメ 東部内中央ナメ
50	50	64	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	12.4	3.0	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：S7.1灰	外側ヘタ／内側横ナメ 内面強ナメ
51	51	65	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	13.1	2.3	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N6.0灰	内外面ナメ仕上げ
52	52	66	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	13.2	3.8	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N6.0灰	外側ヘタ／内側横ナメ／焼成による歪み
53	53	67	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	14.0 (推定)	2.6	-	精選された胎土	良	内面：2.5/6.4灰 外面：S7.1灰	内外面ナメ／外側ヘタ 火舟留めつまみ火根
54	54	68	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	12.2	2.6	-	精選された胎土	良	内面：N7.0灰白 外面：N6.0灰 断面：K5.0灰	内外面強ナメ／外側ヘタ
55	55	69	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	15.6	1.9	-	精選された胎土	良	内面：S7.1灰 外面：K5.0灰	外側ヘタ／横ナメ 内面強ナメ／焼成による歪み
56	56	70	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	12.2	3.2	-	精選された胎土	良	内面：N6.0灰 外面：N7.0灰白	外側ヘタ／横ナメ 内面強ナメ／焼成による歪み
57	57	71	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	12.5	3.0	-	精選された胎土	良	内面：10.0/7.1灰白 外面：N6.0灰	外側ヘタ／横ナメ 内面強ナメ／焼成による歪み
58	58	72	Ⅱ層 蓋	蓋	須恵器	5	15.0	2.7	-	精選された胎土	良	内面：N7.0灰白 外面：N7.0灰白	外側ヘタ／横ナメ 内面強ナメ

II 区 遺物観察表3

実施 No.	回収番号 No.	写真 No.	出土地点 場所・層位	種類	分類	法量 (cm)			出土	状況	色調	特徴 成形/個体/その他	
						口径	高さ	底径					
59	59	158	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	13.0	3.9	-	精選された胎土	良	内面: SB-1 黄灰 外面: NG-1 褐灰 断面: 100% 灰灰	外側ヘラ、横ナデ 内面面倒模ナダ
60	60	159	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	14.0	3.2	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 褐灰 断面: NG-1 褐白	外側ヘラ横ナダ 内面面倒模ナダ
61	61	156	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 2.50% 黄灰 外面: 2.50% ホワリーブ灰 断面: 2.50% ホワリーブ灰	外側ヘラ、横ナダ 内面面倒模ナダ
62	62	157	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 2.51% 黄灰 外面: 3.1% ホワリーブ 断面: 2.51% ホワリーブ灰	外側ヘラ、横ナダ 内面面倒模ナダ
63	63	73	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	10.4 (測定)	4.5	0.0	精選された胎土	良	内面: 3.5% 黄灰 外面: 10.7% ホワリーブ 断面: 10.7% ホワリーブ灰	外側ヘラ、横ナダ 内面面倒模ナダ
64	64	74	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	12.0	1.9	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄白 外面: NG-1 褐灰 断面: NG-1 黄白	外側ヘラコロクロ横模ナダ 内面ヘラ、洗成みがみ
65	65	75	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	13.0	2.8	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄白 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄白	外側ヘラ、横模ナダ 焼成みがみ
66	66	76	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	15.8	3.5	-	精選された胎土	不良	内面: 2.57% /3浅黄 外面: MG-1 黄 断面: 3.1% ホワリーブ	横ナダ、扁平なつまみ 内外削損ナダ
67	67	77	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	15.0	2.3	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄	外側ヘラ、横ナダ 内面面倒模ナダ/洗成みがみ
68	68	78	-	蓋	瓶底器	5	14.8	2.8	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: SY-1 黄 断面: NG-1 黄白	焼成による赤み
69	69	85	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	14.4	2.9	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄白	外側ヘラ、横ナダ/内面横ナダ 焼成による赤み
70	70	86	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	13.4	1.5	-	精選された胎土	良	内面: SY-1 黄 外面: SY-1 黄 断面: SY-1 黄	外側ヘラ、横ナダ/加熱ナダ 焼成みがみ/扁平なつまみ
71	71	79	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	19.9	2.9	-	精選された胎土	良	内面: 3.7% 黄白 外面: SY-1 黄 断面: SY-1 黄	内側面横コロナド調整 宝珠型つまみ
72	72	80	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	14.5	2.8	-	精選された胎土	良	内面: MG-1 黄 外面: NS-1 黄 断面: NG-1 黄	内面ナデ仕上げ
73	73	82	Ⅳ層	蓋	瓶底器	5	-	-	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: MG-1 黄 断面: MG-1 黄	内面横模ナダ
74	74	83	Ⅳ層	蓋	瓶底器	6	14.4 (測定)	2.6	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄	内側面横コロナド調整ナダ 外側一部ヘラ
75	75	84	Ⅳ層	蓋	瓶底器	6	15.0 (測定)	2.0	0.0	精選された胎土	小不良	内面: 10.7% /2.5% 黄 外面: SY-1 黄 断面: SY-1 黄	内面面倒模ナダ/外側ヘラ
76	76	119	Ⅳ層	蓋	瓶底器	7	11.1 (測定)	-	-	石灰、小石を やや多く含む	良	内面: MG-1 黄 外面: NG-1 黄 断面: KS-1 黄	横ナダコロナダ/ 鶴子目タキ
77	77	91	Ⅳ層	長瓶底 (胸部)	瓶底器	7	-	0.0	13.9	石灰、小石を やや多く含む	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄	内外面横ナダ 高台部強化横ナダ
78	78	118	Ⅳ層	蓋	瓶底器	7	9.9	-	-	石灰、小石を やや多く含む	良	内面: NG-1 黄 外面: 10.7% /2.5% 黄 断面: NG-1 黄	四輪コロナダ/口縁部下 格子目タキ セミコロナダ
79	79	87	Ⅳ層	短口蓋	瓶底器	7	6.9	5.4	8.6	精選された胎土	良	内面: 2.5% 黄 外面: 2.5% 黄 断面: 2.5% 黄	粗転模ナダ/丸底
80	80	99	Ⅳ層	蓋 (口縁部)	瓶底器	7	10.2	-	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄白 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄白	内外面横ナダ
81	81	90	Ⅳ層	長瓶底	瓶底器	7	-	-	0.0	粉選された胎土	良	内面: NG-1 黄 外面: NG-1 黄白 断面: NG-1 黄白	内外面横ナダ
82	82	95	Ⅳ層	長瓶底 (口縁部)	瓶底器	7	7.4	-	-	精選された胎土	良	内面: NG-1 黄白 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄	内外面横ナダ 口縁下に2本の浅い沈線
83	83	121	Ⅳ層	長瓶底	瓶底器	7	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 7.5% /1 黄 外面: 10.7% /1 黄 断面: 10.7% /1 黄白	粗転ナダ/内面ナナ 凹面ナタリ/貼り付け高台
84	84	91	Ⅳ層	長瓶底 (胸部)	瓶底器	7	-	-	-	精選された胎土	良	内面: MG-1 黄 外面: MG-1 黄 断面: MG-1 黄	内側面横ナダ 貼面部に赤の沈線と凹面
85	85	96	Ⅳ層	長瓶底 (胸部)	瓶底器	7	-	-	0.4	精選された胎土	不良	内面: 2.5% 黄 外面: 2.5% 黄白 断面: 2.5% 黄白	内外面横ナダ/貼り付け高台
86	86	79	Ⅳ層	蓋	瓶底器	7	-	-	18.0	精選された胎土	不良	内面: SY-1 黄白 外面: NG-1 黄 断面: NG-1 黄	内側面横ナダ
87	87	95	Ⅳ層	蓋 (胸部)	瓶底器	7	-	0.0	0.0	2mm 小4合含む	不良	内面: 10.7% /4.5% 黄 外面: 3.5% 黄白 断面: NG-1 黄灰	牽距

II 区 遺物観察表 4

実測 No	測定番号 No	写真 No	出土地点 遺跡・層位	種類	香種	分類	測量 (cm)			胎土	焼成	色調	特徴 成形/調査/その他
							口径	器高	底径				
88	84	98	II層 長塚窯 (口縁部)	直筒壺	須恵器	7	4.5	-	-	精選された胎土	良	内面：7.577/1灰白 外面：3.6/0灰 底面：7.577/1灰白	内外両横ナデ
89	83	169	II層 直筒 (口縁部)	直筒壺	須恵器	7	18.8 (推定)	-	-	石英、小石を含む	良	内面：2.575/1灰黄 外面：2.575/1黄灰 底面：2.576/1オリーブ灰	内外両横ナデ
90	88	92	衣袴 長縫袋 (縫部)	直筒壺	須恵器	7	-	-	0.0	精選された胎土	良	内面：5.77/1灰白 外面：5.75/1オリーブ灰 底面：5.77/2灰黄	内外両横ナデ 測量片端に3点の比較と列点文
91	81	170	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	7	19.4 (推定)	-	-	石英、小石を含む	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：2.575/2灰白	内外両横ナデ
92	82	173	II層 (山腹部)	直筒壺	須恵器	7	17.2	-	-	石英、小石を含む	良	内面：2.575/1オリーブ灰 外面：2.575/1オリーブ灰 底面：2.577/1灰白	内面横ナデ 外側横ナデ/底部から腹部にかけ 等子印付
93	94	123	II層 長縫袋 (底部)	直筒壺	須恵器	7	-	-	5.4	精選された胎土	良	内面：10.7/1灰白 外面：7.577/1灰白 底面：7.37/1灰白	内面横ナデ ハマの字跡付き高台
94	90	93	IV層 長縫袋 (縫部)	直筒壺	須恵器	7	-	-	0.0	精選された胎土	良	内面：3.5/0/1灰 外面：3.5/0/1灰 底面：3.5/0/1灰白	内面横ナデ
95	80	88	II層 直口壺	直筒壺	須恵器	7	10.7 (推定)	-	0.0	石英、小石を含む	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰オリーブ 底面：5.77/1灰白	内外両横ナデ
96	96	124	II層 直(底部)	直筒壺	須恵器	7	-	-	5.6	精選された胎土	良	内面：10.9/1灰 外面：7.576/1灰白 底面：7.577/1灰白	内外両横ナデ
97	97	125	II層 長縫袋 (底部)	直筒壺	須恵器	7	9.6 (推定)	-	3.9 (推定)	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：5.77/1灰白	内外両横ナデ
98	98	120	II層 直(底部)	直筒壺	須恵器	8	18.6 (推定)	7.3	8.5	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰	内面クロロ回転ナデ 陶軸へ切り替/ベタ底
99	99	101	IV層 直筒壺	直筒壺	須恵器	8	15.2 (推定)	-	16.0	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外クロロ回転ナデ
100	105	102	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	25.2 (推定)	10.5	9.5	小石を含む	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横クロ横ナデ 平底
101	101	102	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	-	-	9.4	石英、小石を含む	良	内面：10.9/1灰 外面：10.9/1灰 底面：10.9/1灰に青い青苔 底面：10.9/1灰に青い青苔	内面横ナデ/外面ハラ削割 平底
102	108	177	II層 片口鉢 (口縁部)	直筒壺	須恵器	9	13.2 (推定)	-	-	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ 焼成による歪み
103	104	178	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	-	-	7.0	石英、小石を多く含む	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ
104	106	181	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	-	-	14.8 (推定)	石英、小石を多く含む	良	内面：7.576/1灰 外面：10.9/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ 平底
105	102	180	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	-	-	15.6 (推定)	精選された胎土	良	内面：10.9/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ 平底
106	103	179	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	-	-	10.0 (推定)	石英の小石を含む	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ 底面へラ切り 平底
107	106	175	II層 片口鉢 (底部)	直筒壺	須恵器	9	22.2	-	-	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：7.576/1灰 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ 焼成による歪み
108	107	176	II層 片口鉢 (口縁部)	直筒壺	須恵器	9	23.3 (推定)	-	-	精選された胎土	良	内面：7.576/1灰 外面：10.9/1灰 底面：10.9/1灰白	内外両横ナデ 焼成による歪み
109	109	172	II層 片口鉢 (口縁部)	直筒壺	須恵器	9	27.7 (推定)	-	-	砂粒を含む	良	内面：9.7/1灰白 外面：9.7/1灰白 底面：9.7/1灰白	内外両横ナデ
110	122	171	II層 直筒 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	32.0 (推定)	-	-	砂粒を多く含む	良	内面：9.7/6灰 外面：9.7/6灰 底面：9.7/6灰に青い青苔 底面：7.576/1灰白	内外両横ナデ/ヘラ
111	123	168	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	34.0 (推定)	-	-	砂粒を多く含む	良	内面：2.576/6灰 外面：2.576/6灰 底面：2.576/6灰	内面横ナデ/外面横焼成ナデ 口縁下に2本の凹凸によるタナナデ
112	118	163	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	-	-	-	精選された胎土	良	内面：9.7/1灰白 外面：9.7/1灰白 底面：9.7/1灰白	内外両横ナデ 2本の凹凸によるタナナデ
113	112	104	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	11.2 (3.6)	-	-	石英、小石を含む	良	内面：10.9/1灰 外面：9.7/1オリーブ灰 底面：9.7/1灰白	内面横ナデ 外面印封柱文
114	111	172	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	26.0 (推定)	-	-	精選された胎土	不良	内面：10.9/1灰 外面：9.7/1オリーブ灰 底面：9.7/1灰白	内面横ナデ
115	115	182	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	-	-	-	精選された胎土	良	内面：2.576/6/1オリーブ灰 外面：2.576/6/1オリーブ灰 底面：2.576/6/1灰白	内外両横ナデ 焼成による歪み
116	113	167	II層 (口縁部)	直筒壺	須恵器	10	-	-	-	精選された胎土	良	内面：2.576/2灰白 外面：2.576/2灰白 底面：2.576/2灰白	内外両横ナデ/外口縁下部に 突起があり指痕波状文

II 区 遺物観察表 5

実測 No	試験番号 No	写真 No	出土地點 遺跡・部位	種類	器種	分類	法量 (cm)			砂土	焼成	色調	特徴 成形/鉢底/その他
							口径	器高	底径				
117	116	164	Ⅱ層 (口縁部)	甕	灰陶器	10	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 516/1灰 外側: 516/1灰 断面: 517/1灰白	内外面擦ナダ/外側口縁下部に 2本の白線があり裏面の擦痕波状文
118	117	165	Ⅱ層 (口縁部)	甕	灰陶器	10	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 516/2灰 外側: 516/2灰 断面: 517/2灰白	内面面擦ナダ/外側口縁下部に 1本の白線があり裏面の波状文
119	120	169	表浜	甕	灰陶器	10	25.8 (推定)	-	-	精選された粘土	良	内面: 2.517/1灰白 外側: 2.517/2灰白 断面: 2.518/1灰白	内面擦ナダ/口縁一部に木の 穴を含みて裏面波状文
120	119	166	Ⅱ層 (口縁部)	甕	灰陶器	10	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 2.562/1灰白 外側: 2.562/2灰 断面: 1018/1灰白	内面面擦ナダ/口縁は外反する/ 口縁下部に鉢底があり ハラによる單線波状文
121	121	172	Ⅱ層 (新底)	甕	灰陶器	10	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 57/0灰白 外側: 1015/2灰リープ白 断面: 57/0灰白	外側面擦ナダ 内面青面波状文
122	110	103	Ⅱ層 表浜	甕	灰陶器	10	24.8 (5.7)	-	-	石英、小石を含む 粘土	良	内面: 2.517/1灰白 外側: 1019/2灰黄鐵	内面面擦ナダ
123	114	169	Ⅱ層 (口縁部)	甕	灰陶器	10	33.2 (推定)	-	-	精選された粘土	良	内面: 58/0灰 外側: 53/0灰 断面: 53/0灰	内外面擦ナダ/口縁下部に三角孔の突起/ 輪廓波状文
124	124	105	Ⅱ層 新底	杯	灰陶器	11	15.0 (推定)	11.7	12.2	精選された粘土	良	内面: 55/0灰 外側: 56/0灰	杯内外口縁後手ナダ/ 杯口縁部に外反する/ 開口部はいた状況が 開口部はいた状況が
125	125	105	Ⅱ層 新底	馬杯	灰陶器	11	16.8	10.8	-	精選された粘土	良	内面: 57/0灰白 外側: 57/0灰白 断面: 55/0灰	クロロ/面擦擦ナダ 隕鉢形はいた状況に広がる
126	126	107	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	10.0	-	10.0	精選された粘土	良	内面: 57/0灰白 外側: 56/0灰 断面: 57/0灰白	外側クロロ面擦ナダ/内面擦ナダ
127	127	108	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 516/1灰 外側: 1017/1灰白 断面: 516/1灰	内側クロロ面擦ナダ
128	131	184	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	18.0 (推定)	-	11.0	精選された粘土	良	内面: 56/0灰 外側: 57/0灰白 断面: 57/0灰白	内側面クロロ面擦ナダ/ 擦痕波状文
129	129	119	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	-	-	6.6	精選された粘土	良	内面: 54/0灰 外側: 57/0灰白 断面: 57/0灰白	内側面擦ナダ/クロロ面擦ナダ/ 擦痕波状文はラッパ状に広がる
130	130	109	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	(11.2)	-	-	精選された粘土	不良	内面: 578/0灰白 外側: 578/0灰白 断面: 578/0灰白	摩耗著しく調整不明
131	130	111	Ⅱ層 高杯 (脚部)	馬杯	灰陶器	11	-	-	8.0	精選された粘土	良	内面: 2.505/1リープ灰 外側: 1005/1灰波 断面: 2.505/1リープ灰	内外面擦ナダ/クロロ面擦ナダ/ 隕鉢形はラッパ状に広がる
132	132	112	Ⅱ層 瓦	瓦	灰陶器	12	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 1017/1灰白 外側: 7.519/1灰 断面: 1017/1灰白	屋根面擦ナダ/横板 内側面クロロ横板テナ
133	133	114	表浜	瓦	灰陶器	12	6.9 (推定)	11.2	3.6	精選された粘土	良	内面: 7.517/1灰白 外側: 2.502/0リープ灰 断面: 7.515/1灰	内側面クロロ面擦ナダ/ 擦痕波状文/底邊によう葉筋
134	134	113	Ⅱ層 瓦	瓦	灰陶器	12	-	-	-	精選された粘土	良	内面: 1017/1灰白 外側: 56/0灰 断面: 577/1灰白	内側面クロロ面擦ナダ/ 底邊丸底
135	135	30	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	14.6 (推定)	5.3	5.4	精選された粘土	良	内面: 55/0灰 外側: 55/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/底邊ゆがみ 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
136	136	22	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	15.4 (推定)	5.0	6.0	精選された粘土	良	内面: 1017/1灰白 外側: 57/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
137	137	33	Ⅱ層 V層	杯	灰陶器	13	14.6 (推定)	5.5	6.4	精選された粘土	良	内面: 578/0灰白 外側: 7.517/1灰白	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
138	138	24	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	14.7	4.9	6.1	石英、小石を含む 粘土	良	内面: 55/0灰 外側: 55/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
139	139	25	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	15.2	5.1	5.7	精選された粘土	良	内面: 1017/2灰白 外側: 7.517/1灰	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
140	140	25	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	15.2	5.2	6.0	精選された粘土	良	内面: 2.516/1灰白 外側: 2.517/1灰白	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白 圓錐形切り口/ペタ底白
141	141	27	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	15.0 (推定)	5.1	6.2	精選された粘土	良	内面: 55/0灰 外側: 55/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/圓錐形切り口/ペタ底白 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
142	142	28	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	16.4	4.8	6.2	精選された粘土	良	内面: 56/0灰 外側: 54/0灰	ロクロ/面擦ナダ/底邊丸底
143	143	29	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	16.0 (推定)	6.5	5.8	精選された粘土	良	内面: 56/0灰 外側: 56/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/底邊ゆがみ 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕
144	144	30	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	14.4 (推定)	5.1	6.6	精選された粘土	良	内面: 1019/1灰 外側: 55/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白/ 底邊丸底
145	145	31	Ⅱ層 杯	杯	灰陶器	13	13.4	5.1	6.0	精選された粘土	良	内面: 55/0灰 外側: 56/0灰	内側面クロロ面擦ナダ/ペタ底白/ 圓錐形切り口/ヘラ取り上げ痕

II 区 遺物観察表 6

実測 位置 探査番号 No.	写真 No.	出土地點 遺跡・層位	種類	器種	分類	測量 (cm)			出土	焼成	色調	特徴 或形／調査／その他	
						口径	器高	底径					
145	146	32	II層	杯	灰陶器	13	14.0	-	6.5	焼造された胎土	不良	内面: 5986/3灰黄 外面: 2.5157/6灰	内外面クロロ胎子ナメ/輪板余切り 焼成みがみ/ベタ高台
147	147	33	II層	杯	灰陶器	13	14.0 (推定)	4.9	6.4	焼造された胎土	不良	内面: 5986/6灰 外面: 5986/6	内外面クロロ胎子ナメ調整/ベタ高台 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/土跡質
148	148	34	II層	杯	灰陶器	13	13.0 (推定)	4.2	6.5	焼造された胎土	不良	内面: 10837/4によい黃 外面: 10836/4灰黄 削面: 10836/6黄灰	内外面クロロ胎子ナメ/輪板余切り/ベタ高台 土跡質
149	149	35	II層	杯	灰陶器	13	-	-	5.8	焼造された胎土	良	内面: 5986/6灰 外面: 5986/6 削面: 5986/5灰	内外面クロロ胎子ナメ調整 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/土跡質
150	150	36	II層	杯	灰陶器	13	15.6	5.2	6.0	焼造された胎土	不良	内面: 10837/4によい黃 外面: 10837/4によい黃	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台/土跡質
151	151	37	I層 II層	杯	灰陶器	13	-	-	5.4	焼造された胎土	不良	内面: 10836/6黄 外面: 10835/4灰黄 削面: 10835/4灰黄	内外面クロロ胎子ナメ/輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台/土跡質
152	152	38	II層 III層	杯	灰陶器	13	14.4 (推定)	3.6	6.0	焼造された胎土	不良	内面: 5927/5灰 外面: 7.5157/7灰 削面: 7.5157/6	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台
153	153	143	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	6.8	焼造された胎土	不良	内面: 7.5157/7によい灰 外面: 7.5157/6によい灰 削面: 7.5157/7	クロロ胎子ナメ/ベタ底 輪板余切り 土跡質
154	154	39	II層	杯	灰陶器	13	14.8 (推定)	3.6	6.6	焼造された胎土	不良	内面: 5927/8灰 外面: 7.5157/7灰 削面: 7.5157/6	全体的に摩耗/輪板余切り 内外面輪板余切り調整
155	155	141	II層 (底部)	瓶	灰陶器	13	12.0	-	5.0	焼造された胎土	良	内面: 5927/9灰 外面: 7.5157/1灰 削面: 5927/8灰	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ 焼成によるざわら
156	156	40	II層	杯	灰陶器	13	13.4	4.9	5.5	焼造された胎土	良	内面: 7.5157/1灰 外面: 7.5157/1灰 削面: 7.5157/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台
157	157	41	II層 III層	杯	灰陶器	13	15.0 (推定)	4.0	6.8	焼造された胎土	不良	内面: 5927/9灰 外面: 7.5157/1灰 削面: 5927/8	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台/土跡質
158	158	42	II層	杯	灰陶器	13	13.8 (推定)	4.7	6.3	焼造された胎土	不良	内面: 5927/6灰 外面: 5927/6 削面: 5927/6	全体的に燒成不良/摩耗しい 内外面調整不整 ベタ底/土跡質
159	159	43	II層	杯	灰陶器	13	13.0 (推定)	6.0	6.6	焼造された胎土	良	内面: 5927/6灰 外面: 5927/6 削面: 5927/6	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ高台
160	160	146	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	3.2	6.4	焼造された胎土	不良	内面: 5927/2灰白 外面: 2.5157/3灰 削面: 2.5157/2灰白	輪板余切り/ベタ高台 土跡質
161	161	144	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	6.6	焼造された胎土	不良	内面: 5927/3灰 外面: 5927/3灰 削面: 5927/3灰	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底/ベタ底
162	162	44	II層 III層	杯	灰陶器	13	14.4 (推定)	3.6	6.8	焼造された胎土	不良	内面: 10837/6灰 外面: 7.5157/4によい灰 削面: 10836/6灰	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底/土跡質
163	163	45	II層	杯	灰陶器	13	14.4 (推定)	3.5	6.4	焼造された胎土	不良	内面: 5927/6灰 外面: 2.5157/4灰 削面: 2.5157/3灰	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ 上海質
164	164	139	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	13.0 (推定)	-	5.7	焼造された胎土	不良	内面: 5927/1灰 外面: 5927/1灰 削面: 5927/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底/土跡質
165	165	142	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	5.6	焼造された胎土	良	内面: 5927/1灰 外面: 5927/1灰 削面: 5927/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底
166	166	46	II層	杯	灰陶器	13	-	5.0	6.8	焼造された胎土	不良	内面: 2.5157/2灰 外面: 5927/2灰 削面: 5927/2	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底/土跡質/全体摩耗
167	167	165	II層	杯 (底部)	灰陶器	13	-	-	6.4	焼造された胎土	良	内面: 7.5157/2灰白 外面: 5927/1灰白 削面: 5927/1	摩耗著しく調査不明 ベタ底/土跡質
168	168	149	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	(11.0) (推定)	-	6.6	焼造された胎土	良	内面: 5927/4灰 外面: 5927/4 削面: 5927/4	摩耗著しく調査不明 ベタ底/土跡質
169	169	47	II層	杯	灰陶器	13	12.4 (推定)	4.6	5.4	焼造された胎土	不良	内面: 10838/4灰 外面: 2.5157/2灰 削面: 10838/4	摩耗著しく調査不明 ベタ底/土跡質
170	170	155	II層	杯 (底部)	灰陶器	13	-	-	5.8	焼造された胎土	不良	内面: 5927/1灰 外面: 2.5157/1灰 削面: 5927/1	内外面クロロ胎子ナメ/ ベタ底/土跡質
171	171	148	IV層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	6.8	焼造された胎土	良	内面: 5927/1灰 外面: 2.5157/1灰 削面: 5927/1	内面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底
172	172	147	II層	杯 (底部)	灰陶器	13	-	-	6.6	焼造された胎土	良	内面: 10837/1灰白 外面: 7.5157/1灰白 削面: 10837/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底
173	173	140	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	5.1	焼造された胎土	良	内面: 2.5157/1灰 外面: 2.5157/1オリーブ 削面: 2.5157/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底
174	174	154	II層 (底部)	杯	灰陶器	13	-	-	5.4	焼造された胎土	不良	内面: 7.5157/1灰白 外面: 5927/1灰白 削面: 7.5157/1	内外面クロロ胎子ナメ/ 輪板余切り/ヘラ取り上げ軒/ ベタ底/土跡質

II 区 遺物観察表 7

実測 No	実測番号 No	名義 No	出土場所 遺物・部位	種類	器形	分類	法量(cm)			胎土	焼成	色調	特徴 成形/調節/その他
							口径	高さ	底径				
175	153	Ⅱ層	杯 (底部)	須恵器	13	-	-	5.6	精選された胎土	良	内面: 10.6/1灰 外面: 10.6/1灰 断面: NC/灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
176	152	Ⅱ層	杯 (底部)	須恵器	13	-	-	6.2	精選された胎土	良	内面: 7.5/6/1灰 外面: 7.5/6/1灰 断面: 5.5/6/1灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
177	151	Ⅱ層	杯 (底部)	須恵器	13	-	-	6.0	精選された胎土	良	内面: 7.5/6/1灰 外面: 7.5/6/1灰 断面: 5.5/6/1灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
178	150	Ⅱ層	杯	須恵器	13	14.0 (底定)	4.3	5.6	精選された胎土	良	内面: 2.5/6/1灰 外面: 10.6/1灰 断面: 2.5/6/1灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
179	138	Ⅱ層	杯 (底部)	須恵器	13	-	-	6.4	精選された胎土	良	内面: 7.5/6/6灰 外面: 7.5/6/6灰 断面: 7.5/6/6灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
180	137	Ⅱ層	杯 (底部)	須恵器	13	-	-	5.6	精選された胎土	良	内面: 5.6/6/1灰 外面: 7.5/6/1灰 断面: 5.6/6/1灰	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
181	48	Ⅱ層	杯	須恵器	13	-	-	10.2	精選された胎土	良	内面: 5.5/1.5 外面: 10.6/1.5 断面: 5.5/1.5	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
182	49	Ⅱ層	杯	須恵器	13	14.6 (底定)	5.3	5.6	精選された胎土	良	内面: N/7.6 外面: N/7.6	内側面クロコ調輪縫ナダ 圓輪糸切り(ヘラ取り上げ痕) バク板	
183	185	Ⅱ層	直	須恵器	14	26.0 (研究)	2.7	18.2 (推定)	精選された胎土	不良	内面: 3.5/7/1灰白 外面: 3.5/7/2灰白 断面: 3.5/7/1灰白	内外側面回転輪縫ナダ	
184	186	Ⅱ層	直	須恵器	14	11.7 (底定)	3.1	7.6	精選された胎土	良	内面: 3.5/8/1灰白 外面: 3.5/7/1灰白 断面: 3.5/8/1灰白	内側面四輪縫ナダ	
185	187	Ⅱ層	直	須恵器	14	17.2 (底定)	-	11.0 (底定)	精選された胎土	良	内面: 2.5/6/1灰 外面: 2.5/6/1灰 断面: 2.5/6/1灰	内側面回転輪縫ナダ	
186	188	表持	直	須恵器	14	15.6	3.4	-	精選された胎土	良	内面: 2.5/6/1灰 外面: 1.6/5/1灰 断面: 2.5/6/1黄灰	内外側面回転輪縫ナダ	
187	214	Ⅱ層 (口縁部)	土師器	15	12.2 (底定)	-	-	-	砂粒を含む	良	内面: 2.5/7/2灰 外面: 2.5/7/3灰 断面: 2.5/6/2灰	口縁部内面に1条の凹線がある 削痕から内面に伝播する。 底部部分に合掌部がみられる。	
188	215	Ⅱ層 (口縁部)	土師器	15	-	-	-	-	砂粒を多く含む	良	内面: 2.5/7/2灰 外面: 10.5/8/2灰 断面: 2.5/7/1灰	岸側により脚跡付小窓	
189	193	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 14.8	幅 25.7	厚さ 3.6	精選された胎土	不良	内面: 7.5/7/2灰白 外面: 7.5/7/2灰白 断面: 7.5/7/2灰白	埴輪部に深い沈縛	
190	192	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 15.3	幅 19.8	厚さ 3.6	精選された胎土	良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 7.5/9/1灰 断面: 7.5/7/2灰	埴輪部に深い沈縛	
191	191	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 14.9	幅 11.5	厚さ 3.7	精選された胎土	良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 7.5/9/1灰 断面: 7.5/7/2灰	埴輪部に深い沈縛	
192	190	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 12.4	幅 14.3	厚さ 3.9	精選された胎土	不良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 7.5/7/2灰 断面: 7.5/7/2灰	埴輪部に深い沈縛	
193	196	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 21.5	幅 30.3	厚さ 2.4	精選された胎土	不良	内面: 7.5/7/2灰白 外面: 3.5/7/1灰白 断面: 3.5/7/1灰白	埴輪部に深い沈縛	
194	195	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 24.1	幅 28.6	厚さ 3.7	精選された胎土	良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 7.5/7/2灰 断面: 10.7/7/2灰	埴輪部に深い沈縛	
195	197	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 21.1	幅 28.7	厚さ 2.4	精選された胎土	不良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 7.5/7/2灰 断面: 7.5/7/2灰	埴輪部に深い沈縛	
196	194	Ⅱ層	埴輪	瓦	16	全長 25.3	幅 45.9	厚さ 4.2	精選された胎土	良	内面: 7.5/7/2灰 外面: 3.5/7/2灰 断面: 3.5/7/2灰	頭部か	
197	202	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	不良	内面: 10.5/8/2灰 外面: 7.5/5/7/4灰 断面: 10.5/8/2灰	凸頭瓦の有目痕 凹頭瓦の目痕	
198	199	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	石英、砂粒を含む	不良	内面: 34.0/6 外面: 30.0/6灰 断面: 35.0/6灰	凸頭瓦の目痕 底部による泥み	
199	198	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	不良	内面: 10.7/3/1灰 外面: 10.4/3/1灰 断面: 10.7/3/1灰	凸頭瓦の有目痕 凹頭瓦の目痕	
200	205	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 5.5/7/2灰 外面: 10.4/3/1灰 断面: 5.5/7/2灰	凹頭瓦目痕	
201	206	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 5.5/7/2灰 外面: 10.4/3/1灰 断面: 5.5/7/2灰	凹頭瓦目痕	
202	199	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 10.5/7/3灰 外面: 7.5/7/4灰 断面: 2.5/8/2灰	凹頭瓦目痕	
203	204	Ⅱ層	平瓦	瓦	17	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 10.5/7/3灰 外面: 5.5/7/4灰 断面: 5.5/7/3灰	凹頭瓦目痕	

II 区 遺物観察表 8

実測 No.	回収場所 No.	写真 No.	出土地點 遺構・部位	種類	番号	分類	法量 (cm)			鉢土	性状	色調	特徴 或形・測定/その他
							口径	脚高	底径				
204	191	203	II層	平瓦	瓦	17	-	-	-	石英、砂粒を含む	不良	内面: 10.96/6.3/ bei 黄褐色 外面: 7.57/1.9/白 縁部: 5.77/1.9/白	凸面直見の草木灰 凹面布目灰
205	194	200	IV層	丸瓦	瓦	18	12.8 (推定)	3.7	8.0	精選された胎土	良	内面: 8.57/0/灰白 外面: 7.0/0/灰白 縁部: 5.77/0/灰白	凸面ヘラ調整 西面布目灰
206	208	208	II層	土器 (左側足)	土製品	19	-	-	-	精選された胎土	良	内面: 2.577/1/灰白 縁部: 2.577/1/灰白	ヘラ削り調整 左側足、馬具
207	209	209	II層	土器 (右後足)	土製品	19	-	-	-	精選された胎土	良	外側: 7.575/1/灰白 縁部: 7.577/2/暗褐色	ヘラ削り調整 右後足
208	206	207	II層	土器	土製品	19				精選された胎土	良	外側: 2.577/2/灰白 縁部: 2.577/2/灰白	ヘラ削り調整 頭部欠損/馬具
209	210	210	II層	土器	土製品	20	直径 2.5	-	-	精選された胎土	良	外側: 5.75/1/灰	手捏
210	210	115	II層	杯	土器質土器	21	16.0 (推定)	3.1	8.8	精選された胎土	虫	内面: 10.98/6/浅黄褐色 外側: 2.535/3/淡黄	内外凹凸横ナダ 凹面布目灰/ベタ底
211	211	217	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	10.5 (推定)	2.5	6.7	精選された胎土	不良	内面: 10.97/4/ bei 黄褐色 外側: 7.575/6/淡黄色	内面削除により口縁部テラコッタ 外側斜面欠切 / ヘラ取り直し 内面ロコソ調整による脱がやすい
212	212	216	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	10.5 (推定)	-	7.3	精選された胎土	良	内面: 7.575/6/淡黄褐色 外側: 7.575/6/淡黄褐色 縁部: 7.575/6/淡黄褐色	内面ロコソ調整 縁部斜面欠切 / 内面ロコソ調整による脱がやすい 長持
213	213	222	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	-	-	6.2	精選された胎土	不良	内面: 10.98/6/黄褐色 外側: 7.577/6/青 縁部: 10.97/6/青	内面ロコソ調整ナダ 凹面布目灰/ベタ底
214	214	223	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	12.0 (推定)	-	5.2	精選された胎土	良	内面: 2.578/3/淡黄 外側: 2.578/3/淡黄 縁部: 2.578/3/淡黄	内外凹凸横ナダ 凹面布目灰/ベタ底
215	215	219	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	-	-	7.6	精選された胎土	不良	内面: 10.98/4/淡黄褐色 外側: 10.97/4/ bei 黄褐色 縁部: 10.98/5/淡黄褐色	円筒高台 長持が著しく調整不明
216	216	221	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	-	-	10.0	精選された胎土	良	内面: 2.577/2/淡黄 外側: 2.577/2/淡黄 縁部: 2.578/2/淡黄	内外凹凸横ナダ 凹面布目灰/ベタ底
217	217	220	II層	瓶 (底部)	土器質土器	21	-	-	6.8	精選された胎土	良	内面: 10.98/3/浅青褐色 外側: 2.578/2/青 縁部: 2.578/2/青白	内面削除ロコソ横ナダ 凹面布目灰/ベタ底
218	218	218	II層	杯 (底部)	土器質土器	21	14.0 (推定)	4.7	4.8 (推定)	精選された胎土	不良	内面: N/A/灰 外側: N/A/灰 縁部: N/A/白	茎部 凹面布目灰
219	219	116	II層	小皿	土器質土器	22	7.9	1.4	5.8	小石を含む	不良	内面: 5.75/6/青 外側: N/A/灰 縁部: N/A/白	凹面布目灰/ベタ底
220	220	117	II層	小皿	土器質土器	22	8.2 (推定)	1.4	5.4	精選された胎土	良	内面: 7.575/6/ bei 黄褐色 外側: 7.575/6/ bei 黄褐色	圓筒系切り/ベタ底
221	221	224	II層	瓶	土器質土器	23	29.2	-	-	砂粒を含む	不良	内面: 5.75/1/灰 外側: 5.75/1/灰 縁部: 5.75/1/灰白	口縁下部に骨がつく
222	222	225	II層	瓶	丸瓦質土器	23	-	-	-	精選された胎土	不良	内面: 7.275/1/灰 外側: 5.75/1/灰 縁部: 7.375/1/灰	茎部 頭部に取っ手がつく
223	223	228	II層	瓶 (口縁部)	備前焼	24	-	-	-	2mm程度の石突を含む	良	内面: N/A/灰 外側: N/A/灰 縁部: 2.575/2/灰赤	口縁部に向かって折れ曲がり 直立の立ち上がり/口縁部は 外反する
224	224	229	II層	瓶 (底部)	備前焼	24	-	-	-	4~5mm程度の 石突を含む	良	内面: 2.575/2/青 外側: 5.75/1/青 縁部: M/0/灰	内外底面ナダ調整
225	225	232	II層	瓶 (底部)	白磁	25	-	-	6.2 (推定)	精選された胎土	良	内面: 5.75/2/灰白 外側: 2.577/1/白 縁部: 5.75/1/白	高い貼り付け箇所をもつ
226	226	234	II層	瓶 (口縁部)	白磁	25	16.2 (推定)	-	-	精選された胎土	良	内面: 7.575/1/灰白 外側: 7.575/1/灰白 縁部: 7.575/1/灰白	口縁部が肥大/全体に勧進を施す
227	227	231	II層	瓶 (口縁部)	白磁	25	13.2 (推定)	-	-	精選された胎土	良	内面: 7.575/1/灰白 外側: 10.98/1/灰白 縁部: 7.575/1/灰白	内面ロコソによる調整/内面に 骨がつく/口縁部は先くおきめる 内外に勧進を施す
228	228	233	II層	瓶 (口縁部)	白磁	25	-	-	-	砂粒を多く含む	良	内面: 7.575/1/灰白 外側: 7.575/1/灰白 縁部: 5.75/1/灰白	内面に勧進を施す
229	229	235	II層	瓶 (口縁部)	青磁	26	14.8	-	-	精選された胎土	良	内面: 10.96/2/青 外側: 10.95/2/青 縁部: 5.75/1/灰白	オリーブ色の釉面を施す
230	230	227	IV層	瓶	土器質土器	27	16.8	-	-	精選された胎土	良	内面: 2.575/1/灰 外側: 2.575/2/灰 縁部: 10.98/2/灰青	瓦質で口縁部はやや外反し 丸くおきめる
231	231	226	II層	瓶 (底部)	天目茶碗	28	-	-	-	砂粒を多く含む	小不良	内面: 10.97/2/灰 外側: 7.575/1/灰 縁部: 5.75/1/灰白	茶碗にさじを上げる/口縁部は 進んで口に突出し肥大する
232	232	230	II層	瓶 (底部)	天目茶碗	29	-	-	4.4	精選された胎土	良	内面: 7.572/1/墨 外側: 2.577/1/墨 縁部: 5.75/1/灰白	高台内面に勧進を施す

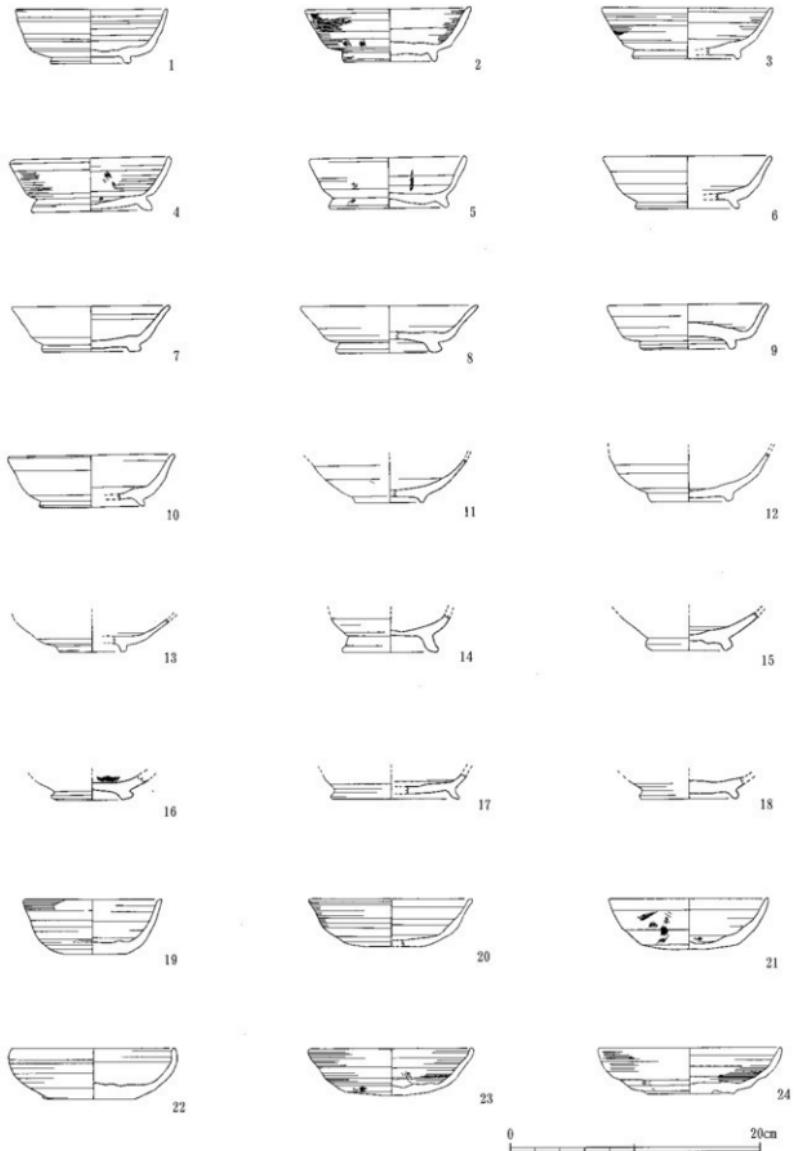


図18 II区出土遺物1

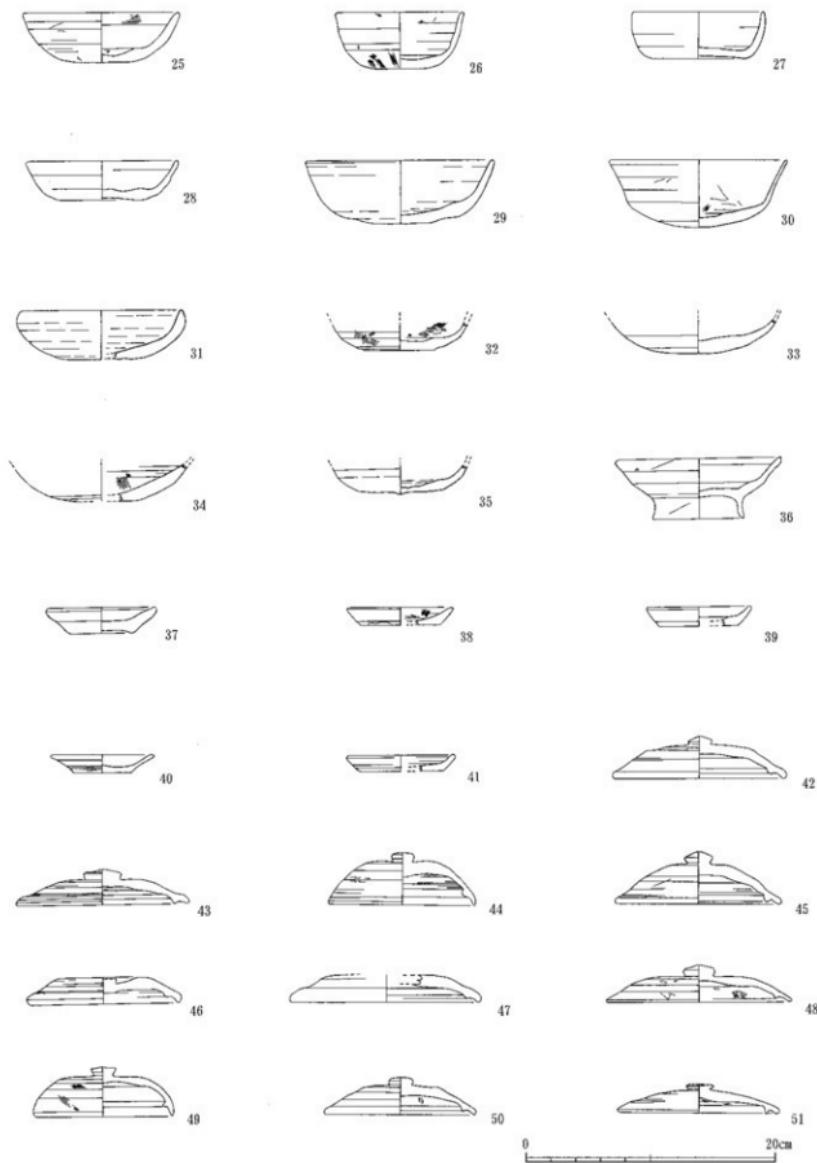


図19 II区出土遺物2

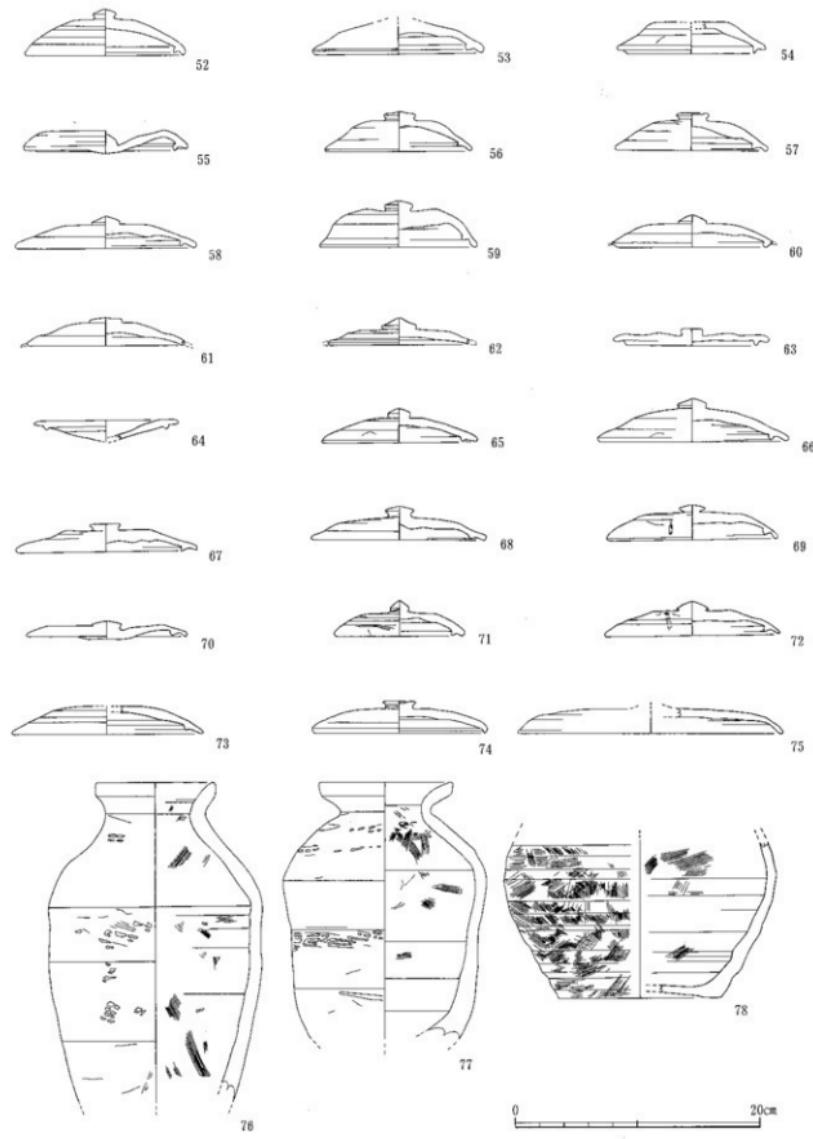


図20 II区出土遺物3

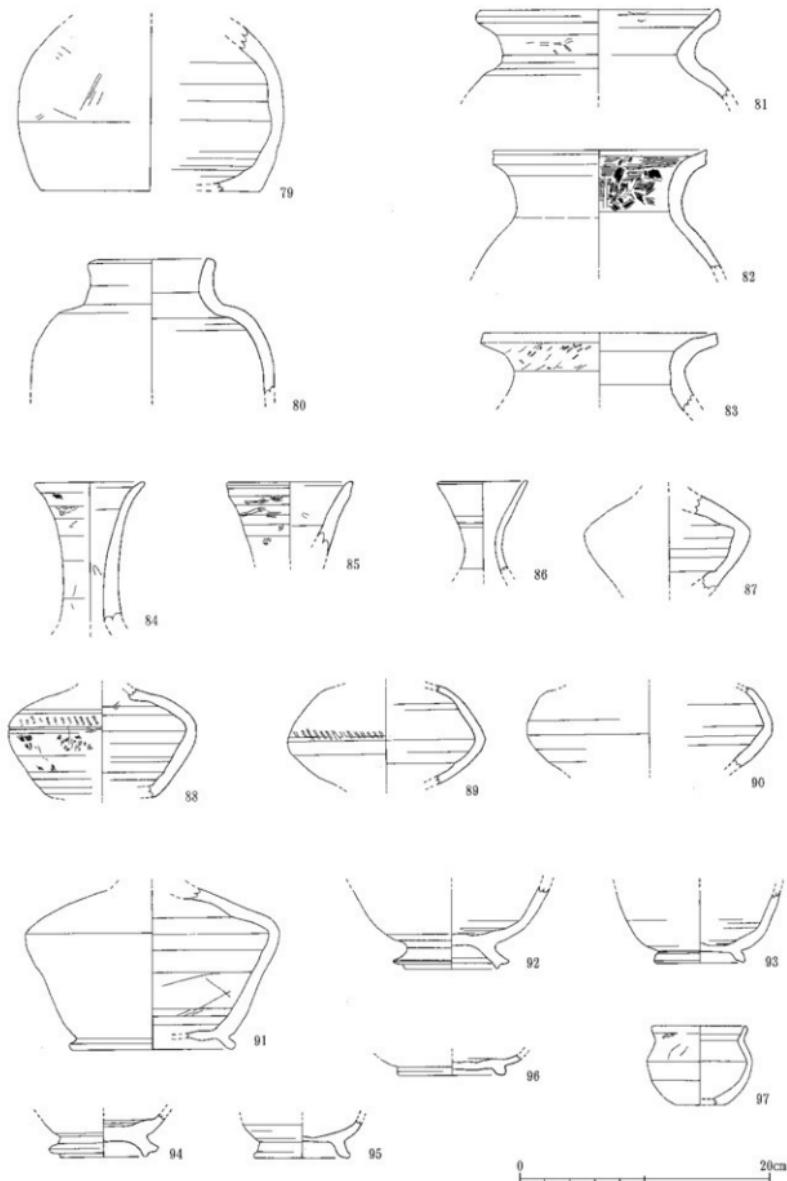


图21 II区出土遗物4

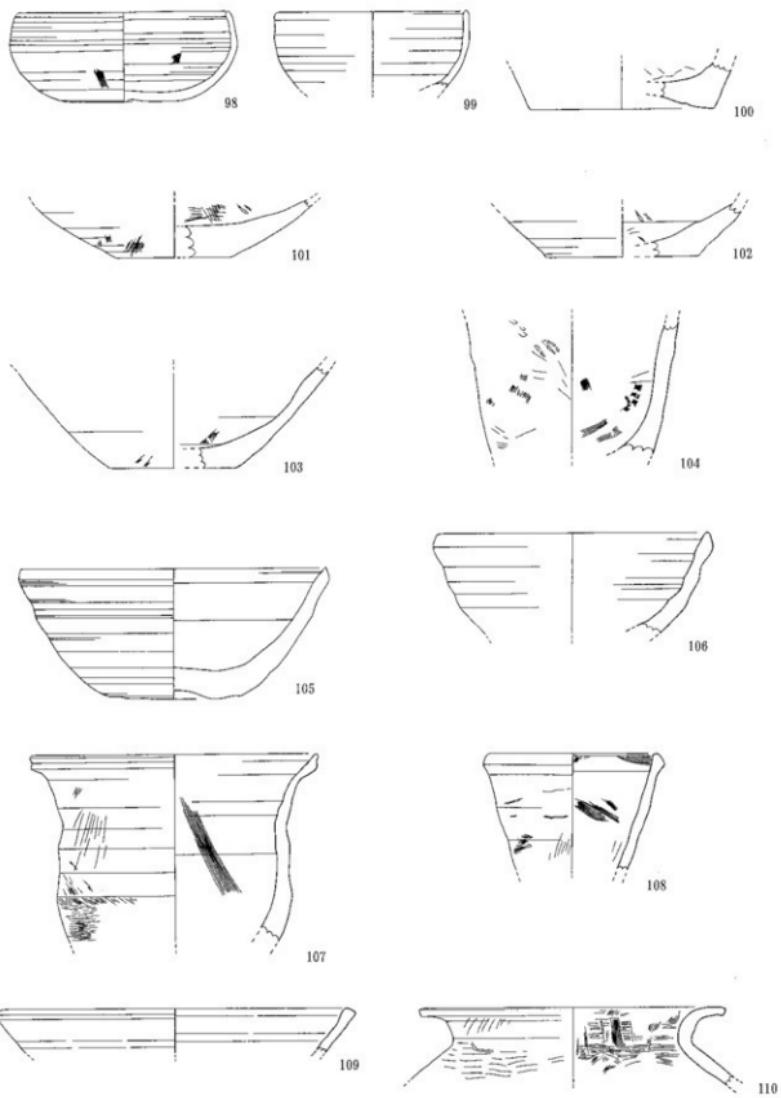


図22 II区出土遺物5

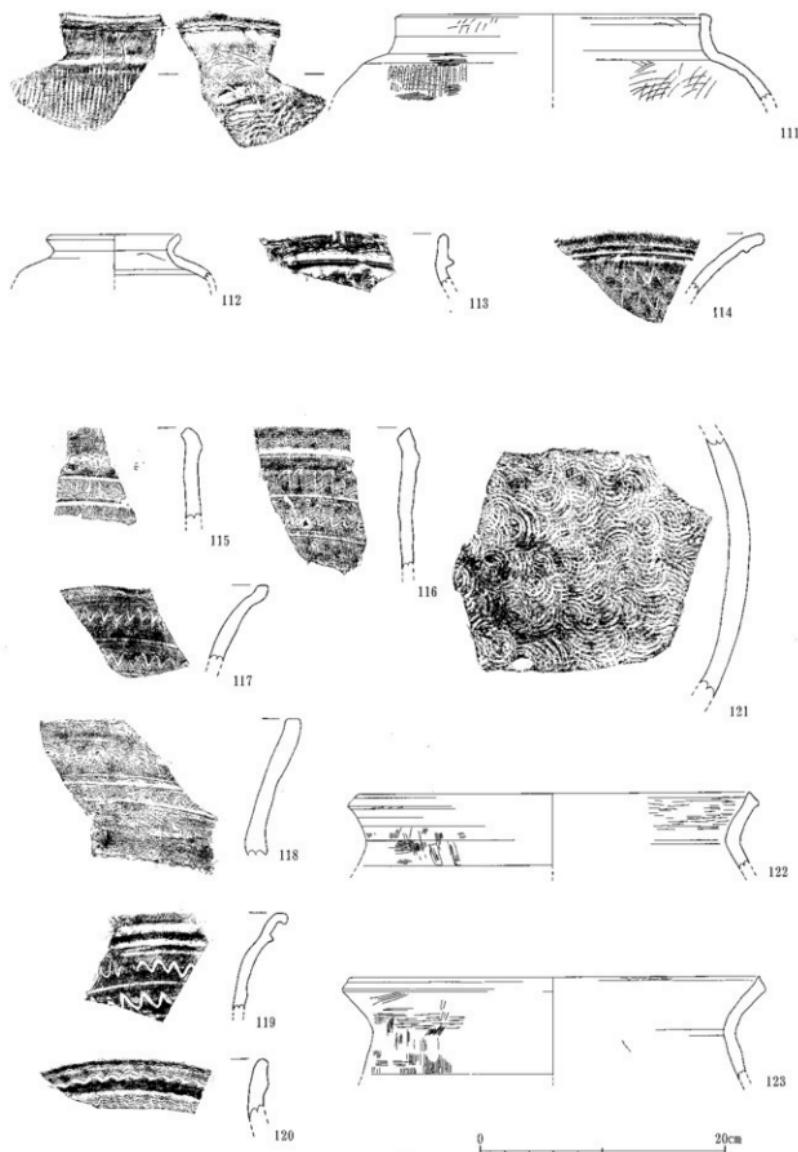
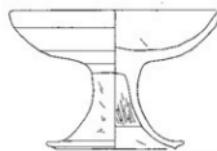


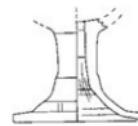
図23 II区出土遺物6



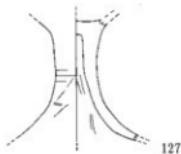
124



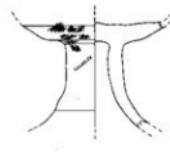
125



126



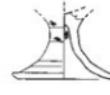
127



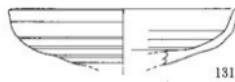
128



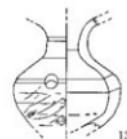
129



130



131



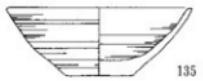
132



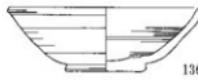
133



134



135



136



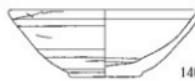
137



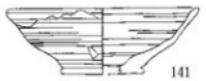
138



139



140



141



142



143



図24 II区出土遺物7

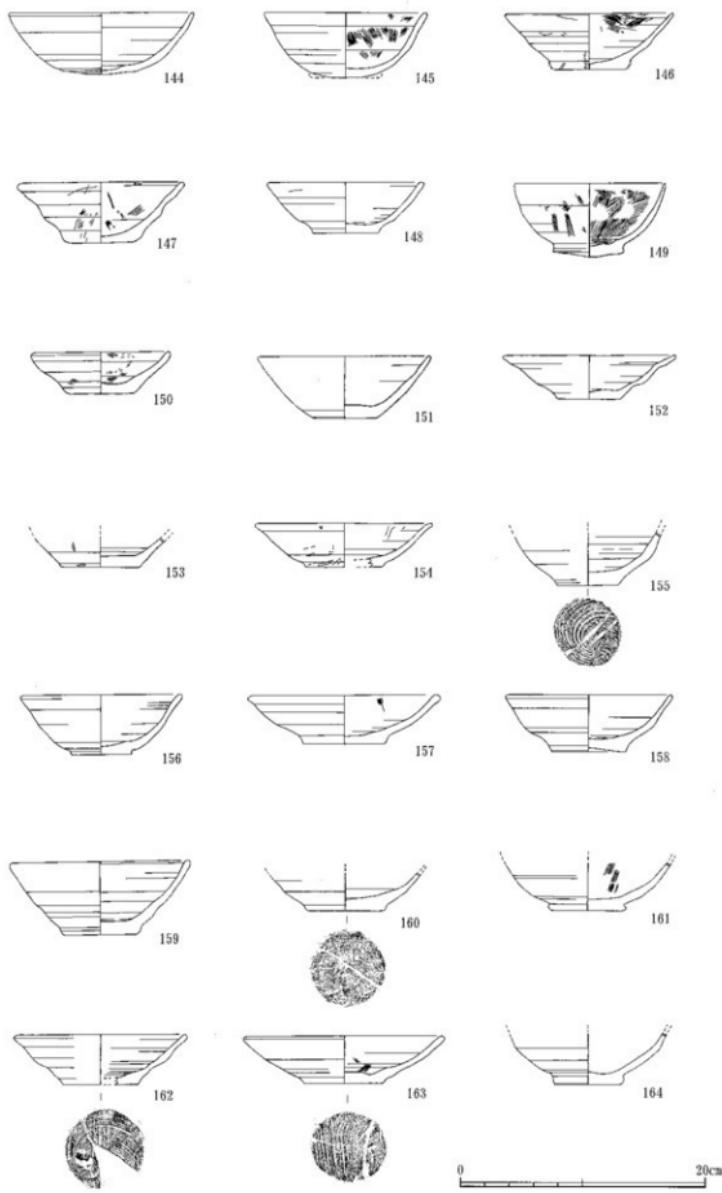


図25 II区出土遺物8

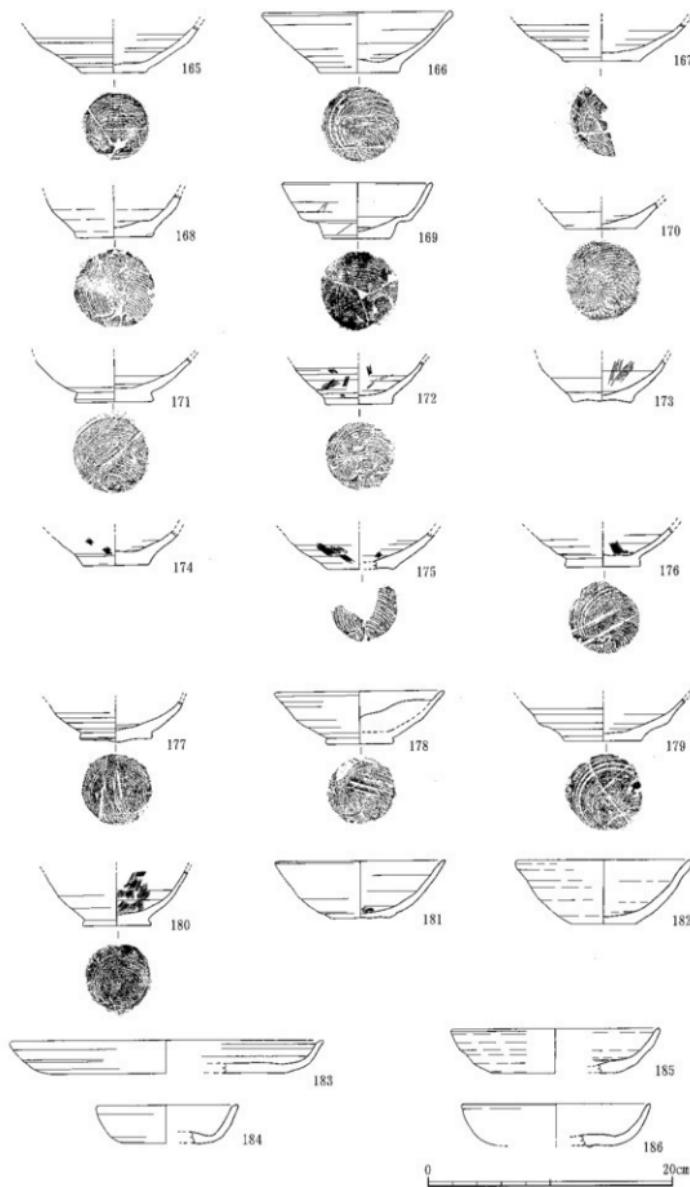
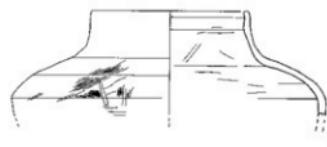
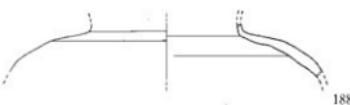


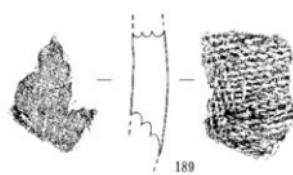
図26 II区出土遺物9



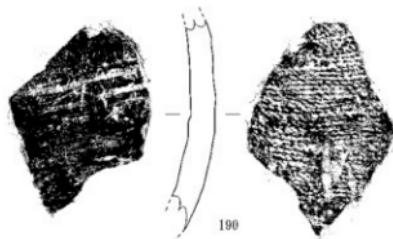
187



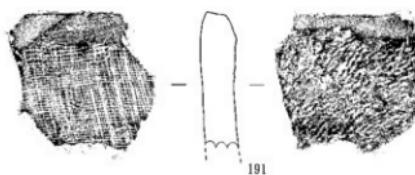
188



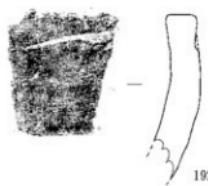
189



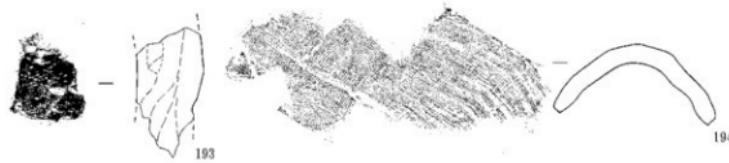
190



191



192



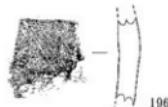
193



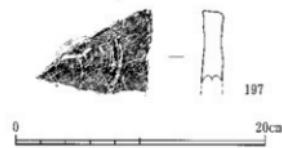
194



195



196



197

0 20cm

图27 II区出土遗物10

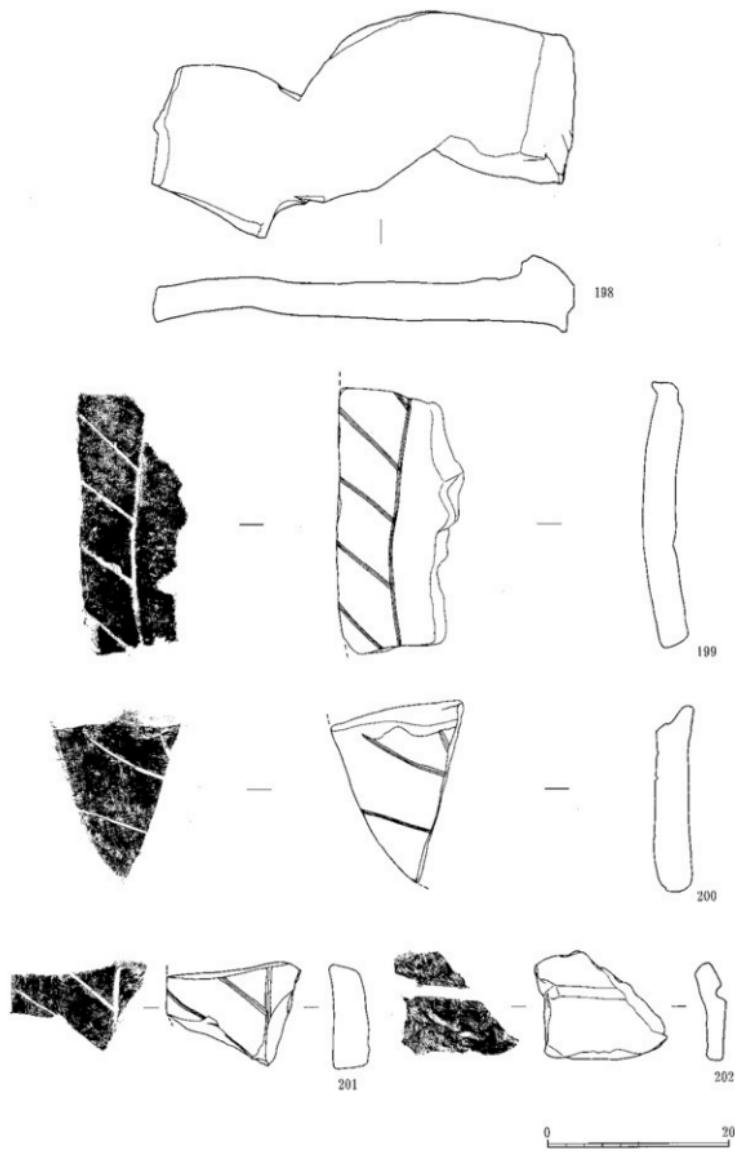


图28 II区出土遗物11

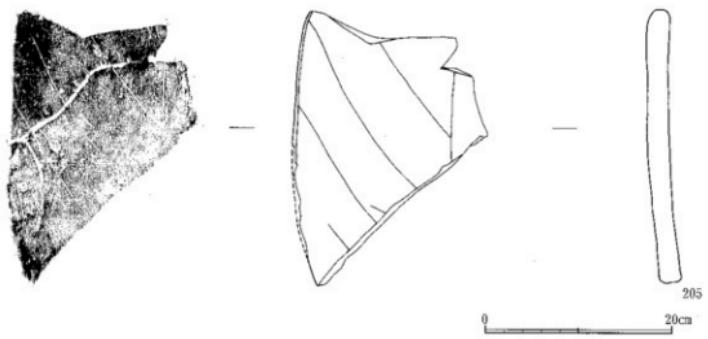
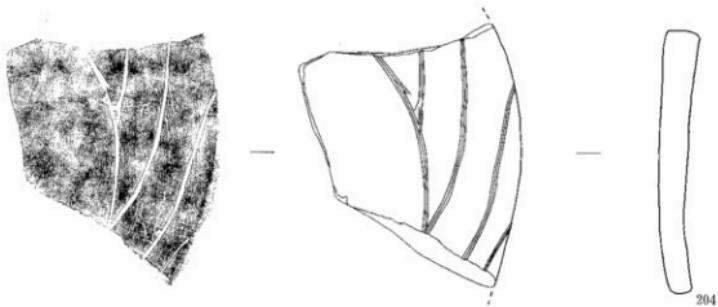
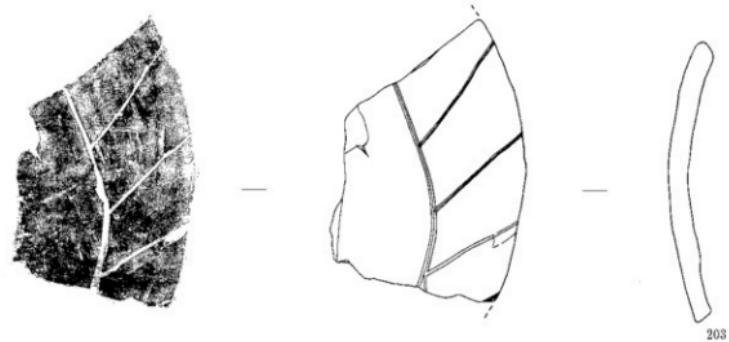
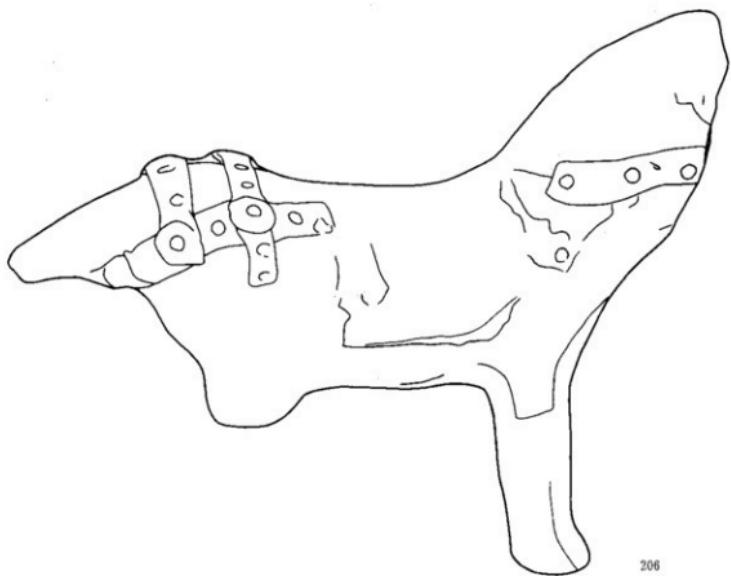
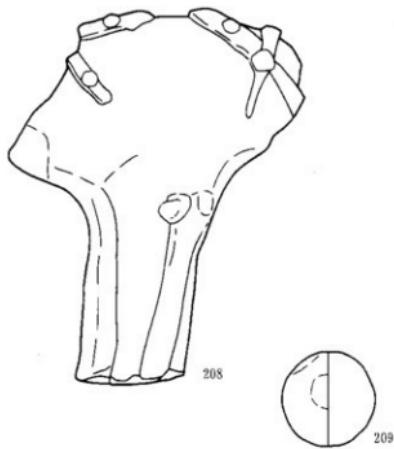


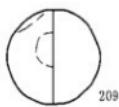
図29 II区出土遺物12



206



208



209



207



图30 II区出土遗物13

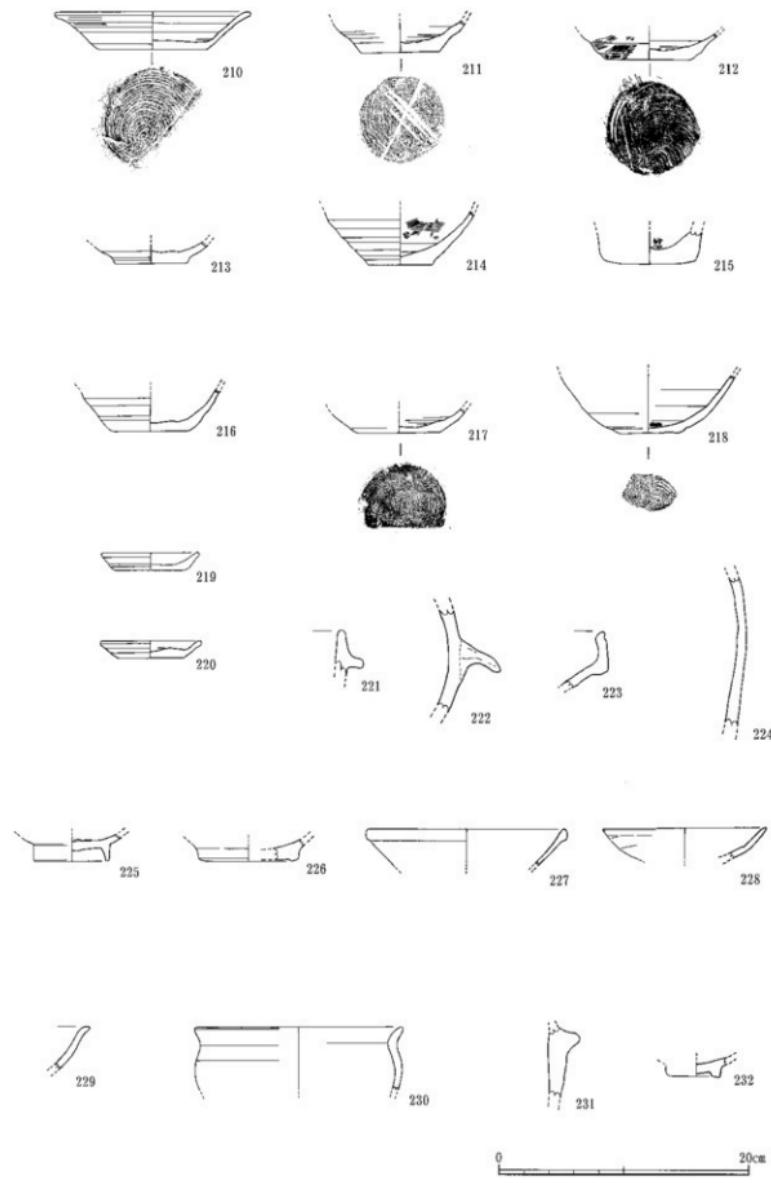


図31 II区出土物14

第VI章 総括

第1節 調査成果

小山田Ⅰ区

今次調査により土佐山町新改において縄文時代の遺構が初めて確認された。国分川(新改川)水系における縄文時代の遺跡は近年、数ヶ所確認されている。

小山田遺跡Ⅰ区において縄文時代晚期終末の土坑4基からは縄文土器、石皿、石斧、石鎌等の遺物が出土しているが、特に注目されるのは4号土坑から出土した胸部状の土器で、形状から高杯と考えらる土器である。表面の調整には条痕がみられ、同土坑出土の縄文土器と同質の胎土で供伴の突堤文土器と同時期と考えるならば縄文時代晚期終末の高杯と位置付けられる。

近年の調査事例で縄文時代晚期終末の高杯は九州で多数出土している。また、弥生時代前期初頭の南国市田村遺跡群からは壺、甕とともに高杯の三器種がセットで出土しており、弥生時代前期初頭の土器組成を考える上で貴重な資料と言える。

4号土坑からは多量の縄文土器に混じり炭片、磨石、石鎌、石斧が混在して出土しており、土坑内に一括放棄された状況である。

土坑の存在から周辺には住居跡等、居住空間の広がりが予想される。

小山田Ⅱ区

小山田Ⅱ区の調査区においては遺構は確認されていないが、多量の須恵器が出土している。出土遺物の殆どが歪み、胎土の焼成不良による軟弱が見られることから窯業生産に係わる遺物である。

本来は灰捨場の遺物と考えられるが須恵器以外に土師質土器、白磁なども少量ながら混在しており、灰捨場の遺物が二次的に堆積したものである。

これらの遺物のうち、須恵器については3時期に大別できる。1つは7世紀の中期から後期にかけてのものと、2つ目は7世紀後期から8世紀にかけてのもの、3つ目は9世紀から10世紀以降のものと3時期に区分することができる。特に、1期は土製馬形品の時期と並行するもので、この時期の遺物がまとまって出土したのは高知県内では例がなく、出土地点も窯跡に近い地点からの出土であることから土佐山町須江古窯跡群の成立を考える上で重要な要素である。

2時期においても藤原京から平城京への移行期という歴史的な流れの中で考えると、土佐国におけるこの時期の土器生産体制の状況を考える貴重な資料となろう。

3時期は新改、須江地区に所在する須江古窯跡群の終焉時期と考えられる。10世紀の須恵器は須江古窯跡の資料としては初見であり、近隣の野市町に所在する10世紀から11世紀にかけての亀山古窯跡群、白岩古窯跡群との関連と比較検討すべき課題となる。

第2節 土製馬形品について

(1) 土製馬形品について

土製馬形品とは古代において特殊な祭祀に使用されたと考えられる稚拙な造りの形状の小型土製模造馬のことである。大形のものでも体長20~30cm程度にすぎず、焼成によって土師質のものは土馬、須恵質のものは陶馬と呼んで区別している。

土製馬形品はその形態的特徴により次のように分類される。

A類 馬具として、面繫・胸繫・尻繫・轡・手綱・鞍・鏡などが粘土の紐や板の貼付手法によって着装されるもの。

B類 馬具として鞍のみが粘土の板の貼付手法によって着装されているが、他の馬具、たとえば手綱や尻繫などが線描き手法で表現されているもの。

C類 馬具として鞍のみしか認められないもの。

D類 馬具としては何等認められない裸馬のもの。

今回小山田遺跡より出土した土製馬形は3個体分であるが、体部と足の一本を残すものを1号土馬、足の一本分を残し、馬具の表現の残るものを2号土馬、太い足を一本だけ残すものを3号土馬と呼称する。

3点の土製馬形品はその残存状況から1・2号土馬は上記分類からA類に該当する。以下、遺物の概略を述べる。

①1号土馬

本調査で出土した土製土馬で最も残存度の高いものである。左前足の一本が残り、残りの3本足と、頭部を欠く。胴体部は中空であり、筒状のものに粘土を巻きつけて整形したと考えられる。胸部から頭部まで一本で作り上げ、足を作り、馬具の表現を粘土紐によって行ったと考えられる。また、正面の胸部、後部の尻部、腹部にはそれぞれ竈状工具による穴があけられている。全体的に作りはシャープである。焼成はやや不良で土師質である。

②2号土馬

左足の一本のみが残る。足は籠による丁寧な調整が施されている。また、粘土紐による馬具を表現し、貼り付けている。焼成は良好で須恵質である。

③3号土馬

足が一本だけ残る。足は籠による調整が施されている。但し他の2体と比べて足が太く作られているのが特徴である。焼成は良好で須恵質である。

(2) 土製土馬品の年代について

土馬の年代については残存度のよい1号土馬で検討してみると1号土馬の作りは非常に盛行に作られており、馬具の表現も轡部(手綱)、鞍部(鞍、障泥、尻繫)が残っており当時の馬装を考える上で貴重な例となった。胴体部も中空で作られている。これは古墳時代の製作技法の系譜を引くものと考えられる。また、奈良県藤原京跡出土の土馬(7世紀後半)や四国でも同時期に近い遺物とされる徳島県庄遺跡出土(8世紀の遺物と考えられている)と比較しても全体的なシャープさや他に例の少ない馬具の精巧な作りは小山田遺跡出土の1号土馬の方が時期的にも先行する要素が見受けられ、また共伴する出土土器とあわせて考えると、7世紀の中期から後期への間、いわゆる西暦650年以降から藤原京の造営以前(680年頃)の時期と考えられる。

(3) 高知県内出土の土製馬形品について

高知県内からは3遺跡より合計3体の土製馬形が出土している。中村市古津賀後川の川床より陶質の裸馬が1体、南国市岡豊町小蓮字山崎の高知医科大学敷地内より陶質飾馬1体、安芸市川北江川小字豊作より陶質飾馬1体が出土している。現在3体とも実物の所在は不明で以下、岡本健児氏^{[1][2]}並びに井本葉子氏^{[4][5]}の論文を参考に遺物の概要を述べる。

中村市古津賀後川の川床から出土した土製馬形品は陶質(須恵質)で馬具の表現がない裸馬である。

南国市岡塚にある高知医科大学敷地内出土の土製馬形品は陶馬で、高さ1m、直径2.5m程の泥砂盛土中より弥生土器、土師器、須恵器などと共に出土しているが厳密な意味での陶馬共伴遺物は不明である。

出土した陶馬は四肢・頸部・頭部・尾部が各々欠損している。現存体長約15cm、胴部の径は6.2cmで、完形品であれば土製馬形品としては大形のものと考えられる。胎土は精選されたきめ細かな粘土で、中に白っぽい砂粒を若干含んでいる。

体内部は完実しており大きな粘土塊から陶馬の形をひねり出した後、指オサエや指ナデで整形、さらに一部分箆ミガキを行っている。彼は元は粘土帯の貼付けで表現していたらしいが現在では剥落しておりわずかに痕跡をとどめているにすぎない。尻繁・手網等は箆状の工具を用いて沈線で乱暴に描いている。分類はB類に属する陶馬である。

安芸市川北江川豊作出土の陶馬は四肢と尾部を欠損している。粘土帯の貼付けで馬具を表現している。A類に属する。

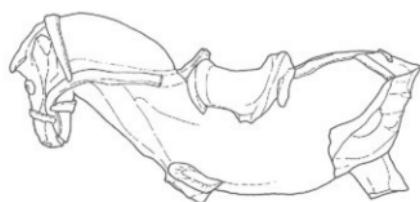
註

- (1) 岡本健児『高知県の考古学』吉川弘文館 1966 P 174
- (2) 岡本健児『考古学からみた祭祀と葬制』『南国市史』上巻 南国市 1979 P 465~471
- (3) 岡本健児『陶馬とその祭祀(1)(2)』『土佐神道考古学』高知県神社庁 1987 P 55~60
- (4) 井本葉子『土製馬形品の新資料』『土佐史談152号』1980 P 28~31
- (5) 井本葉子『高知県の祭祀遺跡について』『高知の研究』第1巻 清文堂 1983 P 333

参考文献

- 『律令制祭祀論考』菊池泰明 編 塙書房 1991

出 土 地	分 類	形 態	文 献
中村市古津賀 後川川床	陶 質 裸 馬		岡本健児「高知県の考古学」「高知県史」「四国」「神道考古学講座」「土佐神道考古学(23)陶馬とその祭祀(2)」「高知県神社庁報」1977
南国市岡豊町 小蓮字山崎 高知医科大学 敷地内	陶 質 飾 馬		岡本健児「土佐神道考古学(23)陶馬とその祭祀(1)」「高知県神社庁報」1977 井本葉子「土製馬形品の新資料」「土佐史談152号」1980 岡本健児「考古学からみた祭祀と葬制」「南国市史」1980
安芸市川北江川 小字豊作	陶 質 飾 馬		な し



安芸市川北江川豊作出土



中村市後川出土



南国市山崎出土

図32 参考資料・高知県内出土土製馬形品一覧表・実測図・写真

第3節 鶴尾について

(1) 小山田遺跡出土の鶴尾について

小山田遺跡Ⅰ・Ⅱ区及び小山田遺跡東側の山麓斜面よりそれぞれ出土、表面採集されている。小山田遺跡Ⅰ区はトレンチ内より出土しているが土取穴の埋土より出土し、Ⅱ区は多量の須恵器とともに出土、またⅡ区の東側に隣接する山麓西側斜面より表面採集されている。出土した鶴尾は精選された胎土で胴部、鱗部、縦帯、頭部の方形透し孔、胴部側面中央の半円形透し孔部分の破片である。

縦帯は一条の沈線で表し、鱗部の段型も沈線で表現している。胴部側面中央の半円形透し孔は、本鶴尾の使用される建物が入母屋根の降り棟との取りつきを示している。

(2) 高知県内出土の鶴尾について

現在、高知県内では鶴尾の出土例は南国市比江廃寺跡^{①②③}より2点出土している。参考に資料を掲載する。

注

- (1) 岡本健児『高知県の考古学』吉川弘文館 1966 P212
- (2) 岡本健児「比江廃寺」『南国市史』上巻 南国市 1975 P409~425
- (3) 出原忠三『比江廃寺跡発掘調査概報』高知県教育委員会埋蔵文化財報告書第33集 1991

参考文献

- (1)『日本古代の鶴尾』奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館 1980

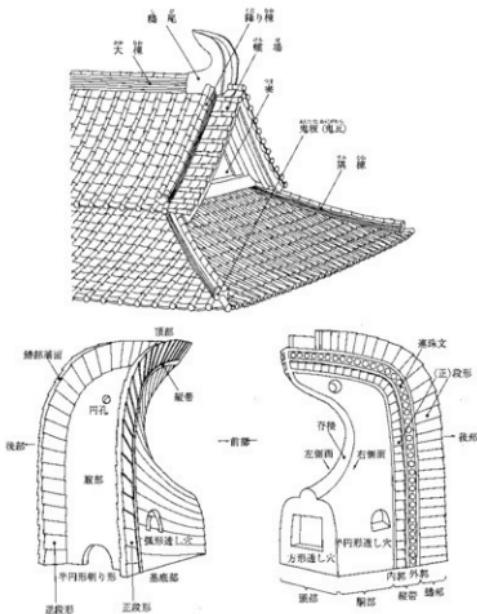




図34 鶴尾復元図

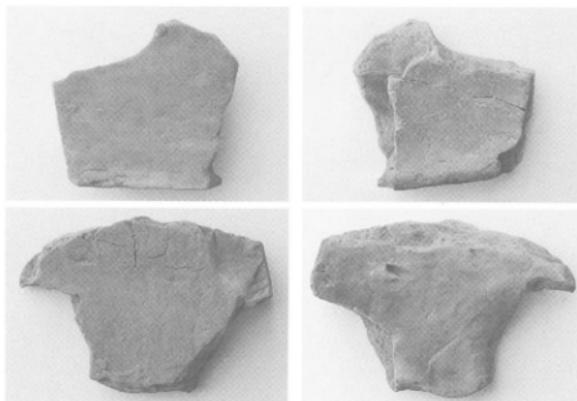


図35 参考資料・小山田遺跡出土鶴尾（写真）



比江庵寺跡出土の鶴尾残片



比江庵寺跡出土の鶴尾拓影

図36 参考資料・高知県内出土鶴尾

I 区図版



I 区 調査区全景



遺構検出状況



I 区 調査区全景



遺構検出状況



I 区 調査区全景



SK-1, 2, 3 検出状況



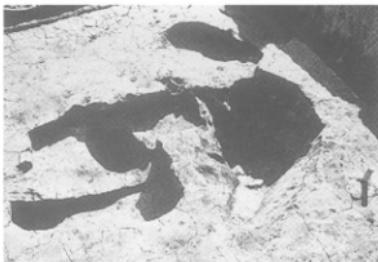
I 区 セクション



SK-1 検出状況とセクション



SK-4 検出状況



SK-1, 2, 3 完掘状況



遺構調査状況



SK-4 調査状況



SK-1, 2, 3, 4 調査状況



SK-4 調査状況



SK-1, 2, 3 調査状況



SK-4 調査状況



SK-4 完掘状況



SK-4 磨石出土状況



SK-4 完掘状況



SK-4 高杯出土状況



SK-4 遺物出土状況



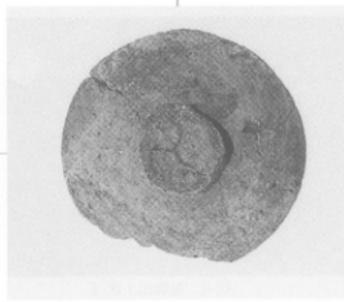
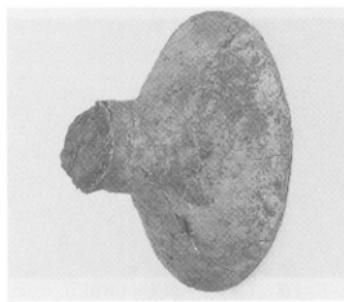
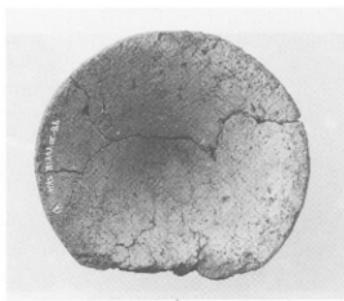
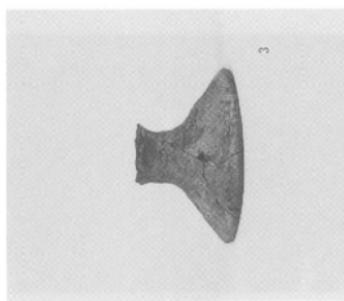
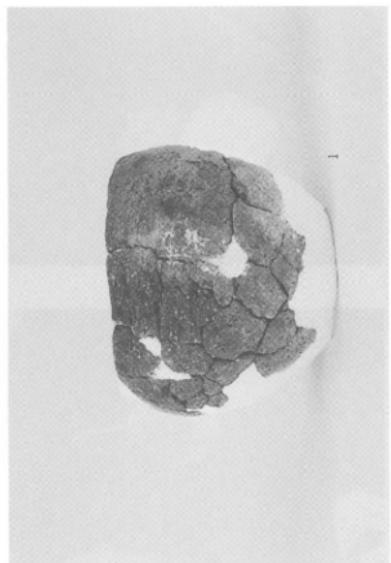
SK-2 遺物出土状況

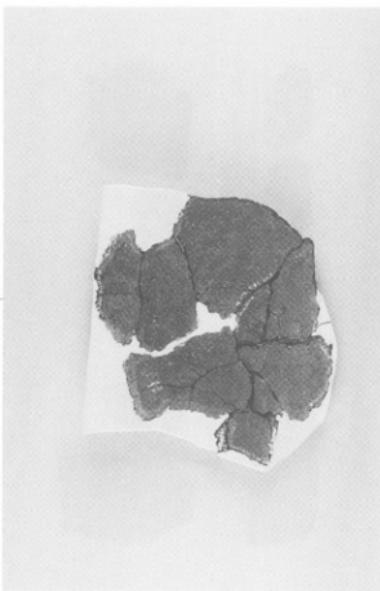
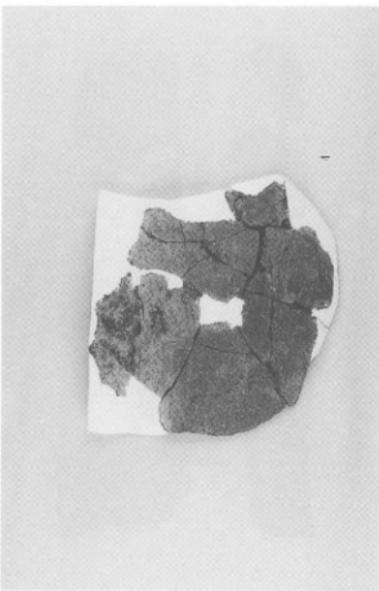


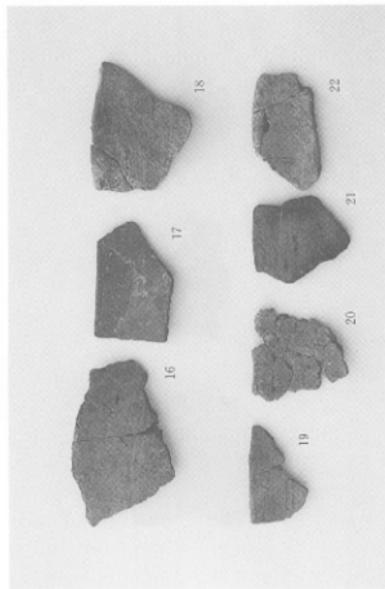
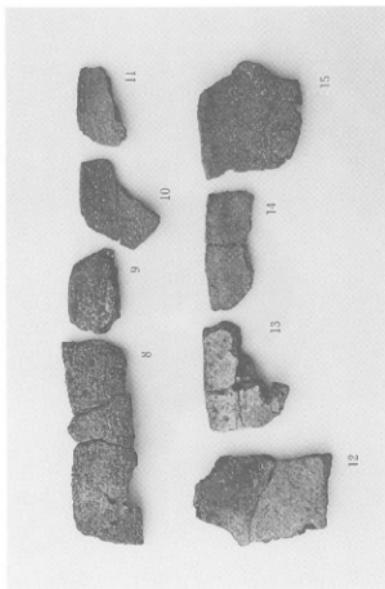
SK-4 遺物出土状況

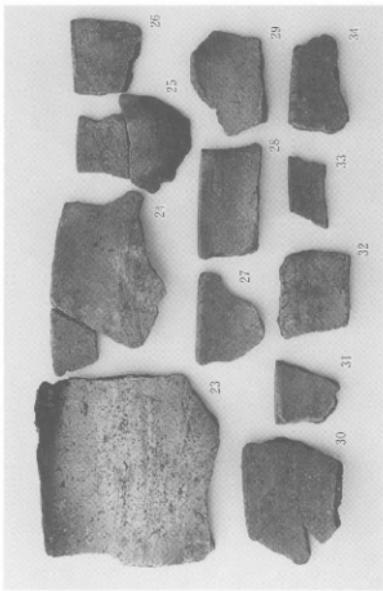


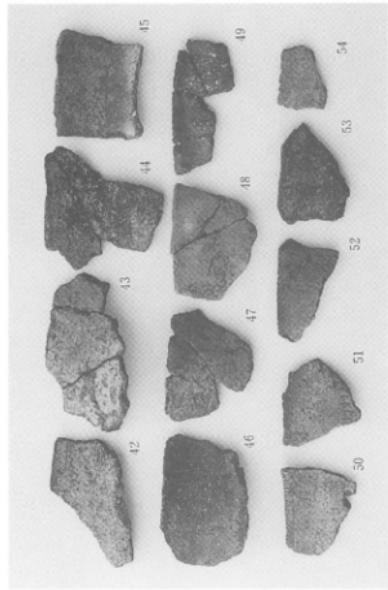
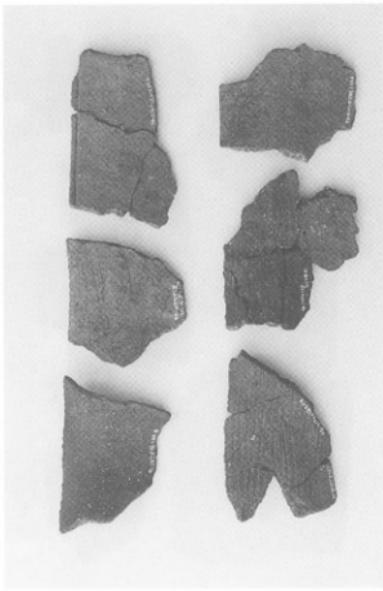
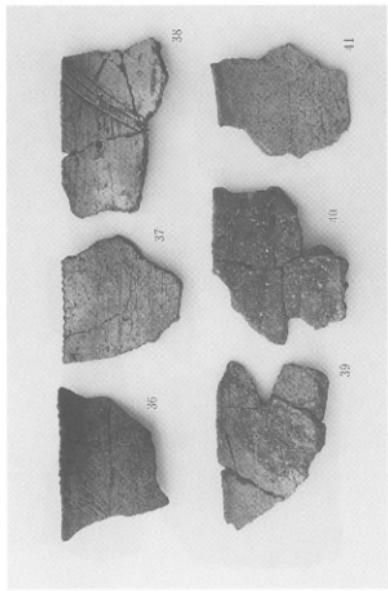
I 区 トレンチ内遺物出土状況

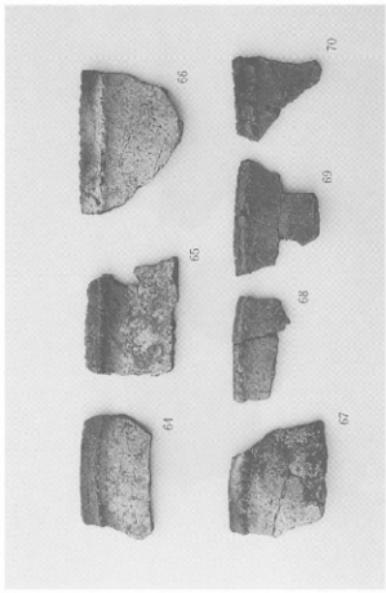
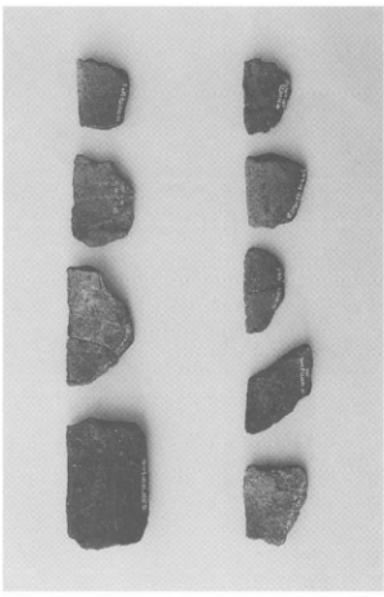
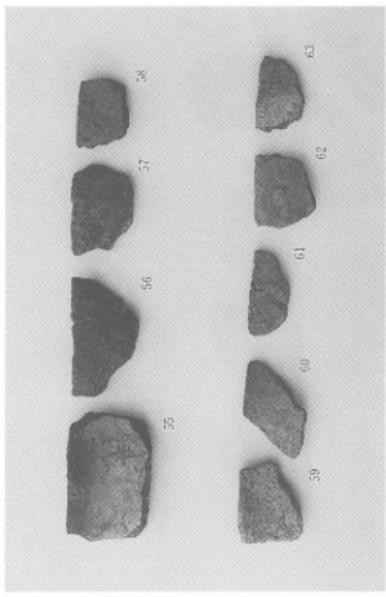


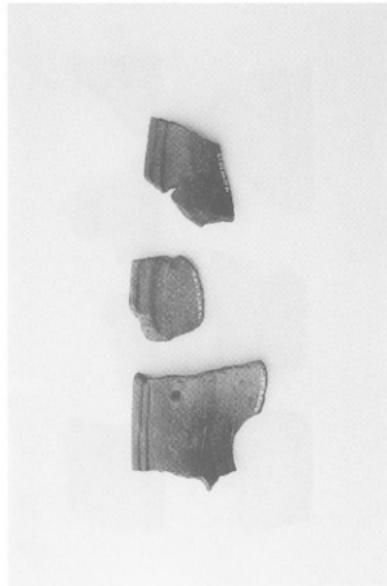
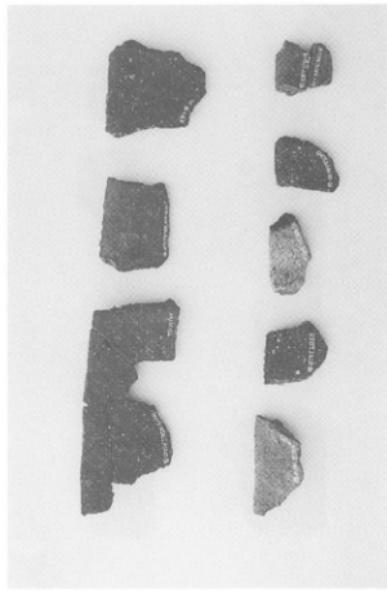
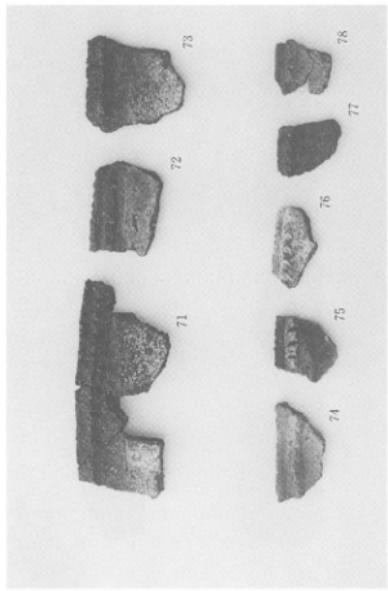


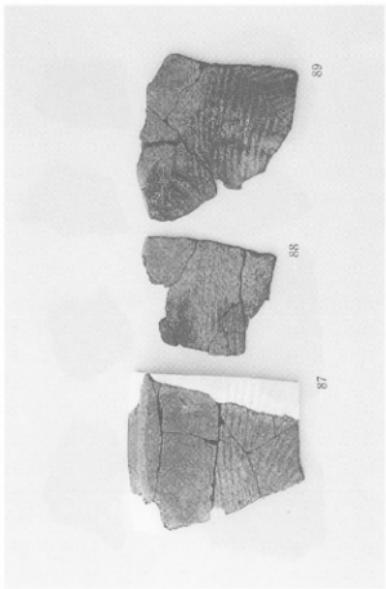
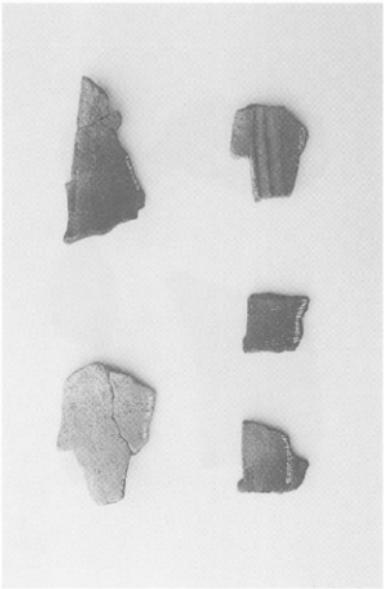


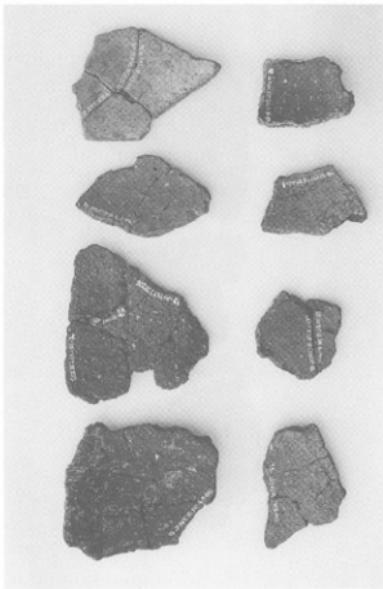
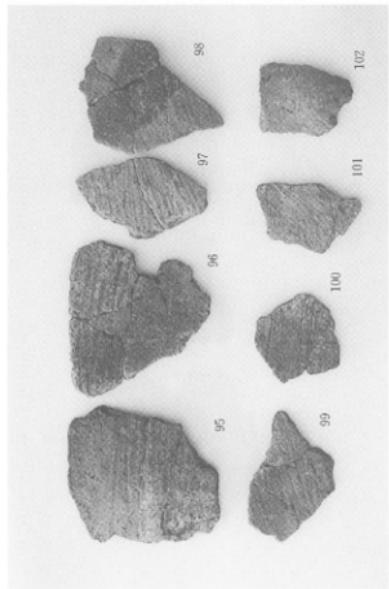
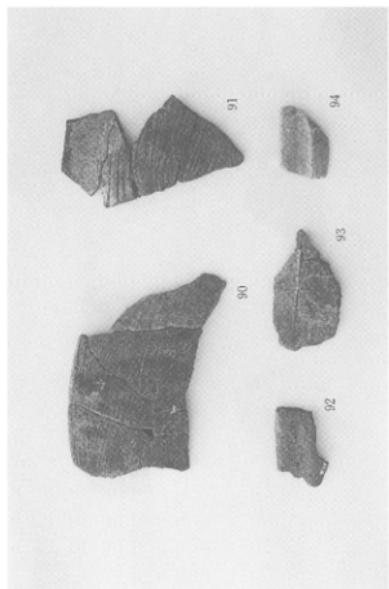


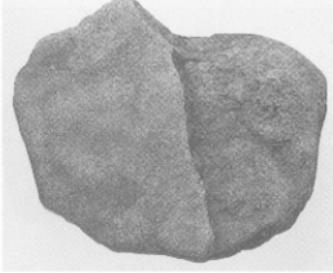
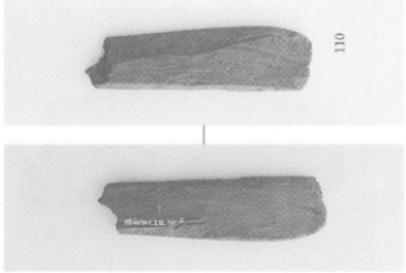
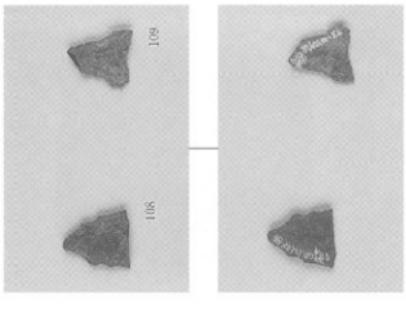
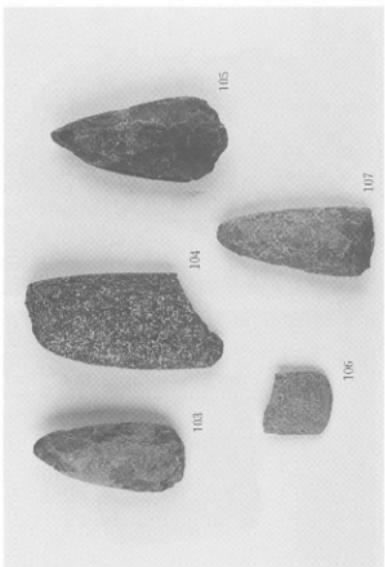


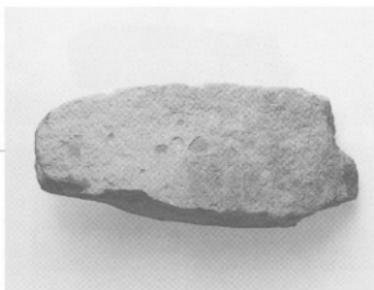
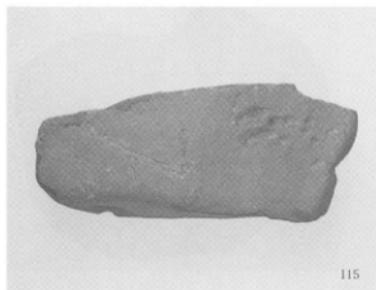
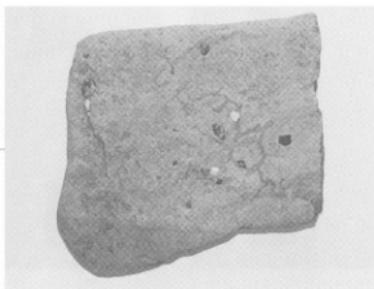
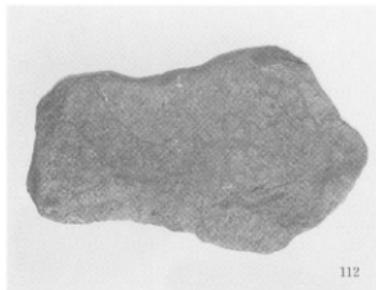












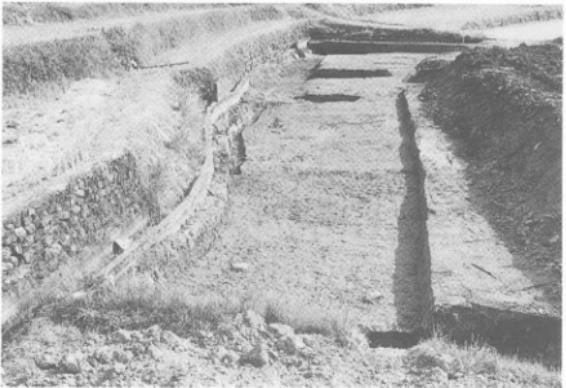
II 区図版



II区全景



II区全景



II区全景

PL-2

